

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
及び
在宅介護実態調査

調査結果報告書

令和5年3月
おいらせ町

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的.....	3
2 調査の対象.....	3
3 調査の方法.....	3
4 調査の実施時期.....	3
5 配布・回収の結果.....	4
6 報告書の表記及び注意点について.....	4

II 調査結果①

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

調査票記入者、ご本人の情報について.....	7
(1) 調査票記入者	7
(2) 年齢	7
(3) 性別	8
(4) 居住地区	8
(5) 要介護度	9
1 あなたのご家族や生活状況について	10
(1) 家族構成	10
(2) 介護・介助の必要性	10
(3) 介護・介助が必要になった主な原因.....	11
(4) 主な介護・介助者	12
(5) 現在の暮らしの経済的状況	12
(6) 住居の形態	13
2 からだを動かすことについて	14
(1) 階段昇行	14
(2) 起立	14
(3) 継続的な歩行	15
(4) 転倒した経験	15
(5) 転倒に対する不安	16
(6) 外出について	16
(7) 外出頻度の減少	17
(8) 外出を控えているか	17
(9) 外出を控える理由	18
(10) 外出する際の移動手段	18
3 食べることにについて	19
(1) 本人の身長・体重	19
(2) 固いものが食べにくくなったか	20
(3) お茶や汁物等でむせることがあるか.....	20
(4) 口の渇き	21
(5) 歯磨きの習慣	21
(6) 歯科受診	22
(7) 噛み合わせ	22
(8) 体重の減少	23
(9) 歯の数と入れ歯の利用状況	23
(10) 入れ歯の手入れ	24
(11) 誰かと食事をする機会	24
4 毎日の生活について	25
(1) 物忘れがあるか	25
(2) いつも同じ事を聞くか	25
(3) 電話をかけているか	26
(4) 日にちがわからないことがあるか	26

(5) 1人での外出	27
(6) 食品・日用品の買い物	27
(7) 食事の用意	28
(8) 請求書の支払い	28
(9) 預貯金のおし入れ	29
(10) 新聞や本、雑誌を読んでいるか	29
(11) 友人宅への訪問	30
(12) 相談にのっているか	30
(13) 健康についての記事や番組への関心	31
(14) 趣味はあるか	32
(15) 生きがいはあるか	32
5 地域での活動について	33
(1) 会・グループへの参加状況	33
(2) 地域活動への参加者としての参加希望	38
(3) 参加者として参加したくない理由	38
(4) 地域活動への企画・運営者としての参加希望	39
(5) 企画・運営者として参加したくない理由	39
6 たすけあいについて	40
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	40
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	41
(3) 看病や世話をしてくれる人	42
(4) 看病や世話をしてあげる人	43
(5) 相談相手	43
(6) 友人・知人と会う頻度	44
(7) 1か月間に会った友人・知人の数	44
(8) よく会う友人・知人との関係	45
(9) 手助けしてほしいこと	45
(10) 無理のない範囲の支え合い	46
7 健康について	46
(1) 主観的健康感	46
(2) 主観的幸福感	47
(3) 最近1か月間の気分の状態	47
(4) 飲酒の状況	51
(5) 喫煙の状況	52
(6) 治療中の病気	53
8 終活について	54
(1) 終活について考えていること	54
(2) 人生の最期について	54
(3) エンディングノートについて	55
9 認知症に係る相談窓口の把握について	55
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか	55
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度	56
10 おいらせ町の介護保険料について	56
(1) 介護保険料について	56
11 リスク分析	59
(1) 運動器機能の低下	59
(2) 転倒リスク	61
(3) 閉じこもり傾向	63
(4) 低栄養傾向	65
(5) 口腔機能の低下	67
(6) 認知機能の低下	69
(7) IADL（手段的自立度）の低下	71
(8) うつ傾向	73

Ⅲ 調査結果②

【在宅介護実態調査】

A票 調査対象者ご本人について	77
（1）調査票の回答者	77
（2）世帯類型	77
（3）性別	77
（4）年齢	78
（5）要介護認定状況	78
（6）施設への入所・入居状況	79
（7）現在抱えている傷病	79
（8）介護保険サービスの利用の有無	80
（9）介護保険サービスの利用状況	81
（10）介護保険サービスを利用していない理由.....	84
（11）介護保険サービス以外の支援・サービス利用状況.....	85
（12）在宅生活の継続に必要な支援・サービス.....	86
（13）訪問診療の利用状況	86
（14）介護保険料について	87
（15）健康状態を悪化させないために気をつけていること.....	88
（16）終活について考えていること	89
（17）人生の最期について	89
（18）エンディングノートについて	90
（19）家族・親族からの介護の状況	90
B票 主な介護者の方について	91
（1）介護を理由に仕事を辞めた家族・親族.....	91
（2）主な介護者	91
（3）主な介護者の性別	92
（4）主な介護者の年齢	92
（5）主な介護者が行っている介護等について.....	93
（6）主な介護者が不安に感じる介護等について.....	94
（7）主な介護者の勤務形態	95
（8）働き方の調整について	95
（9）仕事と介護の両立のための支援	96
（10）主な介護者の仕事と介護の継続	97

I 調査の概要

1 調査の目的

高齢者の介護保険施策等に関する意識と生活実態等を把握することにより、介護保険事業計画策定の基礎資料とする。

2 調査の対象

区分	調査対象
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	令和4年11月1日現在、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方を調査の対象とし、年齢、男女比など考慮した上で、層化無作為抽出法により抽出した。
②在宅介護実態調査	令和4年11月1日現在、介護保険の要支援・要介護の認定を受けている方を調査の対象とし、年齢、男女比、要介護度など考慮した上で、層化無作為抽出法により抽出した。

※サンプルについては、対象者の中から年齢・男女・居住地区等の構成比を考慮した上で、層化無作為抽出法により抽出。

3 調査の方法

郵送による配布・回収

4 調査の実施時期

令和4年11月～令和5年1月

5 配布・回収の結果

配布・回収の結果は以下のとおりです。

	配布数	回収数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,200件	871件	72.6%
②在宅介護実態調査	300件	215件	71.7%

※はがきによる督促1回実施

6 報告書の表記及び注意点について

1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（％）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っていますので、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表しています。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記し、その数を表しています。

Ⅱ 調査結果①

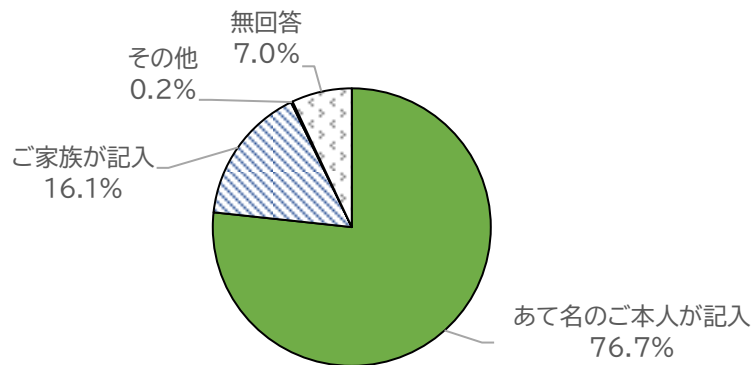
【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

調査票記入者、ご本人の情報について

(1) 調査票記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

【n=871】

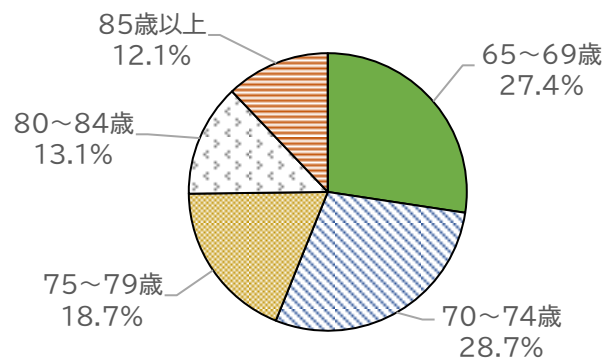


調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」が76.7%、「ご家族が記入」が16.1%となっている。

(2) 年齢

あて名のご本人の情報を記入してください。

【n=871】

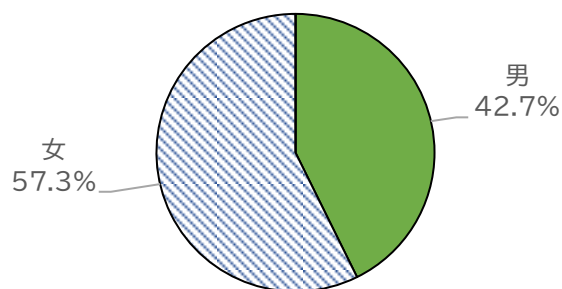


年齢は、「70～74歳」が28.7%で最も多く、次いで「65～69歳」(27.4%)、「75～79歳」(18.7%)、「80～84歳」(13.1%)、「85歳以上」(12.1%)となっている。

(3) 性別

あて名のご本人の情報を記入してください。

【n=871】

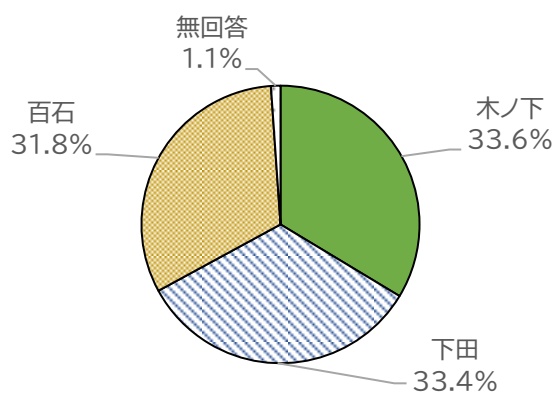


性別は、「男」が42.7%、「女」が57.3%となっている。

(4) 居住地区

あて名のご本人の情報を記入してください。

【n=871】

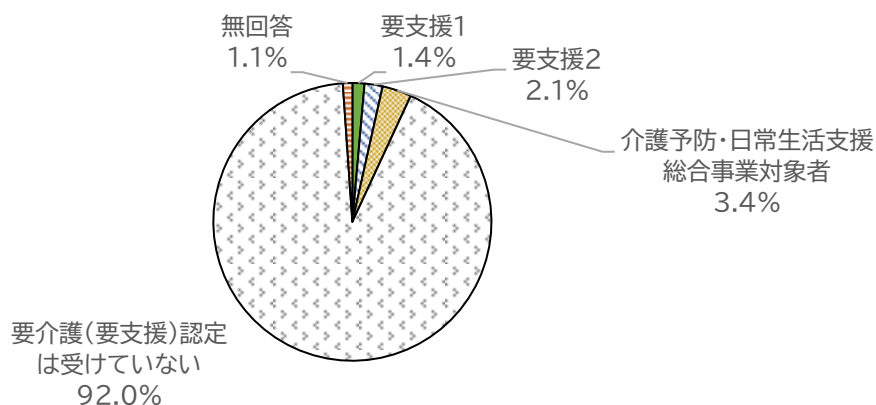


居住地区は、「木ノ下」が33.6%、「下田」が33.4%、「百石」が31.8%となっている。

(5) 要介護度

あて名のご本人の情報を記入してください。

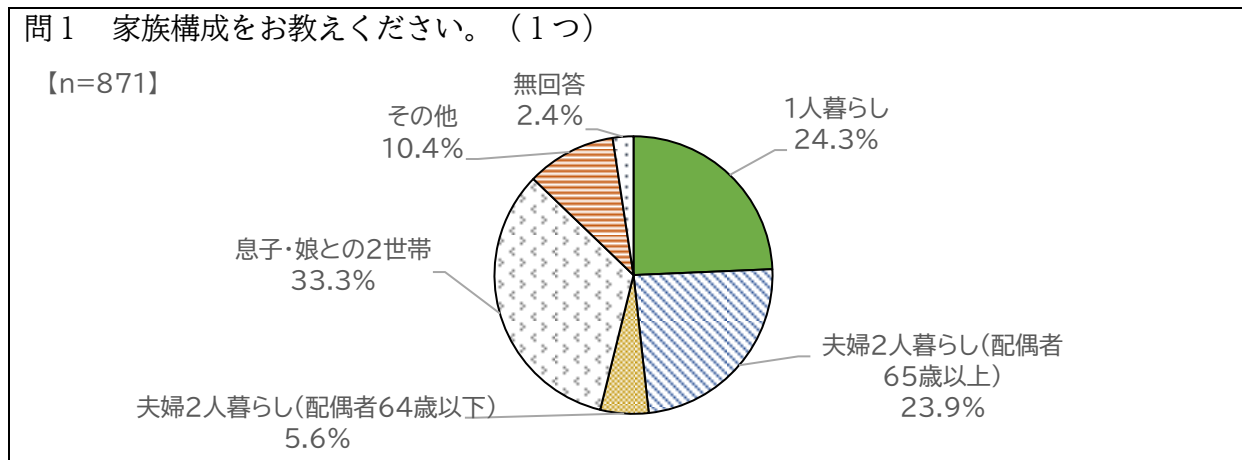
【n=871】



要介護度は、「要支援1」が1.4%、「要支援2」が2.1%、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」が3.4%、「要介護（要支援）認定は受けていない」が92.0%となっている。

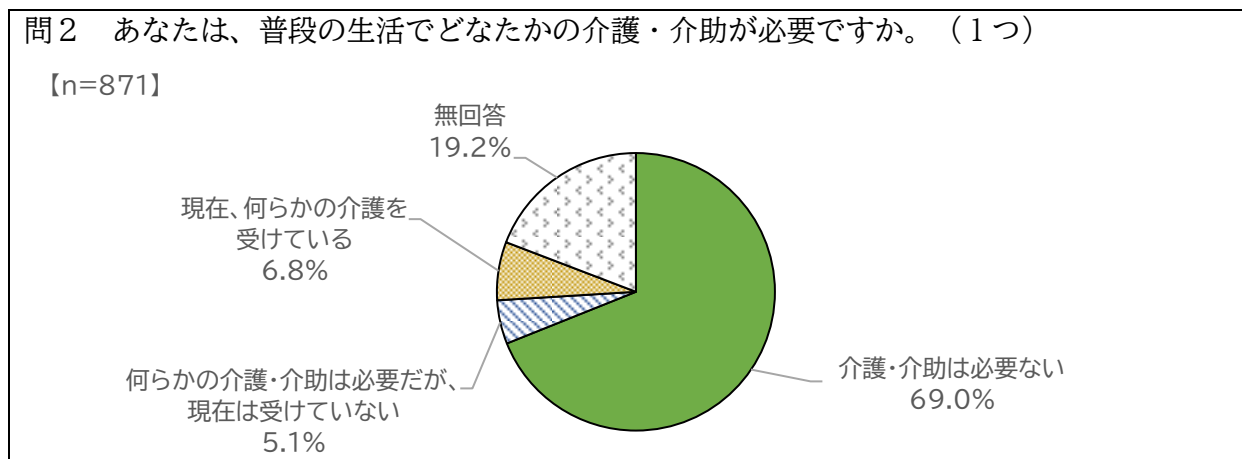
1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成



家族構成は、「息子・娘との2世帯」が33.3%で最も多く、次いで「1人暮らし」(24.3%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(23.9%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(5.6%)となっている。

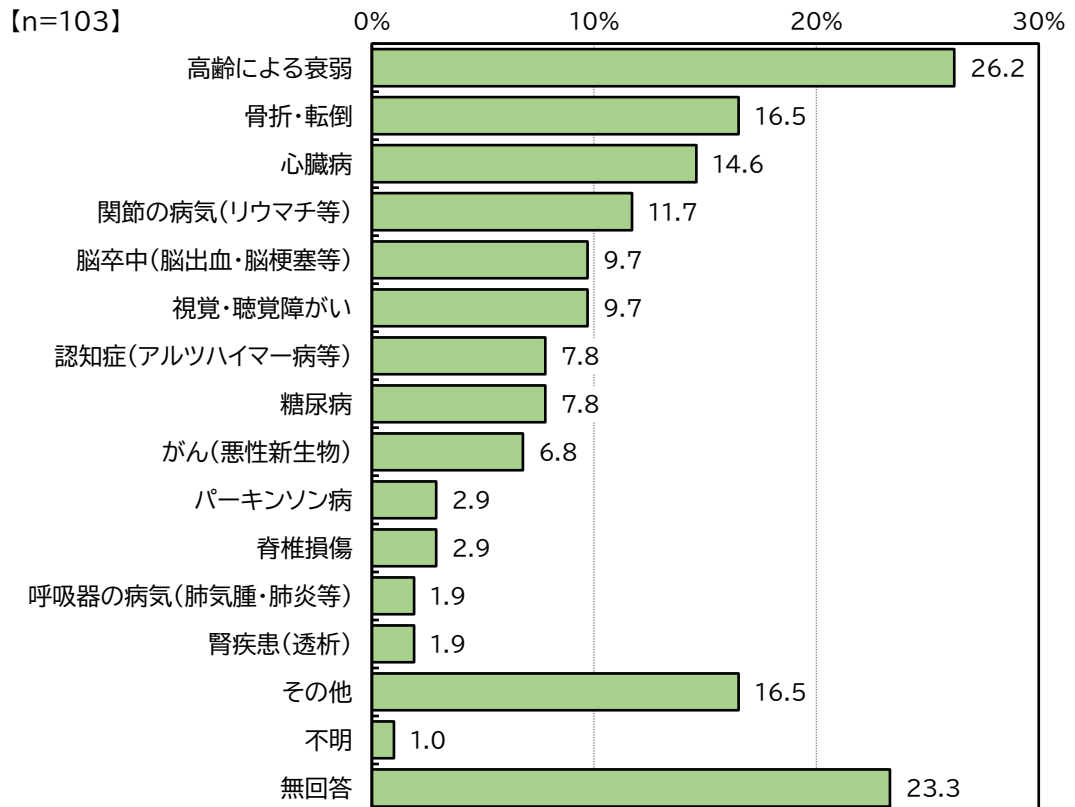
(2) 介護・介助の必要性



普段の生活で介護・介助が必要かでは、69.0%が「介護・介助は必要ない」と回答している。その他「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(5.1%)、「現在、何らかの介護を受けている(※介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」(6.8%)となっている。

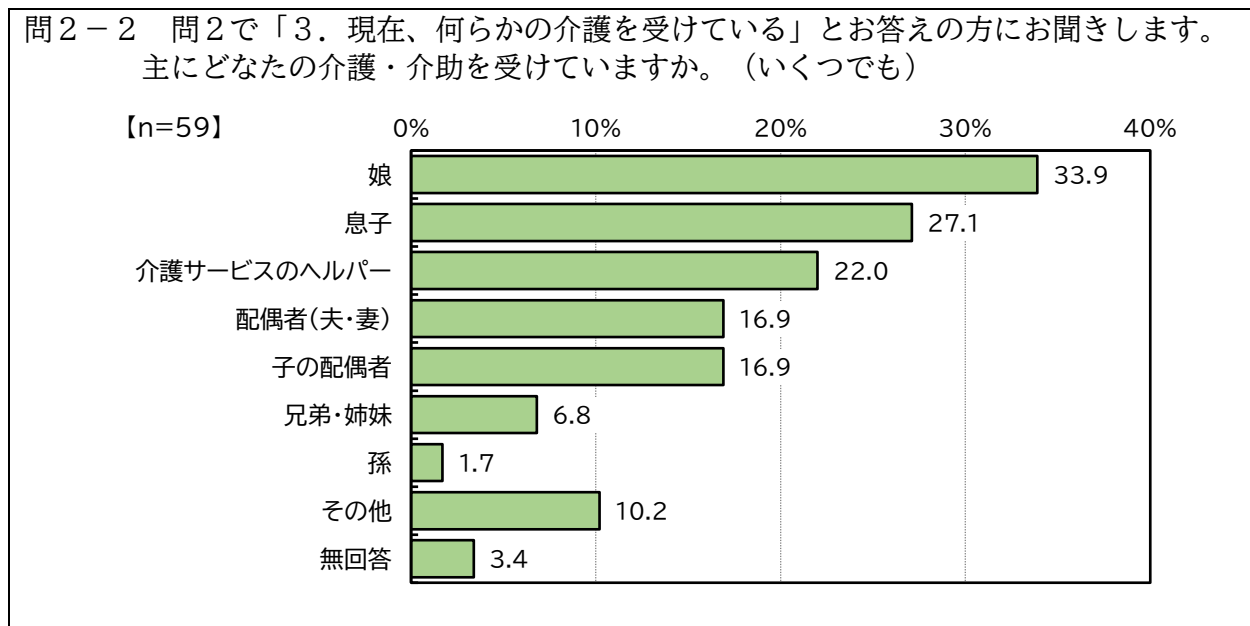
(3) 介護・介助が必要になった主な原因

問2-1 問2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方にお聞きます。介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（いくつでも）



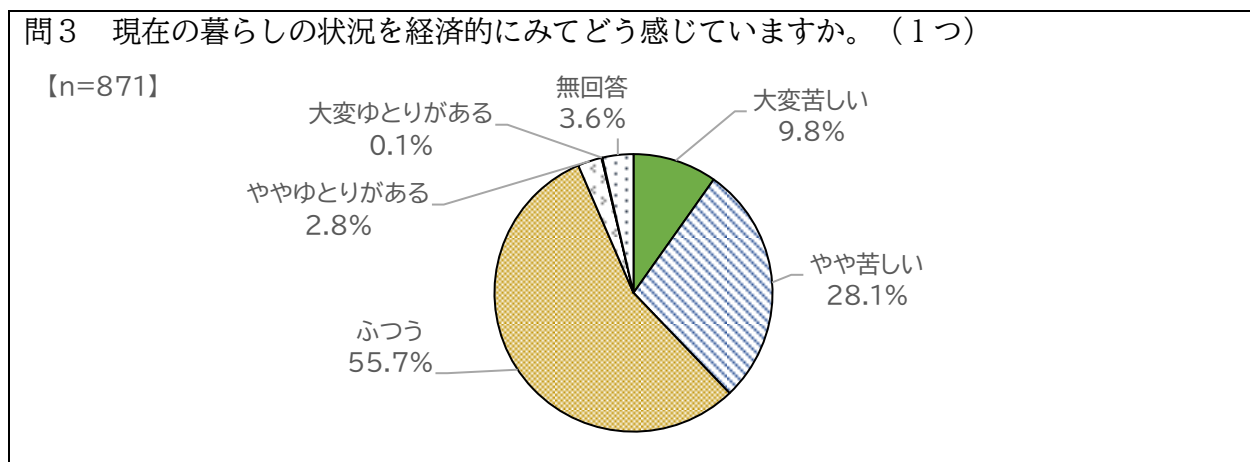
問2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した103人に、介護・介助が必要になった原因を尋ねると、「高齢による衰弱」が26.2%で最も多く、次いで「骨折・転倒」（16.5%）、「心臓病」（14.6%）、「関節の病気（リウマチ等）」（11.7%）、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「視覚・聴覚障がい」（ともに9.7%）と続いている。

(4) 主な介護・介助者



問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した59人に、主な介護者・介助者を尋ねると、「娘」が33.9%と最も多く、次いで「息子」(27.1%)、「介護サービスのヘルパー」(22.0%)、「配偶者(夫・妻)」「子の配偶者」(ともに16.9%)と続いている。

(5) 現在の暮らしの経済的状況



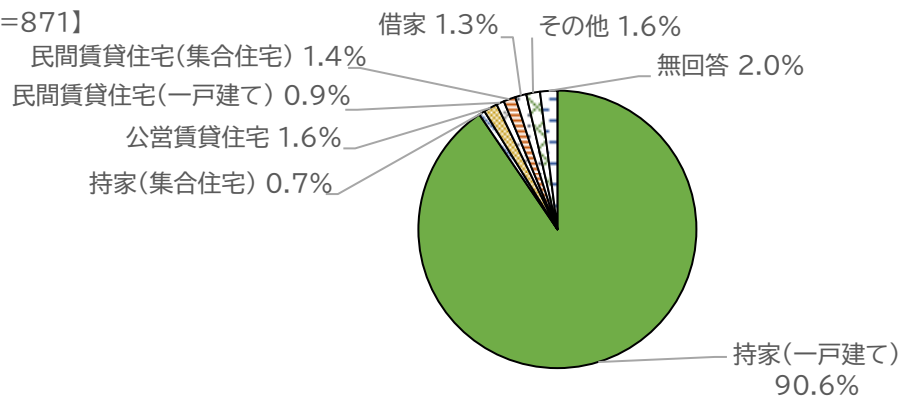
現在の暮らしの状況では、「ふつう」という回答が55.7%と最も多くなっている。

また、「大変苦しい」(9.8%)、「やや苦しい」(28.1%)を合わせると、37.9%が苦しいと回答している。

(6) 住居の形態

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つ)

【n=871】



一戸建てか集合住宅かについては、「持家（一戸建て）」が90.6%と圧倒的に多くなっている。

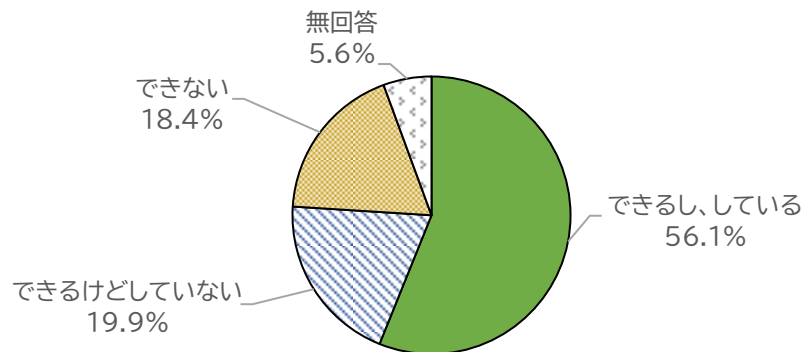
2 からだを動かすことについて

(1) 階段昇行

問5 日常の生活動作についてうかがいます。（それぞれ1つ）

①階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

【n=871】



階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、運動器の機能低下を問う設問。該当設問5問のうち3問以上に該当すると運動機能が低下していると判定される。

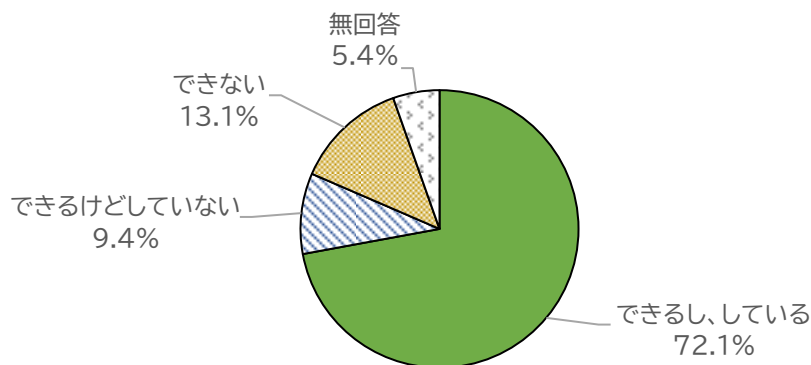
運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は18.4%となっている。

(2) 起立

問5 日常の生活動作についてうかがいます。（それぞれ1つ）

②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

【n=871】



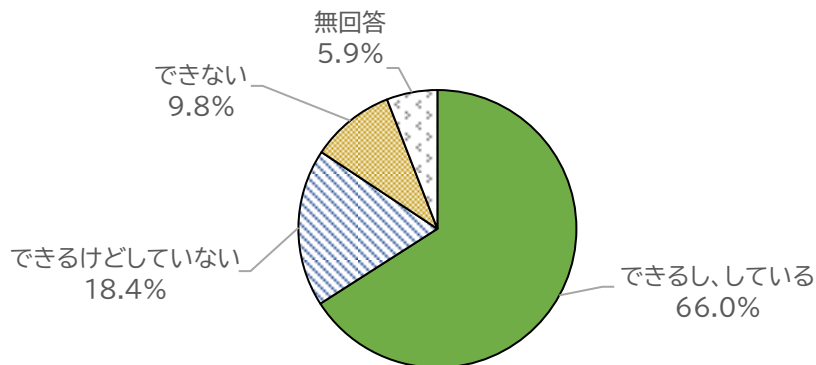
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかは、運動器の機能低下を問う設問。

運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は13.1%となっている。

(3) 継続的な歩行

問5 日常の生活動作についてうかがいます。(それぞれ1つ)
③15分位続けて歩いていますか

【n=871】

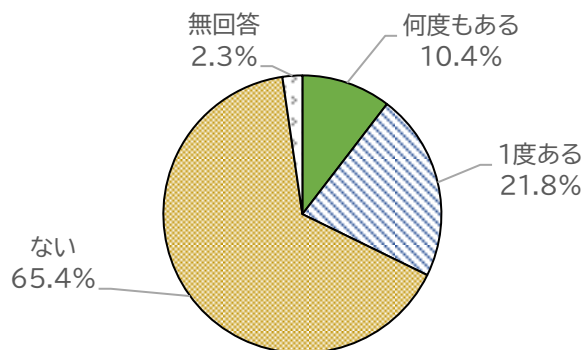


15分位続けて歩いているかは、運動器の機能低下を問う設問。
運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は9.8%となっている。

(4) 転倒した経験

問6 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つ)

【n=871】



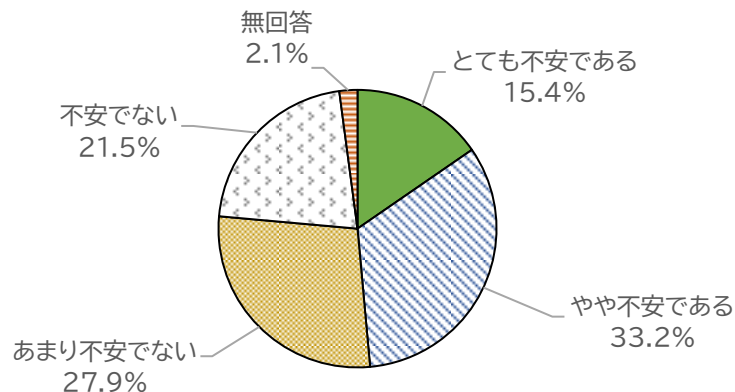
過去1年間に転んだことがあるかは、運動器の機能低下及び転倒リスクを問う設問。当設問に該当すると転倒リスクがあると判定される。

運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる「何度もある」の割合は10.4%、「1度ある」の割合は21.8%となっている。

(5) 転倒に対する不安

問7 転倒に対する不安は大きいですか。(1つ)

【n=871】



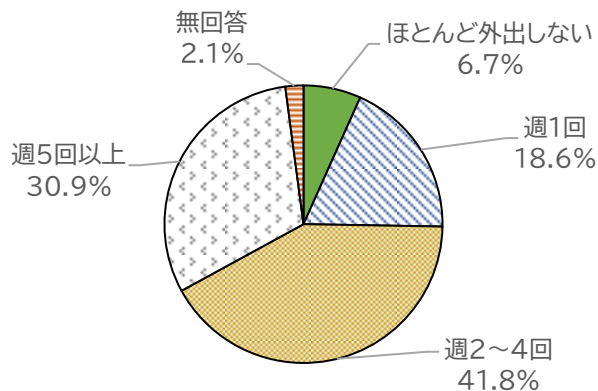
転倒に対する不安は、運動器の機能低下を問う設問。

運動器機能低下のチェック該当となる「とても不安である」の割合は15.4%、「やや不安である」の割合は33.2%となっている。

(6) 外出について

問8 週に1回以上は外出していますか。(1つ)

【n=871】



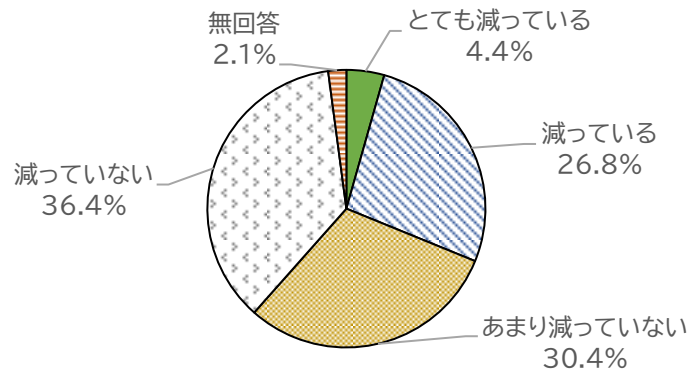
週に1回以上は外出しているかは、閉じこもり傾向を問う設問。当設問に該当すると閉じこもりリスクがあると判定される。

閉じこもり傾向のチェック該当となる「ほとんど外出しない」の割合は6.7%、「週1回」の割合は18.6%となっている。

(7) 外出頻度の減少

問9 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つ)

【n=871】



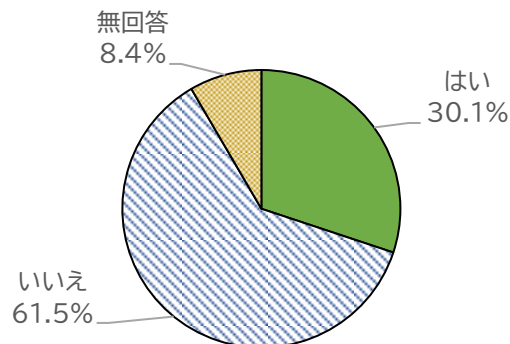
昨年と比べて外出の回数が減っているかは、「とても減っている」(4.4%)、「減っている」(26.8%)を合わせると、31.2%が減っていると回答している。

また、「減っていない」(36.4%)、「あまり減っていない」(30.4%)を合わせると、66.8%が減っていないと回答している。

(8) 外出を控えているか

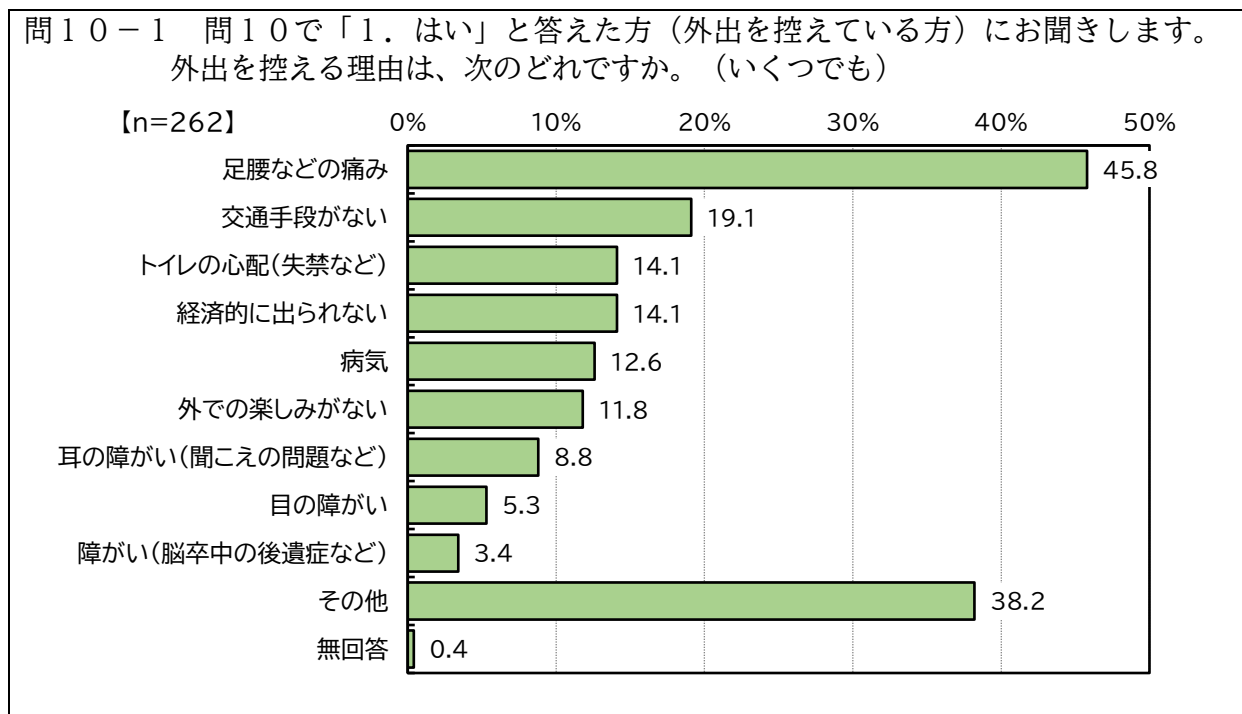
問10 外出を控えていますか。(1つ)

【n=871】



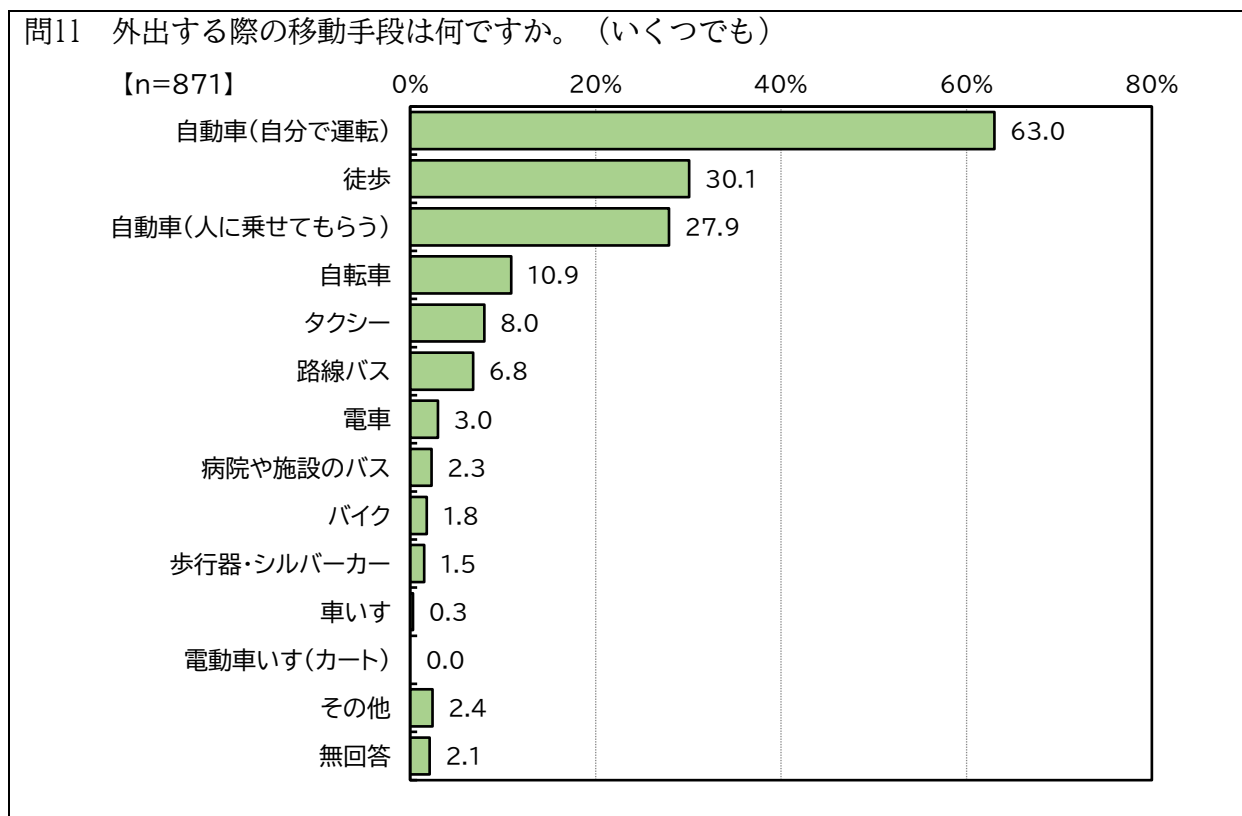
外出を控えているかは、「はい」が30.1%、「いいえ」が61.5%となっている。

(9) 外出を控える理由



問10で外出を控えていると回答した262人に、その理由を尋ねると、「足腰などの痛み」が45.8%と最も多く、次いで「交通手段がない」（19.1%）、「トイレの心配（失禁など）」「経済的に出られない」（ともに14.1%）と続いている。

(10) 外出する際の移動手段



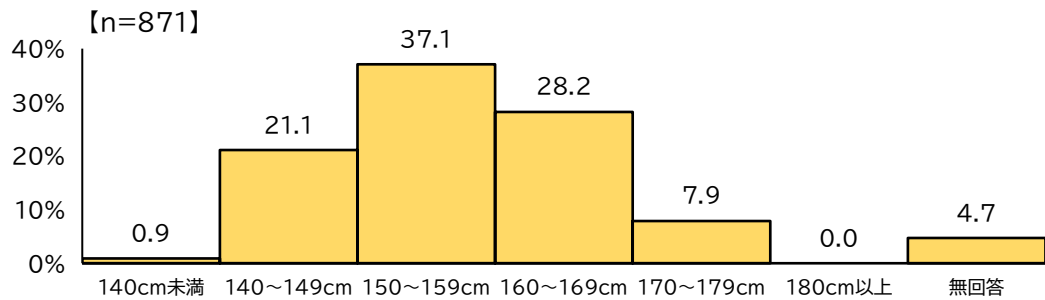
外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が63.0%と最も多く、次いで「徒歩」（30.1%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（27.9%）と続いている。

3 食べることについて

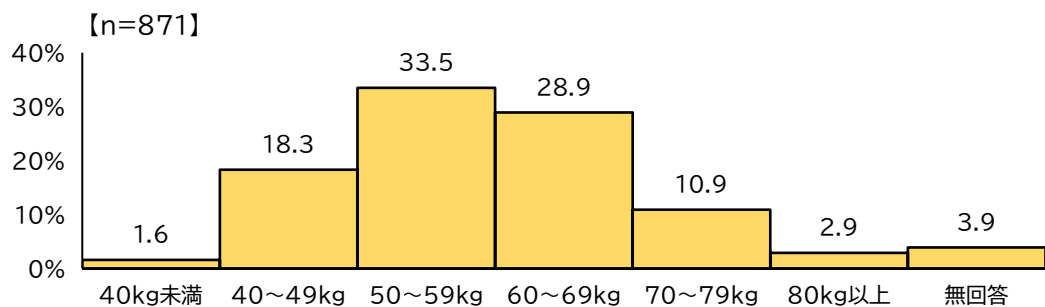
(1) 本人の身長・体重

問12 あて名ご本人の身長、体重をお答えください。

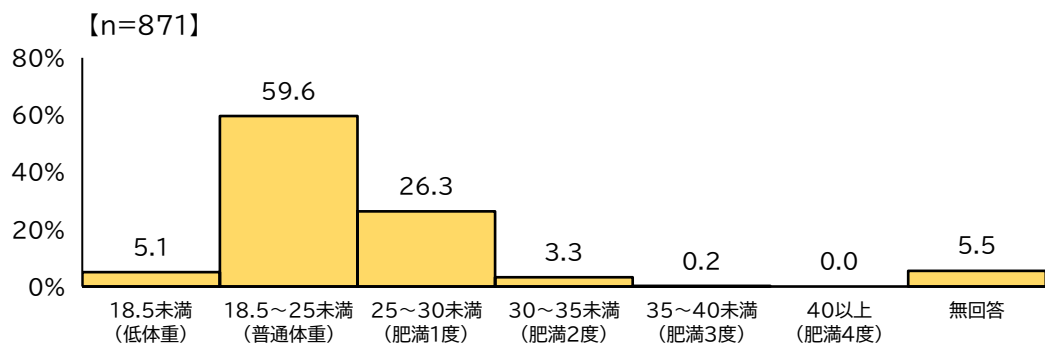
<身長>



<体重>



<BMI>



身長・体重は、BMIを算出し、低栄養の傾向を問う設問。

身長は、「150～159cm」が37.1%と最も多く、次いで「160～169cm」(28.2%)、「140～149cm」(21.1%)となっている。

体重は、「50～59kg」が33.5%と最も多く、次いで「60～69kg」(28.9%)、「40～49kg」(18.3%)となっている。

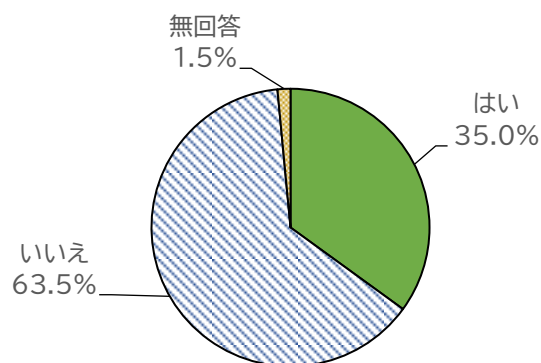
また、低栄養傾向のチェック該当となるBMI「18.5未満」の割合は、5.1%となっている。

(2) 固いものが食べにくくなったか

問13 口腔・栄養についてうかがいます。(それぞれ1つ)

①半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか

【n=871】



半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは、口腔機能の低下を問う設問。該当設問3問のうち2問以上に該当すると口腔機能が低下していると判定される。

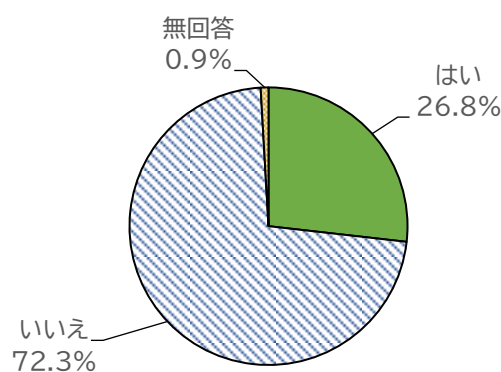
口腔機能の低下リスクのチェック該当となる「はい」の割合は35.0%となっている。

(3) お茶や汁物等でむせることがあるか

問13 口腔・栄養についてうかがいます。(それぞれ1つ)

②お茶や汁物等でむせることがありますか

【n=871】



お茶や汁物等でむせることがあるかは、口腔機能の低下を問う設問。

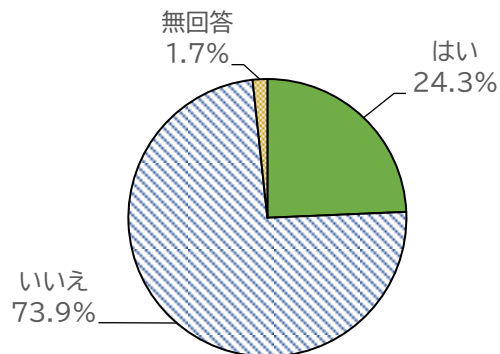
口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は26.8%となっている。

(4) 口の渇き

問13 口腔・栄養についてうかがいます。（それぞれ1つ）

③口の渇きが気になりますか

【n=871】



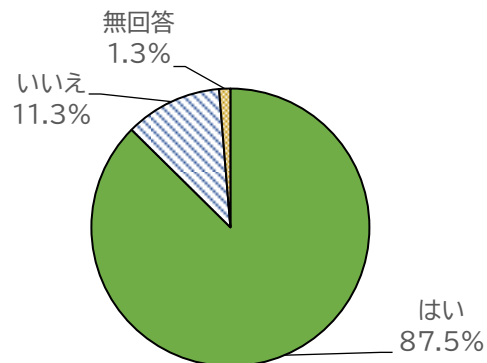
口の渇きが気になるかは、口腔機能の低下を問う設問。
口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は24.3%となっている。

(5) 歯磨きの習慣

問13 口腔・栄養についてうかがいます。（それぞれ1つ）

④歯磨き（人にやってもらう場合を含む）を毎日していますか

【n=871】



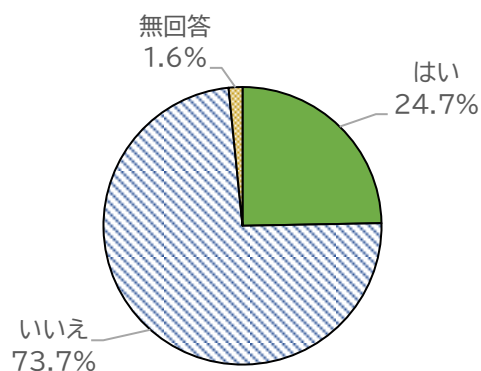
歯磨きを毎日しているかは、「はい」が87.5%、「いいえ」が11.3%となっている。

(6) 歯科受診

問13 口腔・栄養についてうかがいます。(それぞれ1つ)

⑤定期的な歯科受診をしていますか

【n=871】



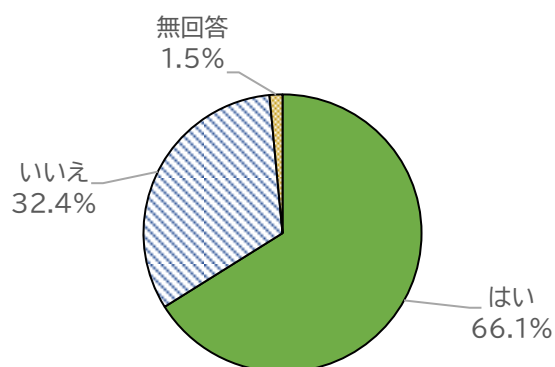
定期的な歯科受診をしているかは、「はい」が24.7%、「いいえ」が73.7%となっている。

(7) 噛み合わせ

問13 口腔・栄養についてうかがいます。(それぞれ1つ)

⑥噛み合わせは良いですか

【n=871】

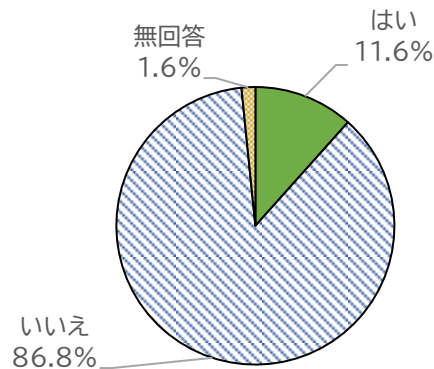


噛み合わせは良いかは、「はい」が66.1%、「いいえ」が32.4%となっている。

(8) 体重の減少

問13 口腔・栄養についてうかがいます。(それぞれ1つ)
⑦ 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

【n=871】



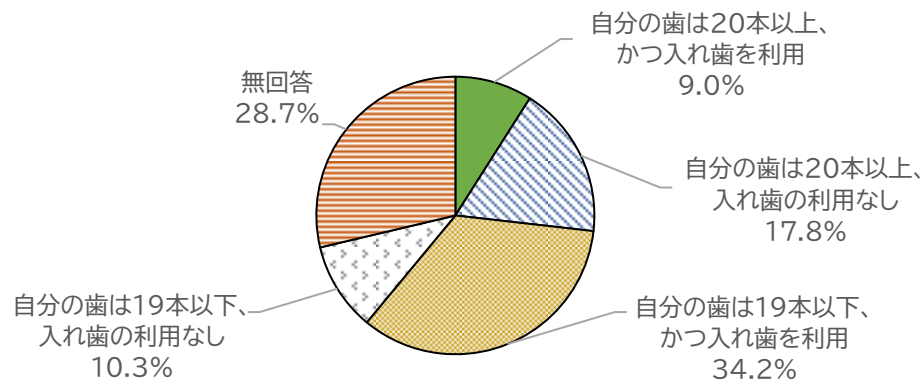
6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかは、低栄養傾向を問う設問。当設問に該当し、BMI「18.5未満」の場合は低栄養リスクがあると判定される。

低栄養傾向のチェック該当となる「はい」の割合は11.6%となっている。

(9) 歯の数と入れ歯の利用状況

問14 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)。(1つ)

【n=871】



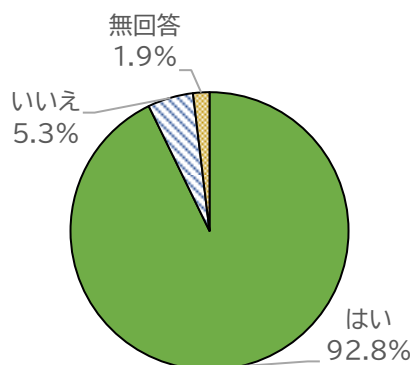
歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が34.2%と最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(17.8%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(10.3%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(9.0%)となっている。

『自分の歯が20本以上の人』は26.8%、『入れ歯を利用している人』は43.2%となっている。

(10) 入れ歯の手入れ

問14-1 問14で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方にお聞きします。毎日入れ歯の手入れをしていますか。（1つ）

【n=376】

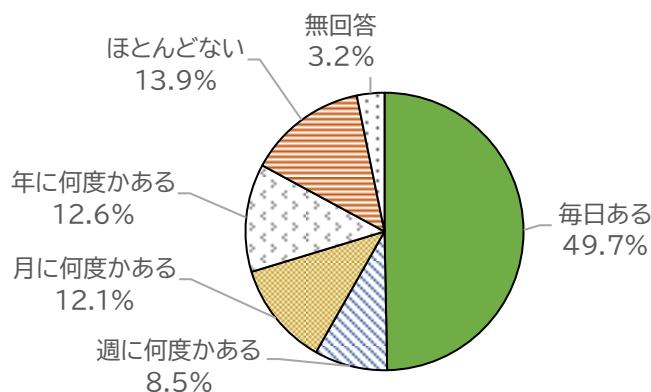


問14で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した376人に、毎日入れ歯の手入れをしているか尋ねると、92.8%が「はい」と回答している。

(11) 誰かと食事をする機会

問15 どなたかと食事をとる機会がありますか。（1つ）

【n=871】



どなたかと食事をとる機会があるかは、「毎日ある」が49.7%と最も多く、次いで「年に何度かある」（12.6%）、「月に何度かある」（12.1%）、「週に何度かある」（8.5%）となっている。

また、「ほとんどない」という回答も13.9%あった。

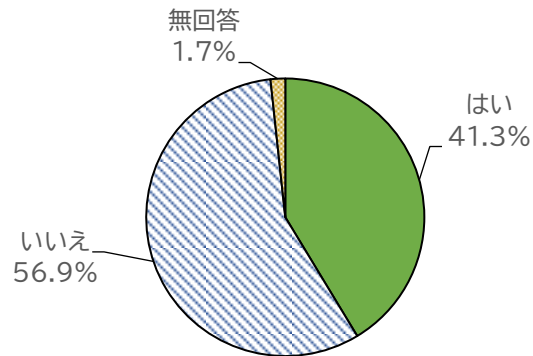
4 毎日の生活について

(1) 物忘れがあるか

問16 物忘れについてうかがいます。(それぞれ1つ)

①物忘れが多いと感じますか

【n=871】



物忘れが多いと感じるかは、認知機能の低下を問う設問。当設問に該当すると認知機能低下のリスクがあると判定される。

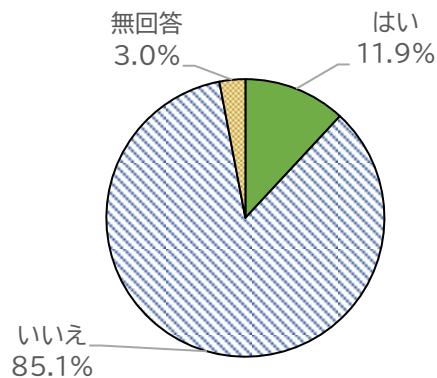
認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は41.3%となっている。

(2) いつも同じ事を聞くか

問16 物忘れについてうかがいます。(それぞれ1つ)

②周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか

【n=871】



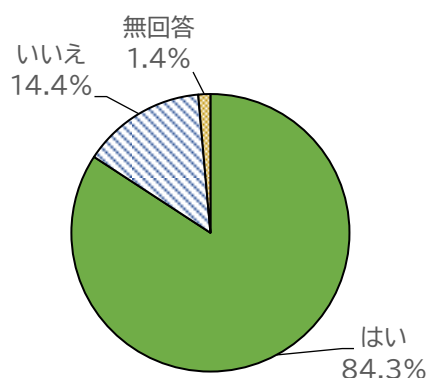
周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされるかは、「はい」が11.9%、「いいえ」が85.1%となっている。

(3) 電話をかけているか

問16 物忘れについてうかがいます。(それぞれ1つ)

③自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

【n=871】



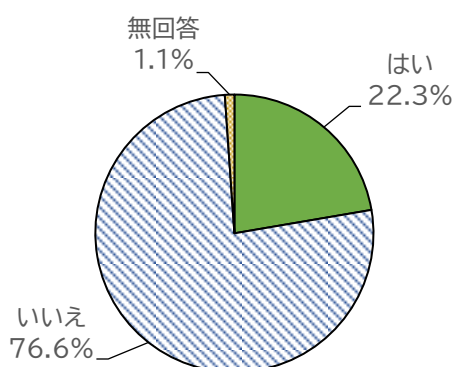
自分で電話番号を調べて電話をかけているかは、「はい」が84.3%、「いいえ」が14.4%となっている。

(4) 日にちがわからないことがあるか

問16 物忘れについてうかがいます。(それぞれ1つ)

④今日が何月何日かわからない時がありますか

【n=871】



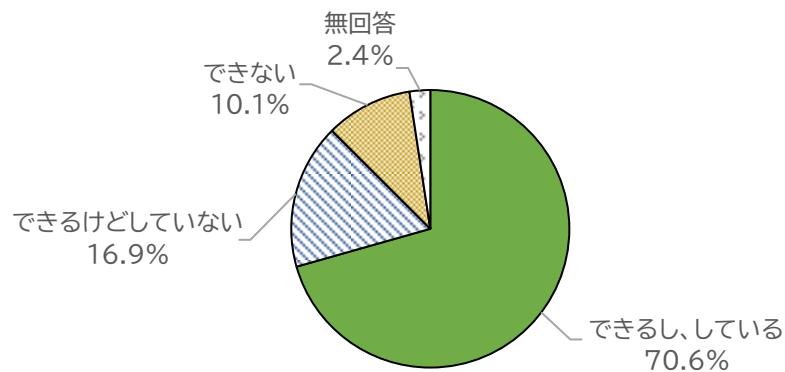
何月何日かわからない時があるかは、「はい」が22.3%、「いいえ」が76.6%となっている。

(5) 1人での外出

問17 その他、日常生活についてうかがいます。（それぞれ1つ）

①バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

【n=871】



バスや電車を使って一人で外出しているかは、IADLの低下を問う設問。「できるし、している」、「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、該当設問5問の合計点でIADLの低下を評価する。（5点：高い、4点：やや低い、3点以下：低い）

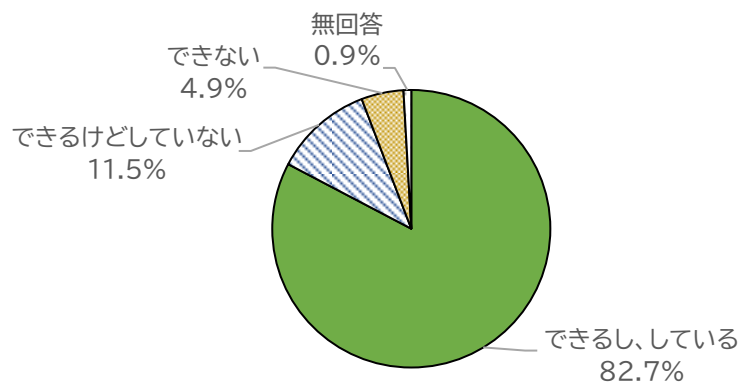
IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できるし、している」の割合は70.6%、「できるけどしていない」の割合は16.9%となっている。

(6) 食品・日用品の買い物

問17 その他、日常生活についてうかがいます。（それぞれ1つ）

②自分で食品・日用品の買物をしていますか

【n=871】



自分で食品・日用品の買物をしているかは、IADLの低下を問う設問。

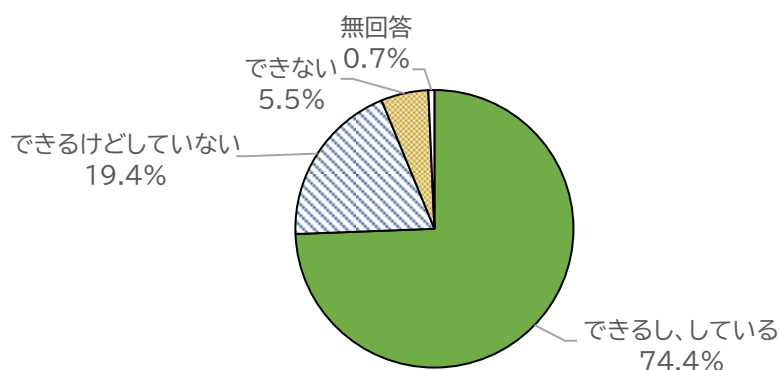
IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できるし、している」の割合は82.7%、「できるけどしていない」の割合は11.5%となっている。

(7) 食事の用意

問17 その他、日常生活についてうかがいます。（それぞれ1つ）

③自分で食事の用意をしていますか

【n=871】



自分で食事の用意をしているかは、IADLの低下を問う設問。

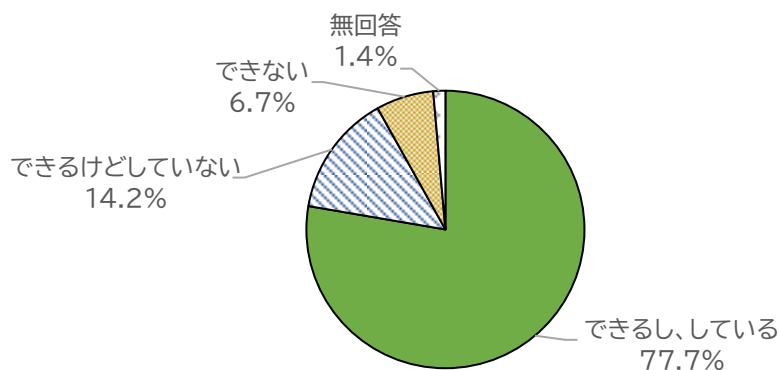
IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できるし、している」の割合は74.4%、「できるけどしていない」の割合は19.4%となっている。

(8) 請求書の支払い

問17 その他、日常生活についてうかがいます。（それぞれ1つ）

④自分で請求書の支払いをしていますか

【n=871】



自分で請求書の支払いをしているかは、IADLの低下を問う設問。

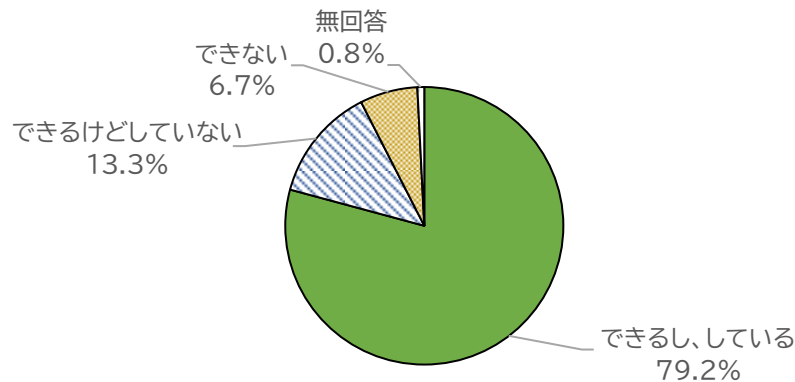
IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できるし、している」の割合は77.7%、「できるけどしていない」の割合は14.2%となっている。

(9) 預貯金の出し入れ

問17 その他、日常生活についてうかがいます。(それぞれ1つ)

⑤自分で預貯金の出し入れをしていますか

【n=871】



自分で預貯金の出し入れをしているかは、IADLの低下を問う設問。

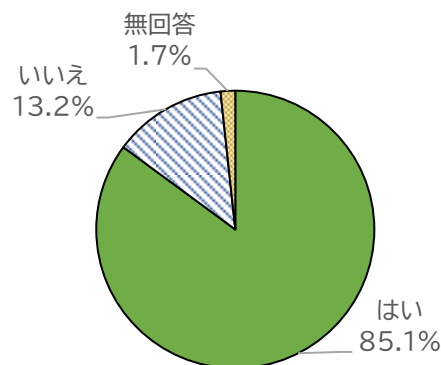
IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できるし、している」の割合は79.2%、「できるけどしていない」の割合は13.3%となっている。

(10) 新聞や本、雑誌を読んでいるか

問18 社会参加についてうかがいます。(それぞれ1つ)

①新聞や本、雑誌を読んでいますか

【n=871】



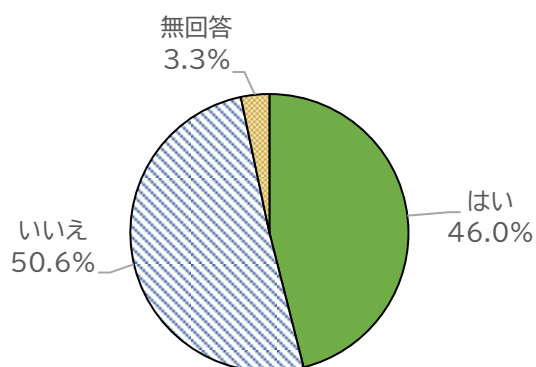
新聞や本、雑誌を読んでいるかは、「はい」が85.1%、「いいえ」が13.2%となっている。

(11) 友人宅への訪問

問18 社会参加についてうかがいます。（それぞれ1つ）

②友人の家を訪ねていますか

【n=871】



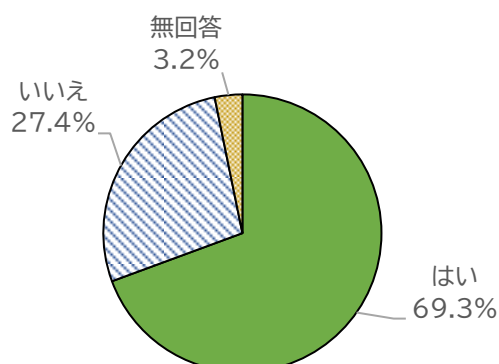
友人の家を訪ねているかは、「はい」が46.0%、「いいえ」が50.6%となっている。

(12) 相談にのっているか

問18 社会参加についてうかがいます。（それぞれ1つ）

③家族や友人の相談にのっていますか

【n=871】

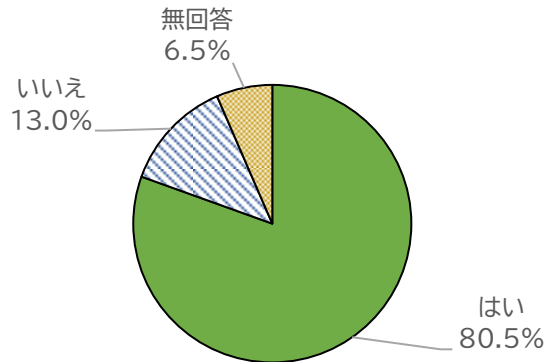


家族や友人の相談にのっているかは、「はい」が69.3%、「いいえ」が27.4%となっている。

(13) 健康についての記事や番組への関心

問19 健康についての記事や番組に関心がありますか。（1つ）

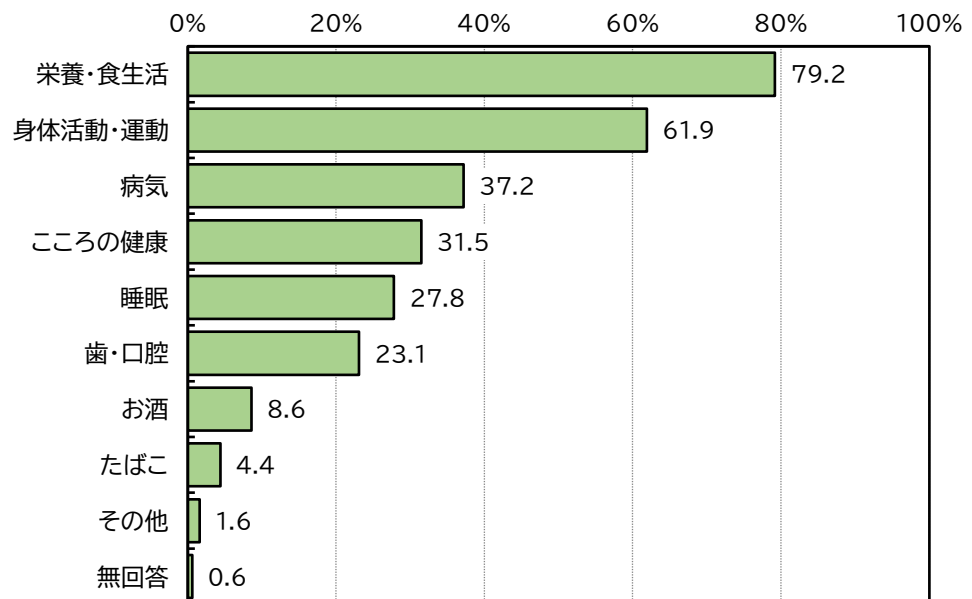
【n=871】



健康についての記事や番組に関心があるかは、「はい」が80.5%、「いいえ」が13.0%となっている。

問19-1 問14で「1. はい」とお答えの方にお聞きします。どんな内容に興味がありますか。（いくつでも）

【n=701】

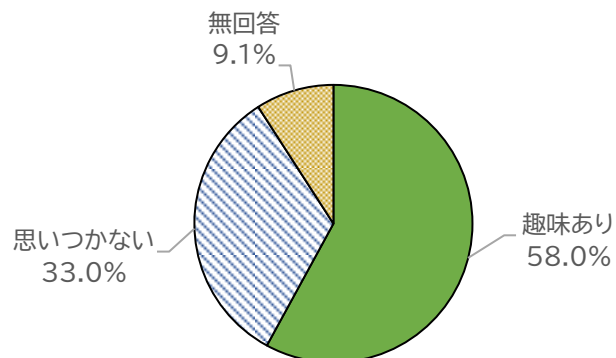


問19で「1. はい」と回答した701人に、どんな内容に興味があるか尋ねると「栄養・食生活」が79.2%で最も多く、次いで「身体活動・運動」（61.9%）、「病気」（37.2%）、「こころの健康」（31.5%）、「睡眠」（27.8%）と続いている。

(14) 趣味はあるか

問20 趣味はありますか。趣味がある方は（ ）内に具体的にお書きください。（1つ）

【n=871】



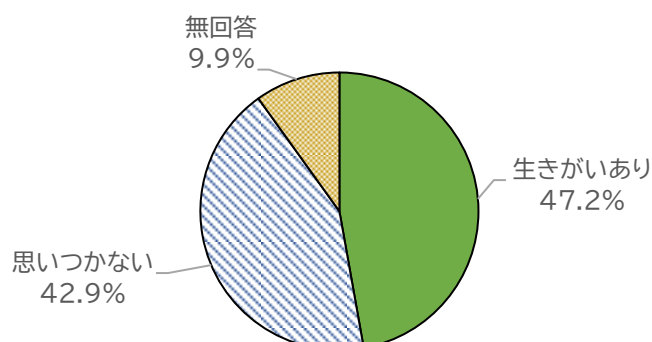
趣味はあるかは、「趣味あり」が58.0%、「思いつかない」が33.0%となっている。

また、趣味がある方の具体的な内容では、「家庭菜園・ガーデニング」、「スポーツ・スポーツ観戦」、「読書」、「手芸・編み物」などの回答が多かった。

(15) 生きがいはあるか

問21 生きがいがありますか。生きがいがある方は（ ）内に具体的にお書きください。（1つ）

【n=871】



生きがいはあるかは、「生きがいあり」が47.2%、「思いつかない」が42.9%となっている。

また、生きがいがある方の具体的な内容では、「子どもに会う・孫の成長」、「家庭菜園・ガーデニング」、「家族」、「仕事」、「健康づくり」などの回答が多かった。

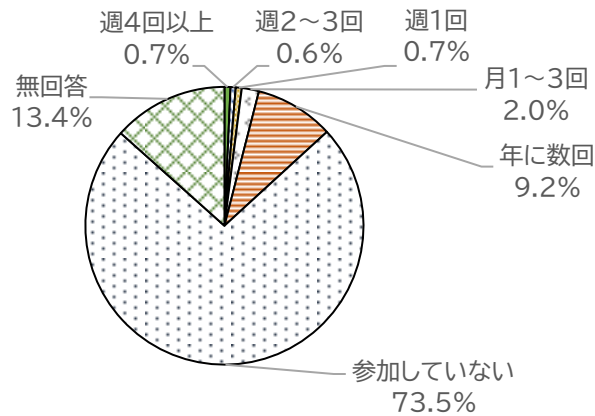
5 地域での活動について

(1) 会・グループへの参加状況

問22 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれ1つ)

①ボランティアのグループ

【n=871】



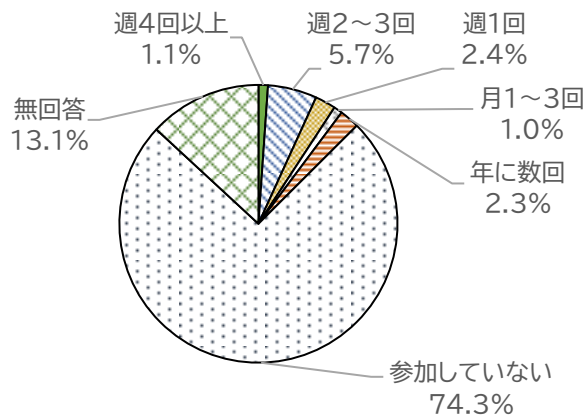
ボランティアのグループにどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の13.2%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が9.2%で最も多くなっている。

また、73.5%は「参加していない」と回答している。

問22 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれ1つ)

②スポーツ関係のグループやクラブ

【n=871】



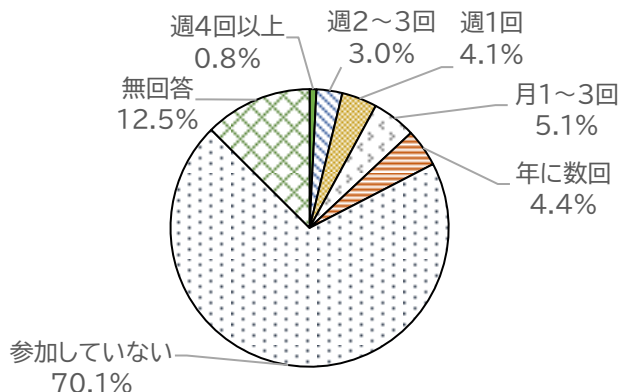
スポーツ関係のグループやクラブにどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の12.5%が活動に参加しており、参加頻度としては「週に2～3回」が5.7%で最も多くなっている。

また、74.3%は「参加していない」と回答している。

問22 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれ1つ)

③趣味関係のグループ

【n=871】



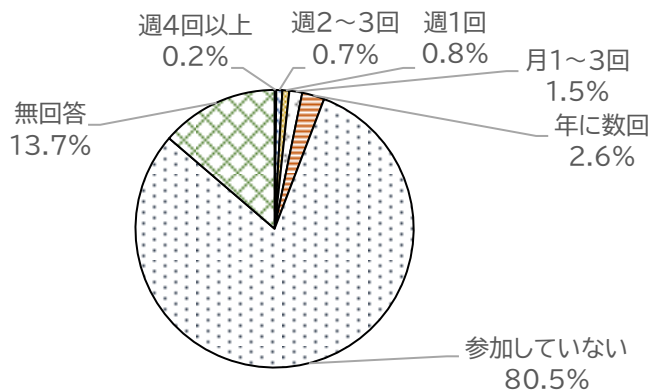
趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の17.4%が活動に参加しており、参加頻度としては「月に1～3回」が5.1%で最も多くなっている。

また、70.1%は「参加していない」と回答している。

問22 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれ1つ)

④学習・教養サークル

【n=871】



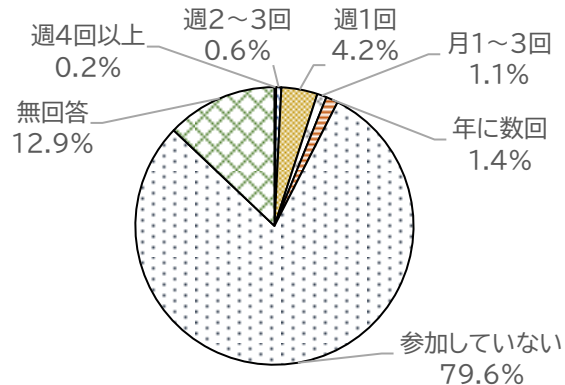
学習・教養サークルにどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の5.8%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が2.6%で最も多くなっている。

また、80.5%は「参加していない」と回答している。

問22 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれ1つ)

⑤介護予防教室・100歳体操など健康・介護予防のための通いの場

【n=871】



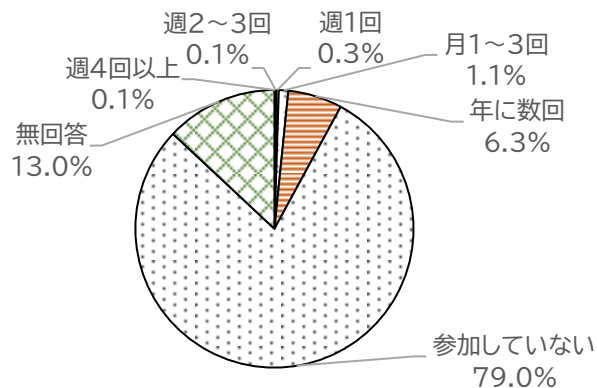
介護予防のための通いの場にどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の7.5%が活動に参加しており、参加頻度としては「週1回」が4.2%で最も多くなっている。

また、79.6%は「参加していない」と回答している。

問22 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれ1つ)

⑥老人クラブ

【n=871】



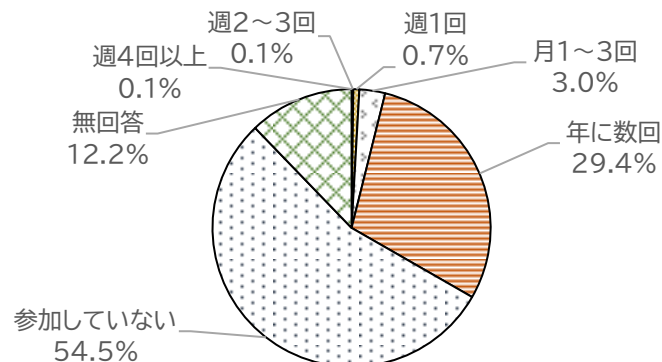
老人クラブにどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の7.9%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が6.3%で最も多くなっている。

また、79.0%は「参加していない」と回答している。

問22 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれ1つ)

⑦町内会・自治会

【n=871】



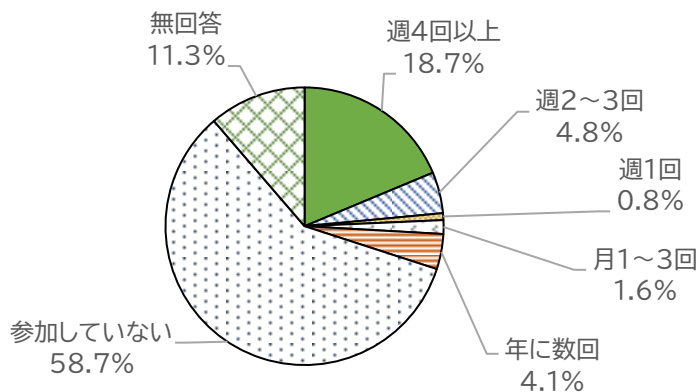
町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の33.3%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が29.4%で最も多くなっている。

また、54.5%は「参加していない」と回答している。

問22 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれ1つ)

⑧収入のある仕事

【n=871】



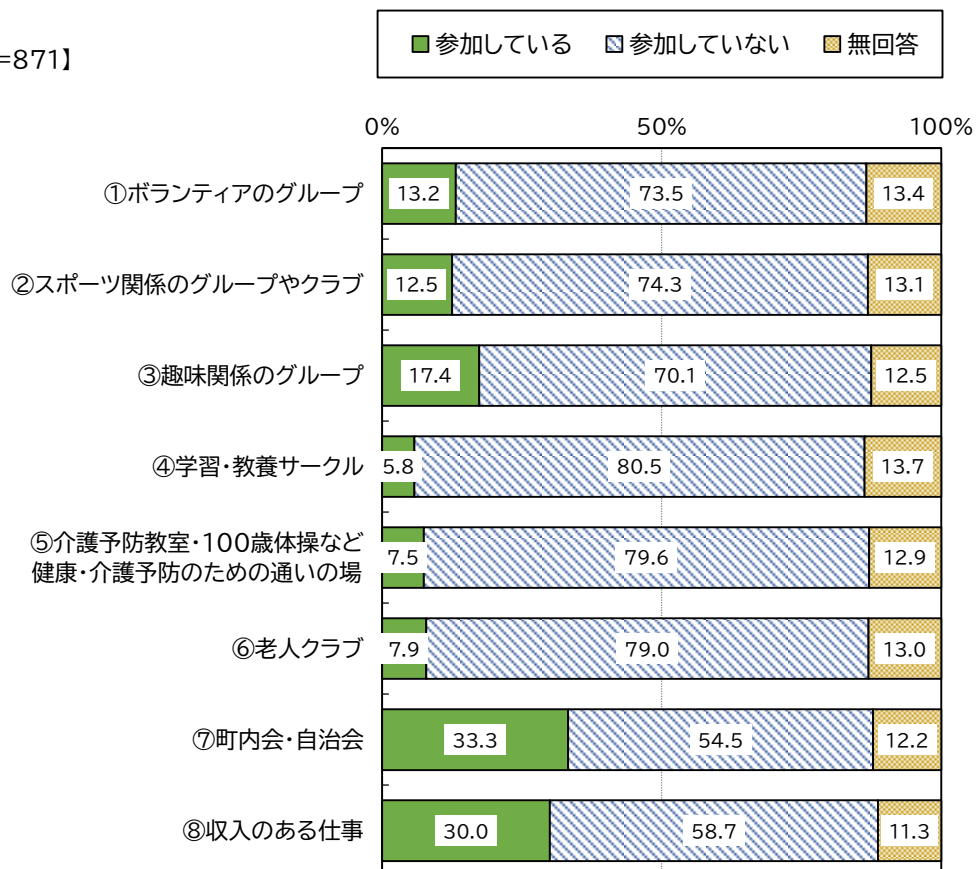
収入のある仕事にどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の30.0%が活動に参加しており、参加頻度としては「週4回以上」が18.7%で最も多くなっている。

また、58.7%は「参加していない」と回答している。

会・グループへの参加状況

①～⑧のまとめ

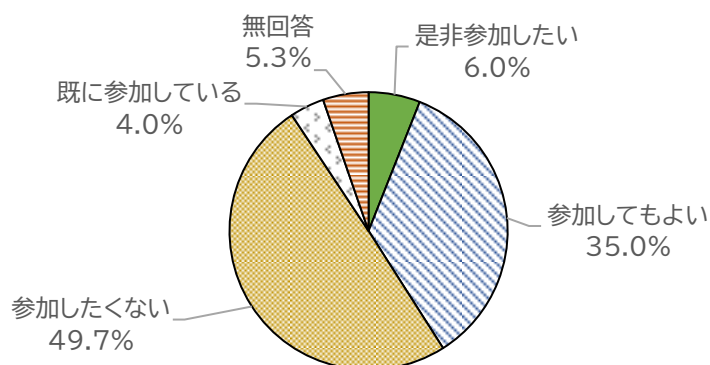
【n=871】



(2) 地域活動への参加者としての参加希望

問23 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つ）

【n=871】

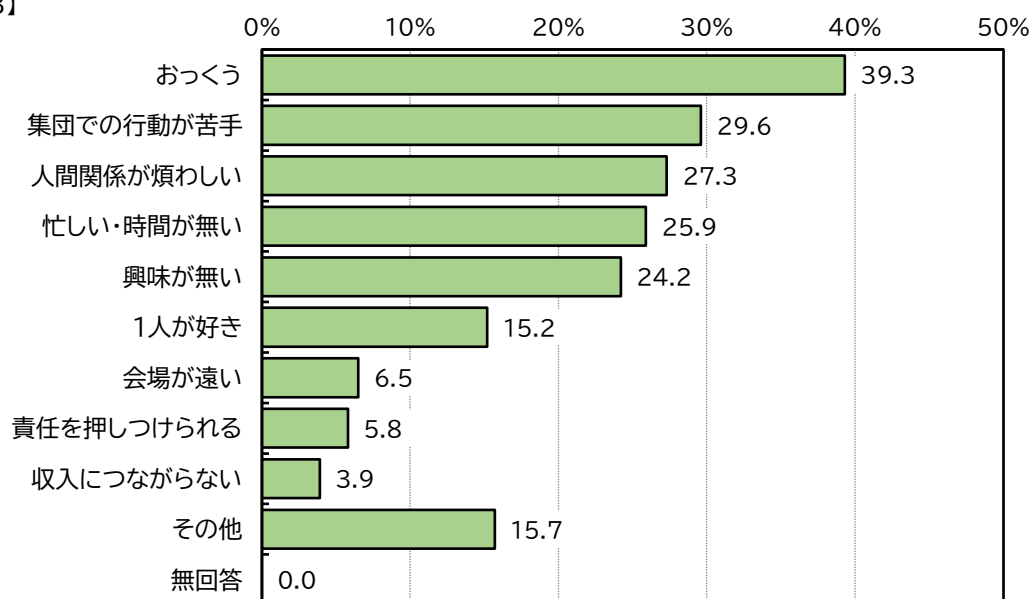


地域住民による活動に参加者として参加してみたいかは、「是非参加したい」（6.0%）、「参加してもよい」（35.0%）を合わせると、41.0%に参加意向がある。

(3) 参加者として参加したくない理由

問23-1 問23で「3. 参加したくない」とお答えの方にお聞きします。参加したくない理由はなんですか。（いくつでも）

【n=433】

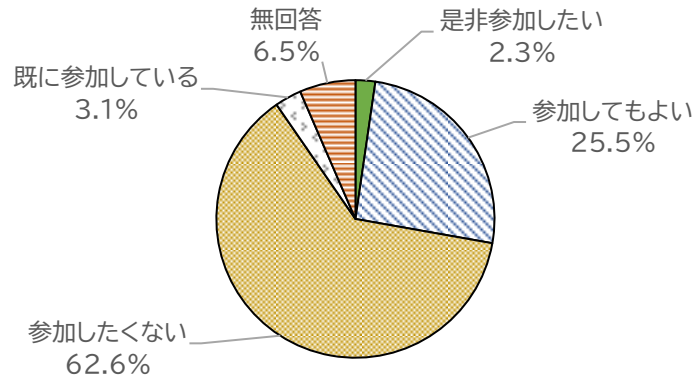


問23で「3. 参加したくない」と回答した433人に、参加したくない理由を尋ねると、「おっくう」が39.3%で最も多く、次いで「集団での行動が苦手」（29.6%）、「人間関係が煩わしい」（27.3%）、「忙しい・時間が無い」（25.9%）、「興味が無い」（24.2%）と続いている。

(4) 地域活動への企画・運営者としての参加希望

問24 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営者（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つ）

【n=871】

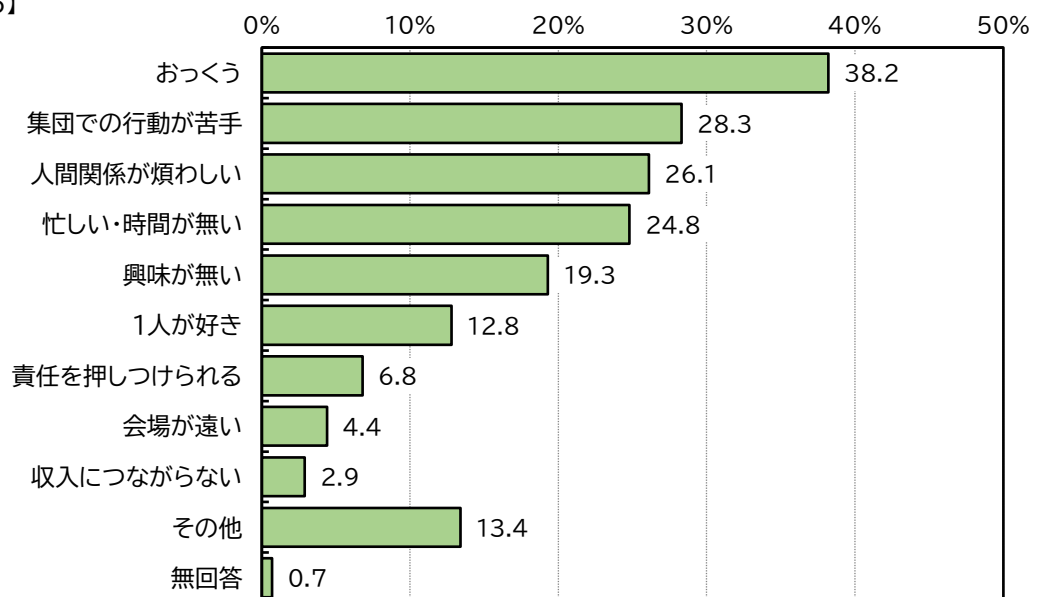


地域住民による活動に企画・運営者として参加してみたいかは、「是非参加したい」（2.3%）、「参加してもよい」（25.5%）を合わせると、27.8%に参加意向がある。

(5) 企画・運営者として参加したくない理由

問24-1 問24で「3. 参加したくない」とお答えの方にお聞きします。参加したくない理由はなんですか。（いくつでも）

【n=545】



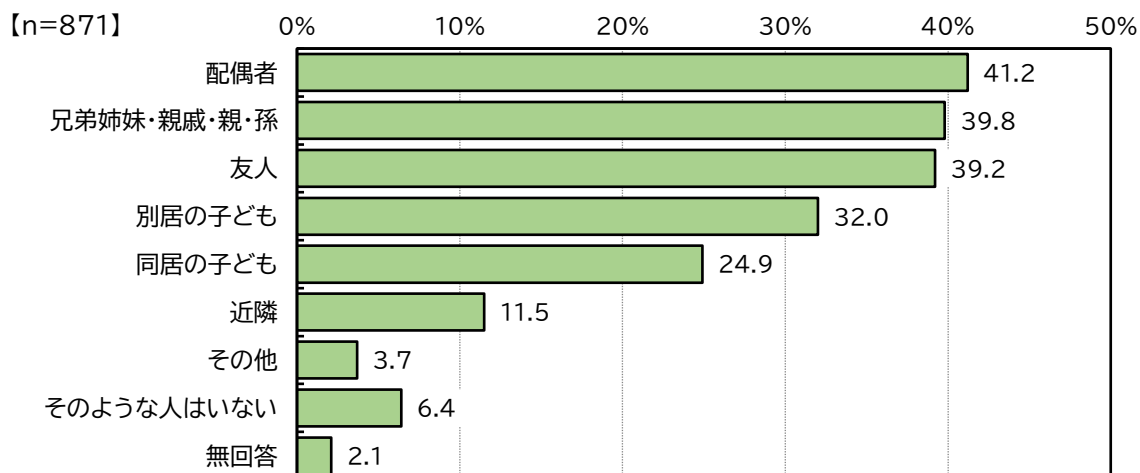
問23で「3. 参加したくない」と回答した545人に、参加したくない理由を尋ねると、「おっくう」が38.2%で最も多く、次いで「集団での行動が苦手」（28.3%）、「人間関係が煩わしい」（26.1%）、「忙しい・時間が無い」（24.8%）、「興味が無い」（19.3%）と続いている。

6 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問25 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。あてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）



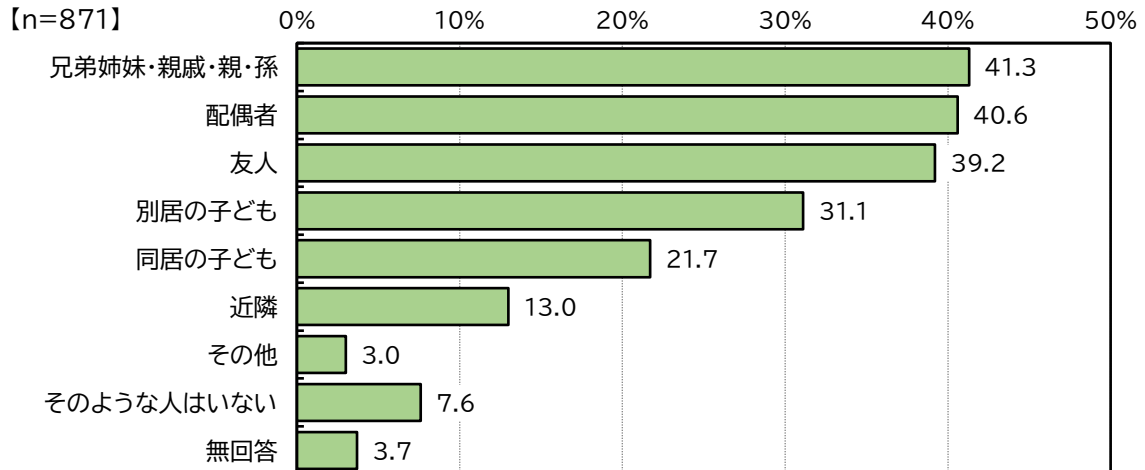
心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」が41.2%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（39.8%）、「友人」（39.2%）、「別居の子ども」（32.0%）、「同居の子ども」（24.9%）、「近隣」（11.5%）となっている。

また、6.4%は「そのような人はいない」と回答している。

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問25 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。あてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。（いくつでも）



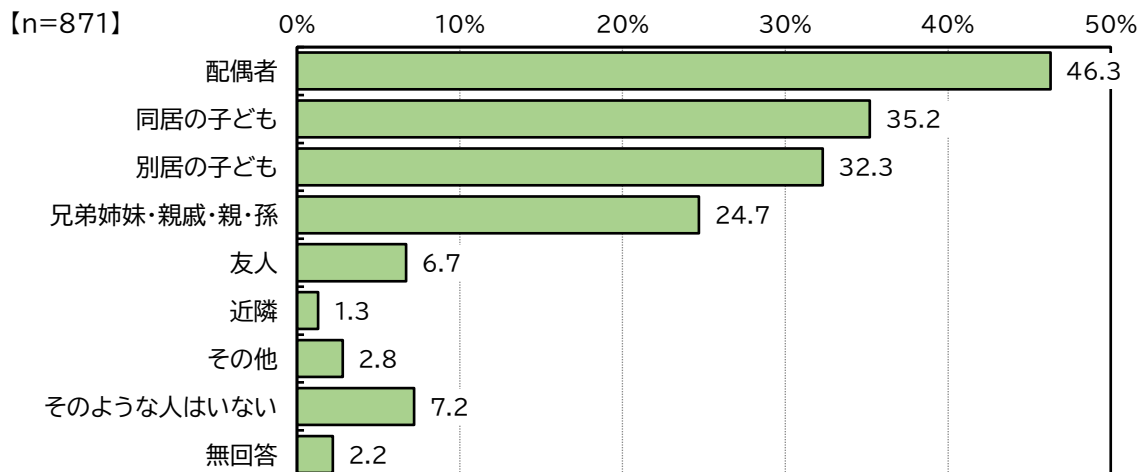
反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が41.3%で最も多く、次いで「配偶者」（40.6%）、「友人」（39.2%）、「別居の子ども」（31.1%）、「同居の子ども」（21.7%）、「近隣」（13.0%）となっている。

また、7.6%は「そのような人はいない」と回答している。

(3) 看病や世話をしてくれる人

問25 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。あてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも)



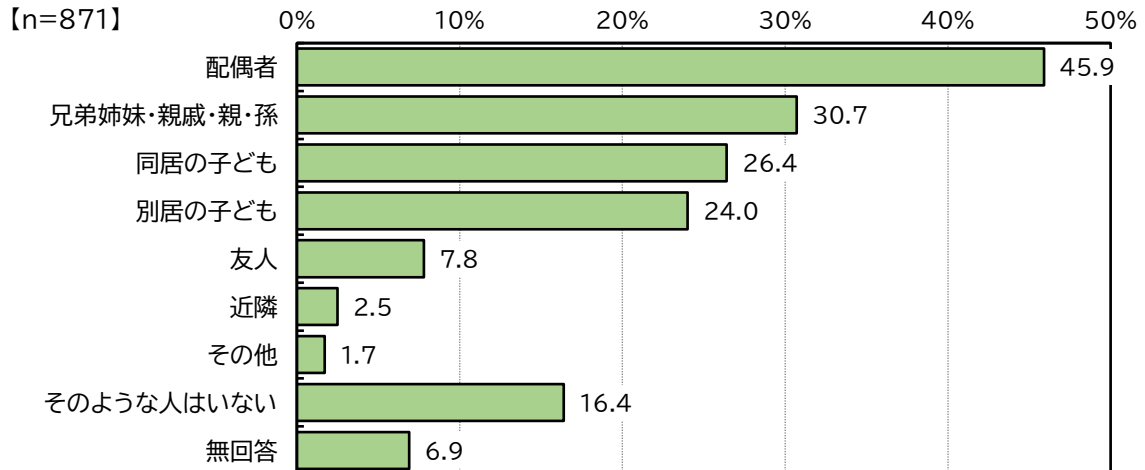
病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が46.3%で最も多く、次いで「同居の子ども」(35.2%)、「別居の子ども」(32.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(24.7%)、「友人」(6.7%)、「近隣」(1.3%)となっている。

また、7.2%は「そのような人はいない」と回答している。

(4) 看病や世話をしあける人

問25 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。あてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。

(4) 反対に、看病や世話をしあける人。(いくつでも)

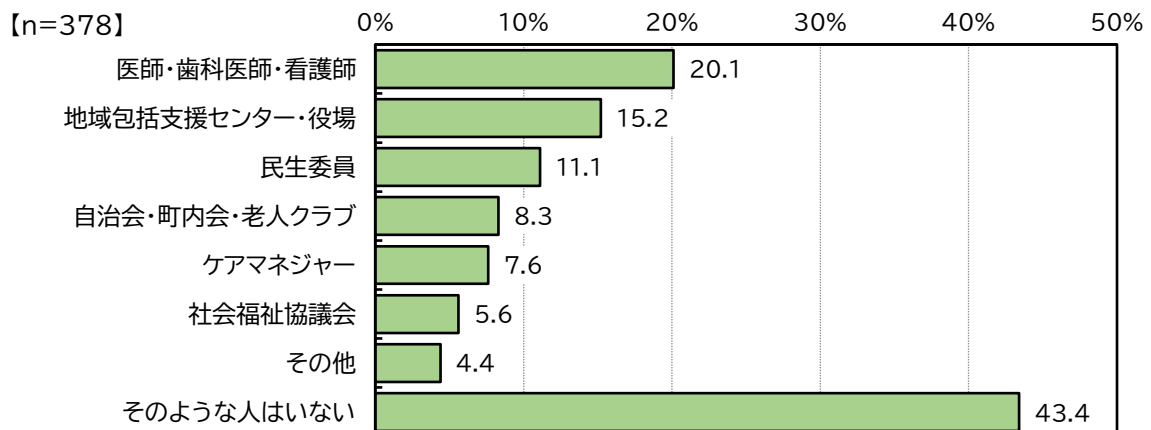


反対に、看病や世話をしあける人は、「配偶者」が45.9%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(30.7%)、「同居の子ども」(26.4%)、「別居の子ども」(24.0%)、「友人」(7.8%)、「近隣」(2.5%)となっている。

また、16.4%は「そのような人はいない」と回答している。

(5) 相談相手

問26 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)



家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「医師・歯科医師・看護師」が20.1%で最も多く、次いで「地域包括支援センター・役場」(15.2%)、「民生委員」(11.1%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(8.3%)、「ケアマネジャー」(7.6%)のと続いている。

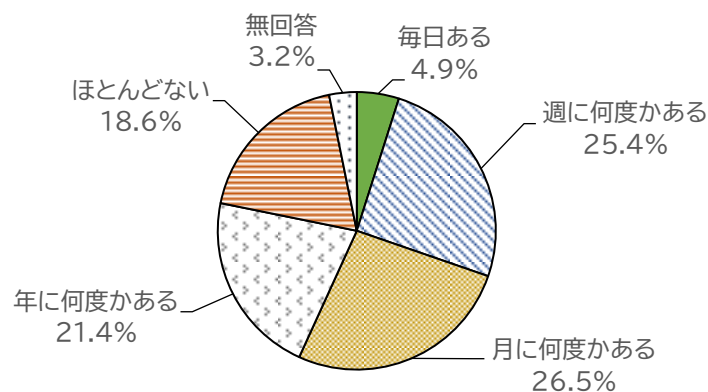
また、43.4%が「そのような人はいない」と回答している。

(6) 友人・知人と会う頻度

問27 友人関係についておうかがいします。

(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つ)

【n=871】



友人・知人と会う頻度については、友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」が26.5%と最も多く、次いで「週に何度かある」(25.4%)、「年に何度かある」(21.4%)、「毎日ある」(4.9%)となっている。

また、18.6%が「ほとんどない」と回答している。

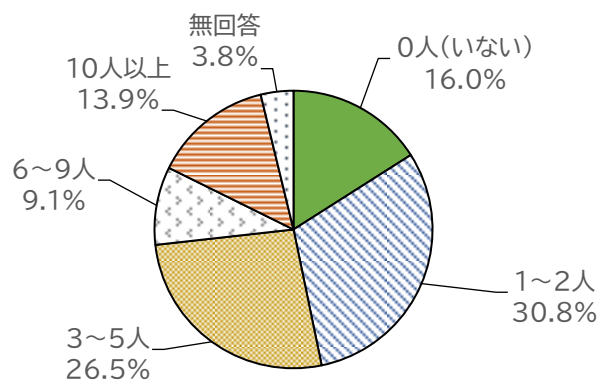
(7) 1か月間に会った友人・知人の数

問27 友人関係についておうかがいします。

(2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つ)

【n=871】

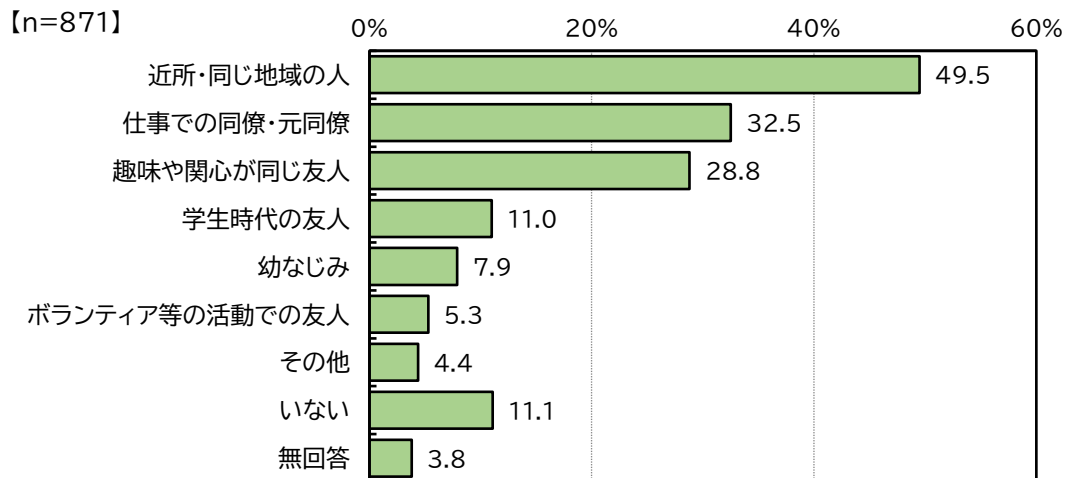


この1か月間、何人の友人・知人と会ったかは、「1～2人」が30.8%と最も多く、次いで「3～5人」(26.5%)、「0人(いない)」(16.0%)、「10人以上」(13.95%)と続いている。

(8) よく会う友人・知人との関係

問27 友人関係についておうかがいします。

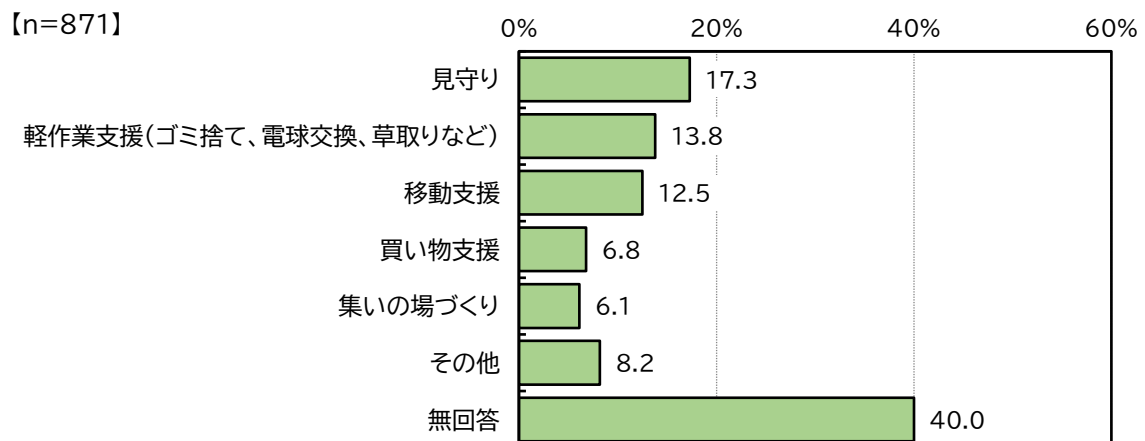
(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)



よく会う友人・知人はどのような関係の人かは、「近所・同じ地域の人」が49.5%と最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」(32.5%)、「趣味や関心が同じ友人」(28.8%)と続いている。

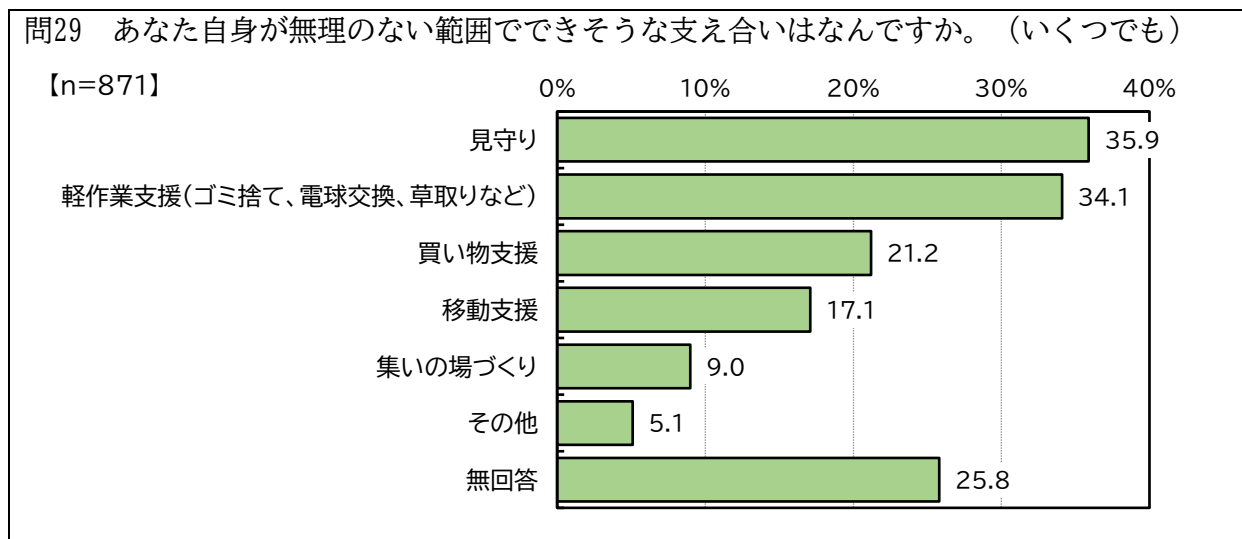
(9) 手助けしてほしいこと

問28 あなた自身が1番手助けしてほしいことはなんですか。(1つ)



1番手助けしてほしいことは、「見守り」が17.3%で最も多く、次いで「軽作業支援(ゴミ捨て、電球交換、草取りなど)」(13.8%)、「移動支援」(12.5%)、「買い物支援」(6.8%)、「集いの場づくり」(6.1%)となっている。

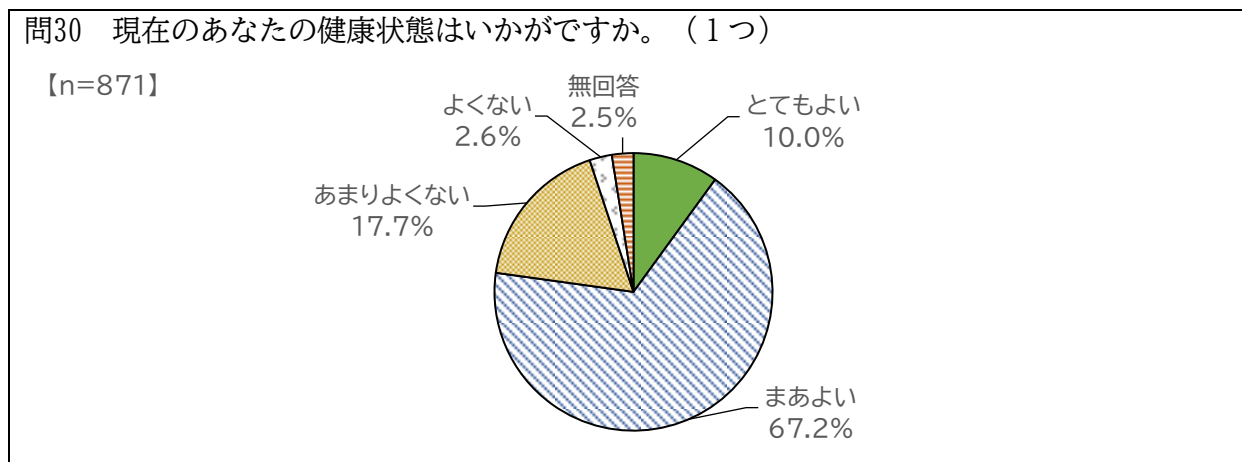
(10) 無理のない範囲の支え合い



あなた自身が無理のない範囲でできそうな支え合いは、「見守り」が35.9%で最も多く、次いで「軽作業支援（ゴミ捨て、電球交換、草取りなど）」（34.1%）、「買い物支援」（21.2%）、「移動支援」（17.1%）、「集いの場づくり」（9.0%）となっている。

7 健康について

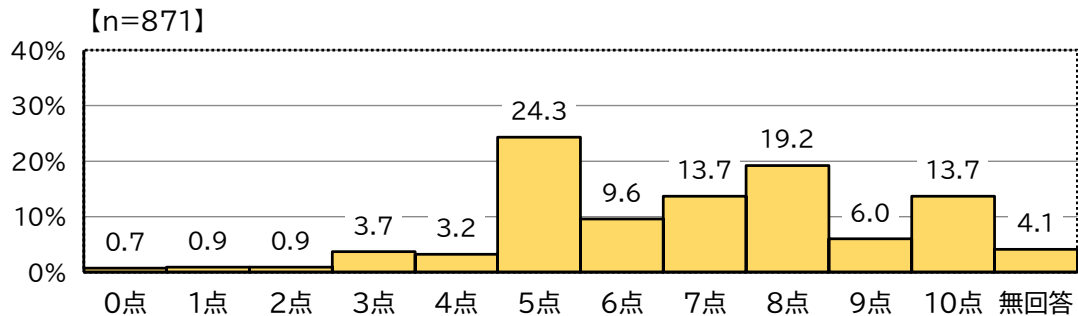
(1) 主観的健康感



現在の健康状態は、「とてもよい」（10.0%）、「まあよい」（67.2%）を合わせると、77.2%が健康状態はよいと回答している。また、「よくない」（2.6%）、「あまりよくない」（17.7%）を合わせると、20.3%が健康状態はよくないと回答している。

(2) 主観的幸福感

問31 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つ)
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



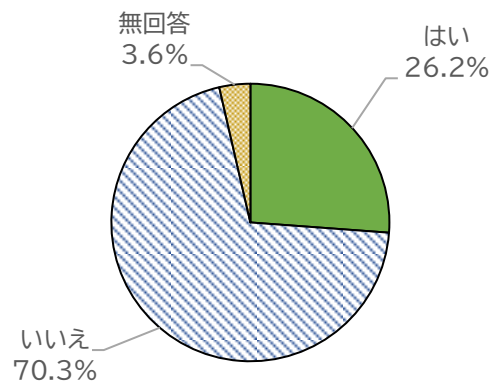
現在どの程度幸せかは、ちょうど中間にあたる「5点」が24.3%と最も多く、次いで「8点」(19.2%)、「7点」「10点」(ともに13.7%)と続いており、5点以上の回答が8割以上を占めている。

なお、平均は、6.7となっている。

(3) 最近1か月間の気分の状態

問32 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つ)

【n=871】

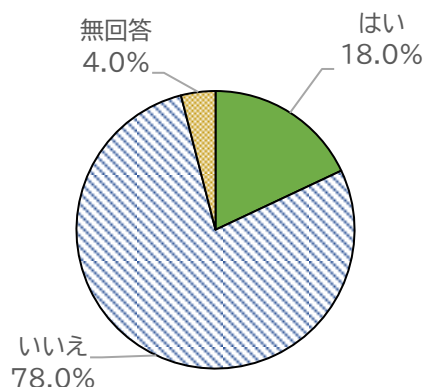


気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかは、うつ傾向を問う設問。該当設問2問のうちいずれかに該当するとうつ傾向と判定される。

うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は26.2%となっている。

問33 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（1つ）

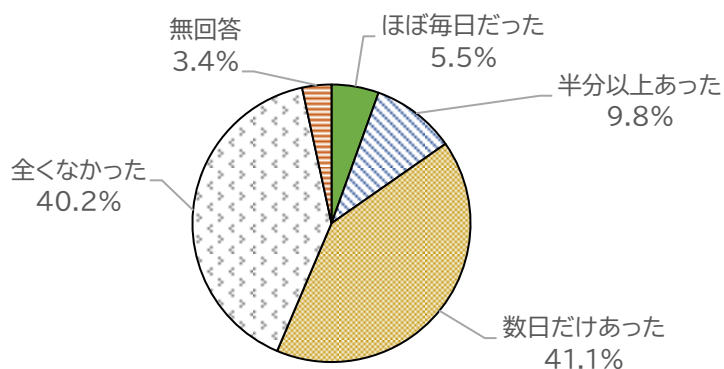
【n=871】



物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがあったかは、うつ傾向を問う設問。うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は18.0%となっている。

問34 この1か月間、普段より2時間以上早く目が覚めて、その後眠れないことがありましたか。（1つ）

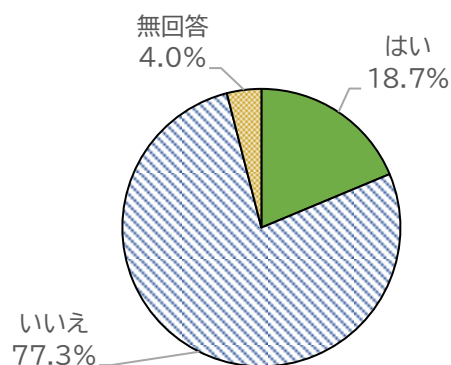
【n=871】



普段より2時間以上早く目が覚めて、その後眠れないことがあるかは、「数日だけあった」が41.1%で最も多く、次いで「全くなかった」（40.2%）、「半分以上あった」（9.8%）、「ほぼ毎日だった」（5.5%）となっている。

問35 この1か月間、毎日の生活に充実感がないと感じますか。（1つ）

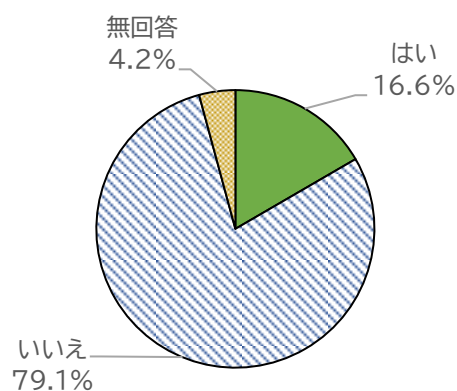
【n=871】



この1か月間、毎日の生活に充実感がないと感じるかは、「はい」が18.7%、「いいえ」が77.3%となっている。

問36 この1か月間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったと感じますか。（1つ）

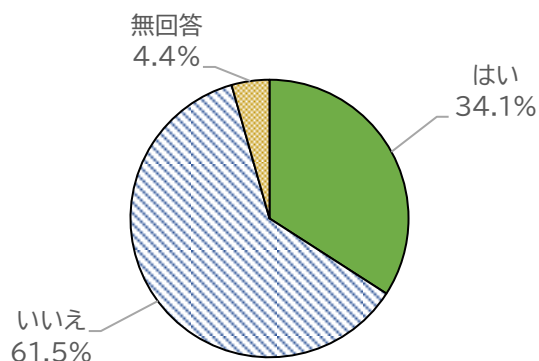
【n=871】



この1か月間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったと感じるかは、「はい」が16.6%、「いいえ」が79.1%となっている。

問37 この1か月間、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じるようになりましたか。（1つ）

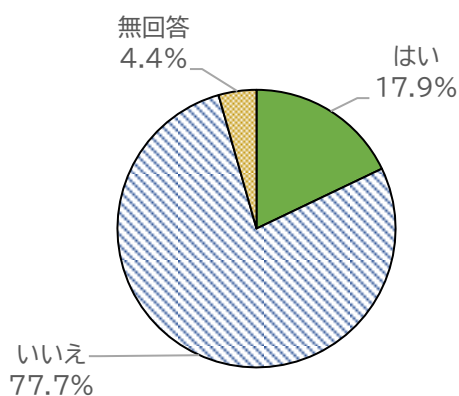
【n=871】



この1か月間、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じるかは、「はい」が34.1%、「いいえ」が61.5%となっている。

問38 この1か月間、自分が役に立つ人間だと思えないと感じますか。（1つ）

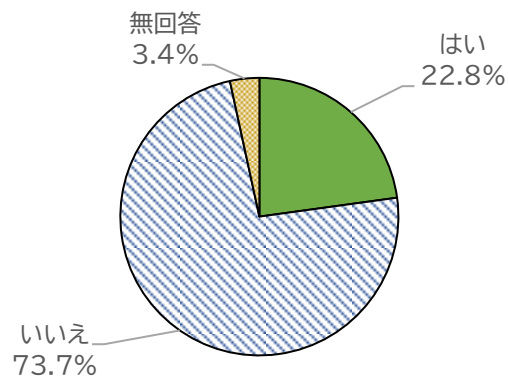
【n=871】



この1か月間、自分が役に立つ人間だと思えないと感じるかは、「はい」が17.9%、「いいえ」が77.7%となっている。

問39 この1か月間、わけもなく疲れを感じることがありますか。（1つ）

【n=871】

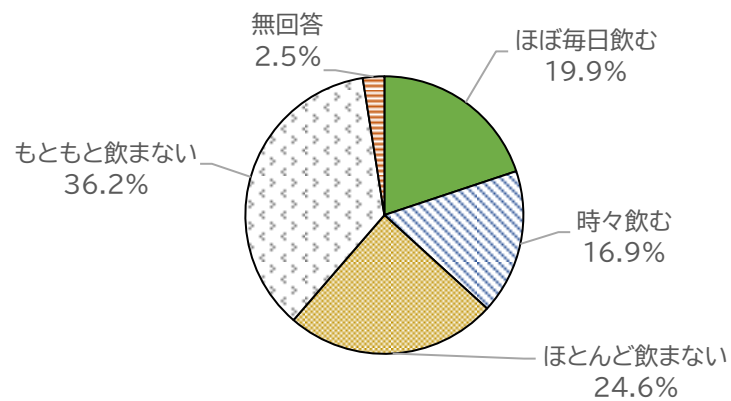


この1か月間、わけもなく疲れを感じるかは、「はい」が22.8%、「いいえ」が73.7%となっている。

（４）飲酒の状況

問40 お酒は飲みますか。（1つ）

【n=871】

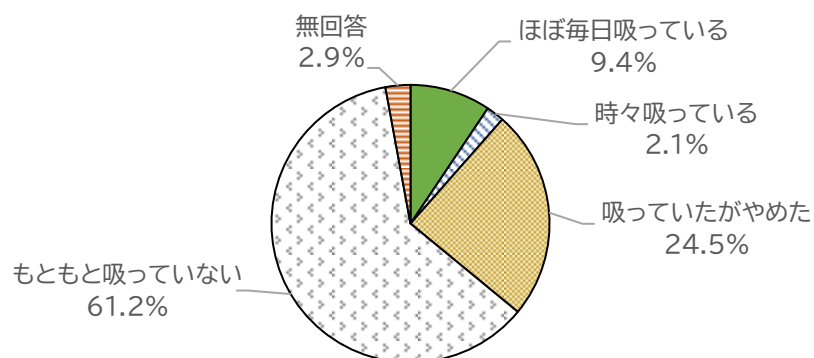


飲酒については、「もともと飲まない」が36.2%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」（24.6%）、「ほぼ毎日飲む」（19.9%）、「時々飲む」（16.9%）となっている。

(5) 喫煙の状況

問41 タバコは吸っていますか。(1つ)

【n=871】

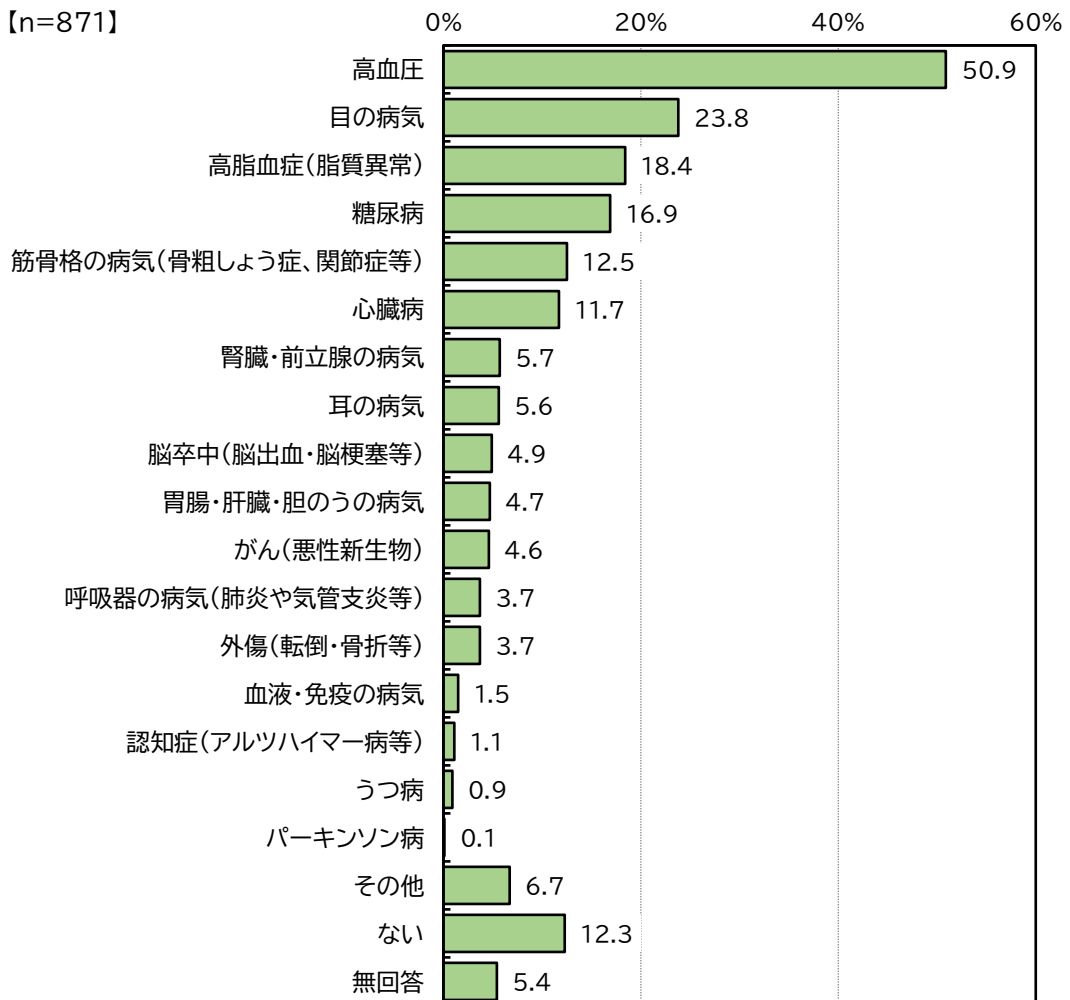


喫煙については、「もともと吸っていない」が61.2%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(24.5%)、「ほぼ毎日吸っている」(9.4%)、「時々吸っている」(2.1%)となっている。

(6) 治療中の病気

問42 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

【n=871】



現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が50.9%で最も多く、次いで「目の病気」(23.8%)、「高脂血症(脂質異常)」(18.4%)、「糖尿病」(16.9%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(12.5%)となっている。

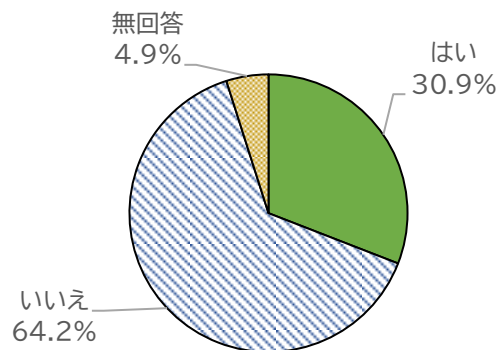
また、12.3%が「ない」と回答している。

8 終活について

(1) 終活について考えていること

問43 終活について何か考えていること、準備していることはありますか。(1つ)

【n=871】

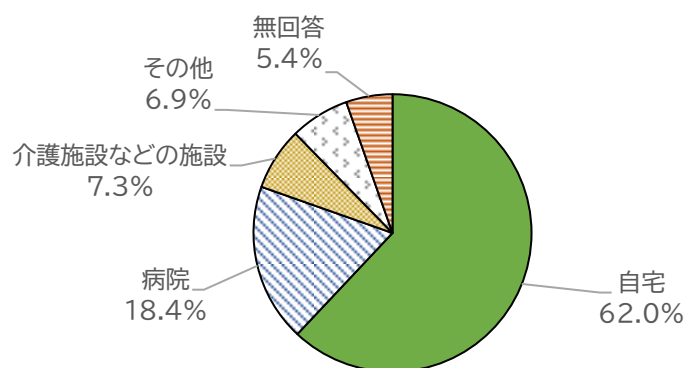


終活について、考えていること、準備していることはあるかは、「はい」が30.9%、「いいえ」が64.2%となっている。

(2) 人生の最期について

問44 人生の最期の時をどこで迎えたいですか。(1つ)

【n=871】

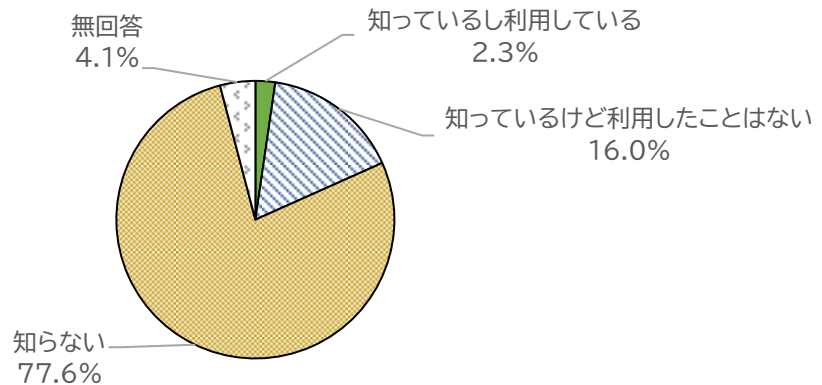


人生の最期をどこで迎えたいかは、「自宅」が62.0%で最も多く、次いで、「病院」(18.4%)、「介護施設などの施設」(7.3%)となっている。

(3) エンディングノートについて

問45 おいらせ町で作成した「エンディングノート」を知っていますか。(1つ)

【n=871】



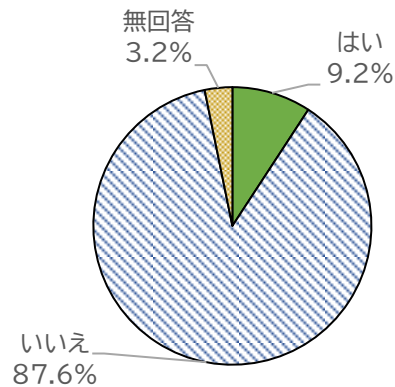
おいらせ町で作成した「エンディングノート」を知っているかは、「知らない」が77.6%で最も多く、次いで「知っているけど利用したことはない」(16.0%)、「知っているし利用している」(2.3%)となっている。

9 認知症に係る相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

問46 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある方がいますか。(1つ)

【n=871】

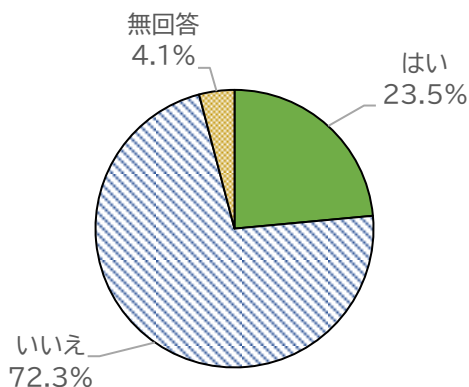


認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかは、「はい」が9.2%、「いいえ」が87.6%となっている。

(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

問47 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つ)

【n=871】



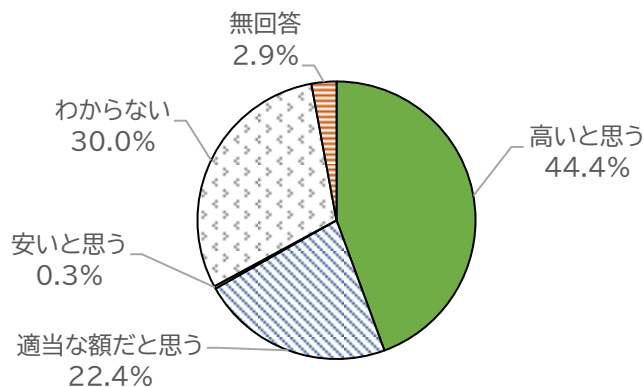
認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が23.5%、「いいえ」が72.3%となっている。

10 おいらせ町の介護保険料について

(1) 介護保険料について

問48 現在の介護保険料(基準額 月額6,600円)についてどのように思いますか。
(1つ) (参考) 全国平均6,014円、青森県平均6,672円

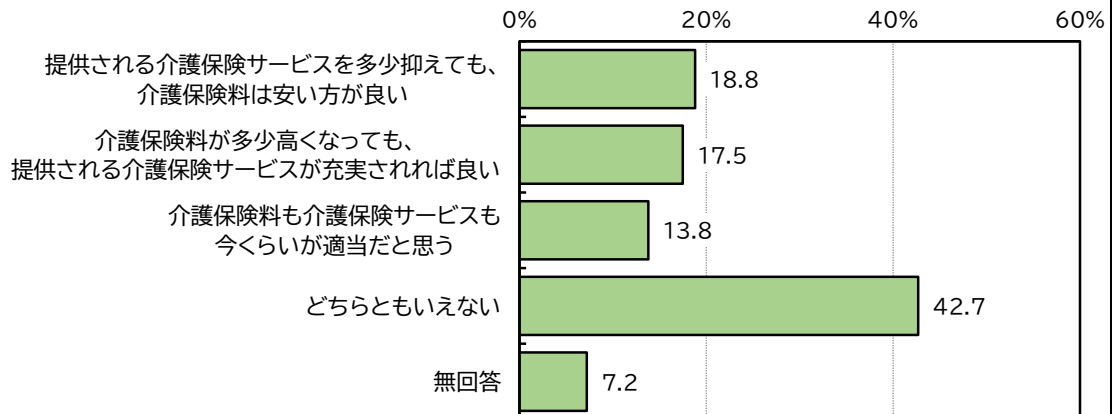
【n=871】



現在の介護保険料についてどう思うかは、「高いと思う」が44.4%で最も多く、次いで「適当な額だと思う」(22.4%)、「安いと思う」(0.3%)となっている。

問49 介護保険料は、要介護認定者数の増加や利用回数の増加、介護保険サービスの充実に伴って高くなっていきます。介護保険料と介護保険サービスのあり方について、あなたはどのように思いますか。（1つ）

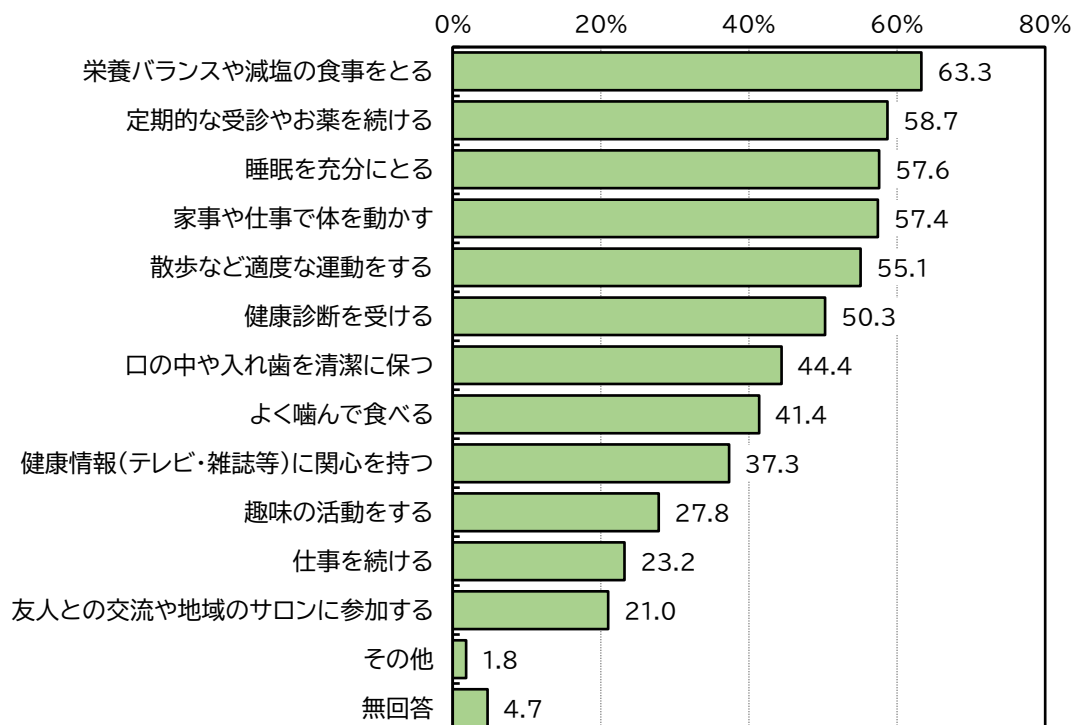
【n=871】



介護保険料と介護保険サービスのあり方については、「提供される介護保険サービスを多少抑えても、介護保険料は安い方がよい」が18.8%で最も多く、次いで「介護保険料が多少高くなっても、提供される介護保険サービスが充実すればよい」（17.5%）、「介護保険料も介護保険サービスも今くらいが適当だと思う」（13.8%）となっている。

問50 介護保険料を高くしないようにしていくためには、要介護状態にならないようにすることが大切です。健康づくりのために気を付けていることはありますか。（いくつでも）

【n=871】



要介護状態にならないために、気を付けていることは、「栄養バランスや減塩の食事をする」が63.3%で最も多く、次いで「定期的な受診やお薬を続ける」（58.7%）、「睡眠を充分にとる」（57.6%）、「家事や仕事で体を動かす」（57.4%）、「散歩など適度な運動をする」（55.1%）と続いている。

1 1 リスク分析

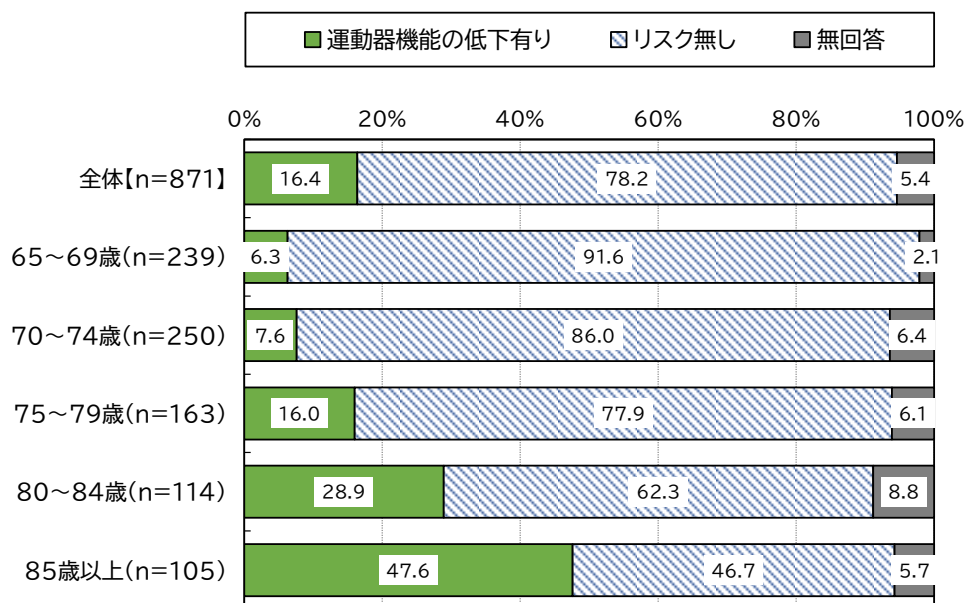
(1) 運動器機能の低下

【リスク判定方法】

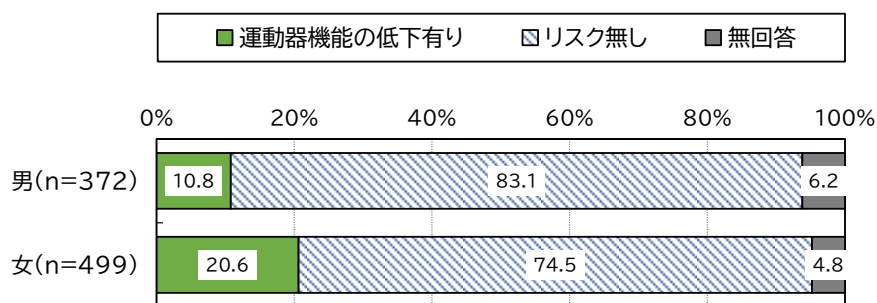
下記の設問で3問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	14 頁
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	14 頁
15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	15 頁
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	15 頁
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	15 頁

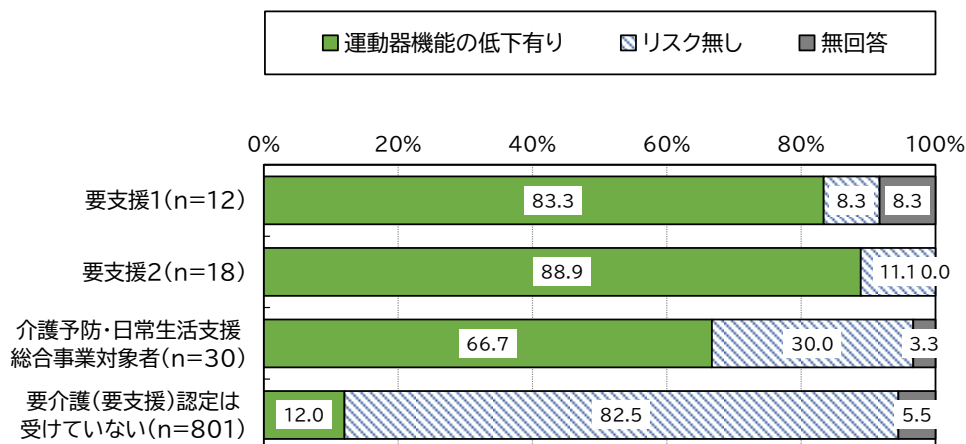
■年齢別運動器機能の低下状況



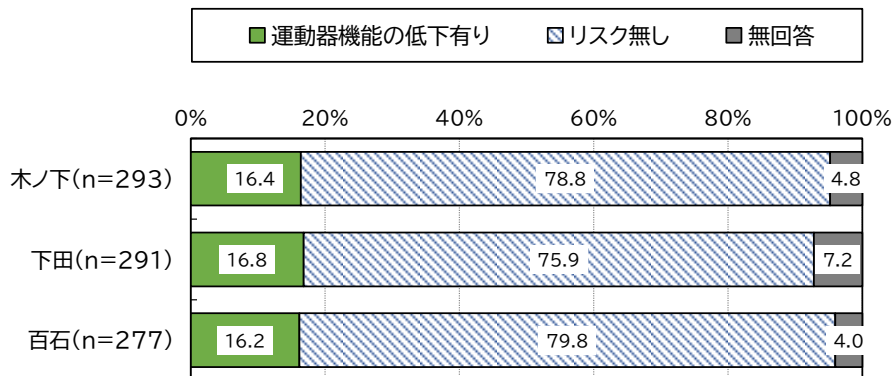
■男女別運動器機能の低下状況



■認定状況別運動器機能の低下状況



■居住地区別運動器機能の低下状況



運動器の機能低下状況は、全体の16.4%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれて該当者が多くなる傾向となっており、85歳以上の47.6%が該当者となっている。

男女別では、「男」の10.8%、「女」の20.6%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「要支援2」の88.9%、「要支援1」の83.3%が該当者となっている。

居住地区別では、「下田」の16.8%が最も多く、「木ノ下」が16.4%、「百石」が16.2%となっている。

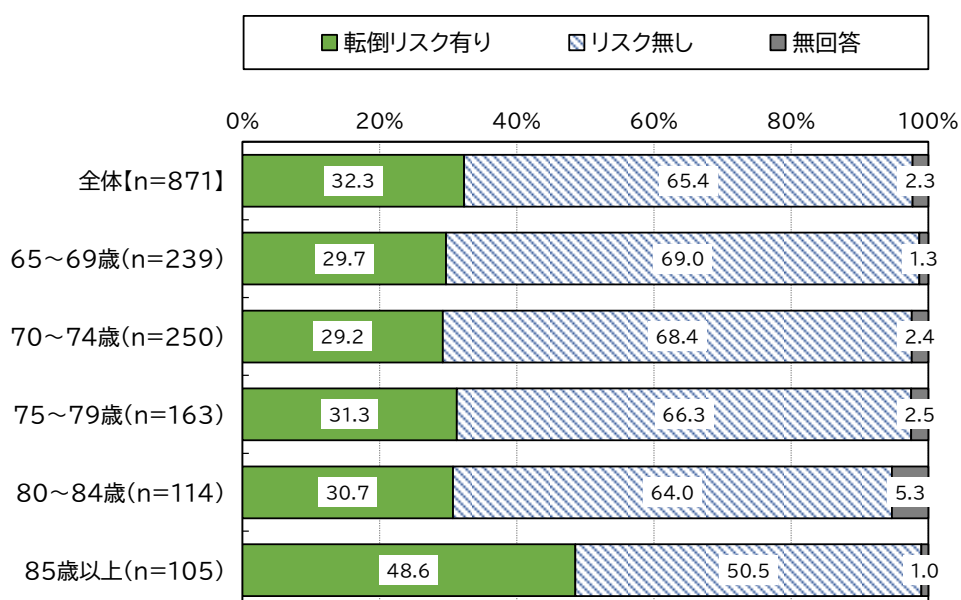
(2) 転倒リスク

【リスク判定方法】

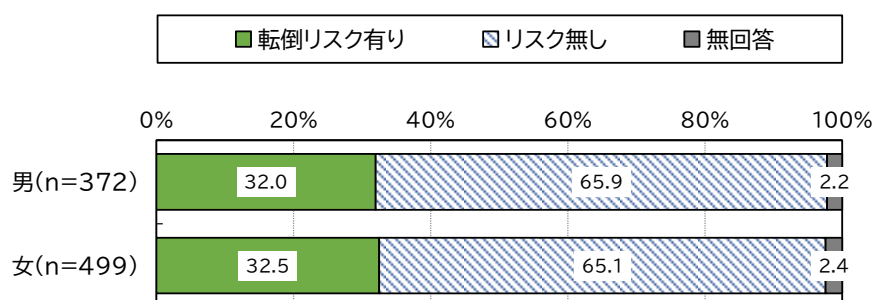
下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	16 頁

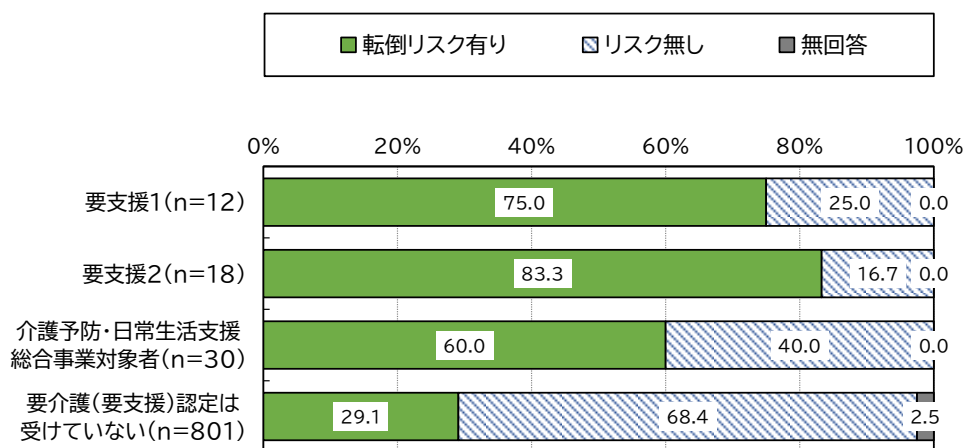
■年齢別転倒リスク状況



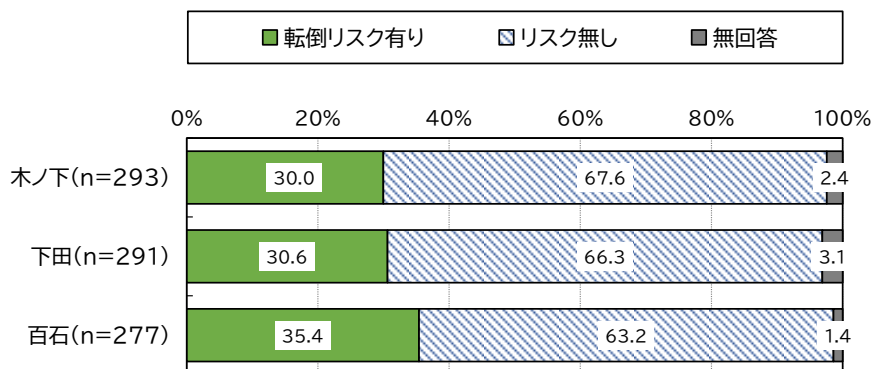
■男女別転倒リスク状況



■認定状況別転倒リスク状況



■居住地区別転倒リスク状況



転倒リスク状況は、全体の32.3%が該当者となっている。

年齢別では、85歳以上に該当者が多く、4割以上が該当者となっている。

男女別では、「男」の32.0%、「女」の32.5%が該当者となっている。

認定状況別では、「要支援2」の83.3%、「要支援1」の75.0%が該当者となっている。

居住地区別では、「百石」の35.4%が最も多く、「下田」が30.6%、「木ノ下」が30.0%となっている。

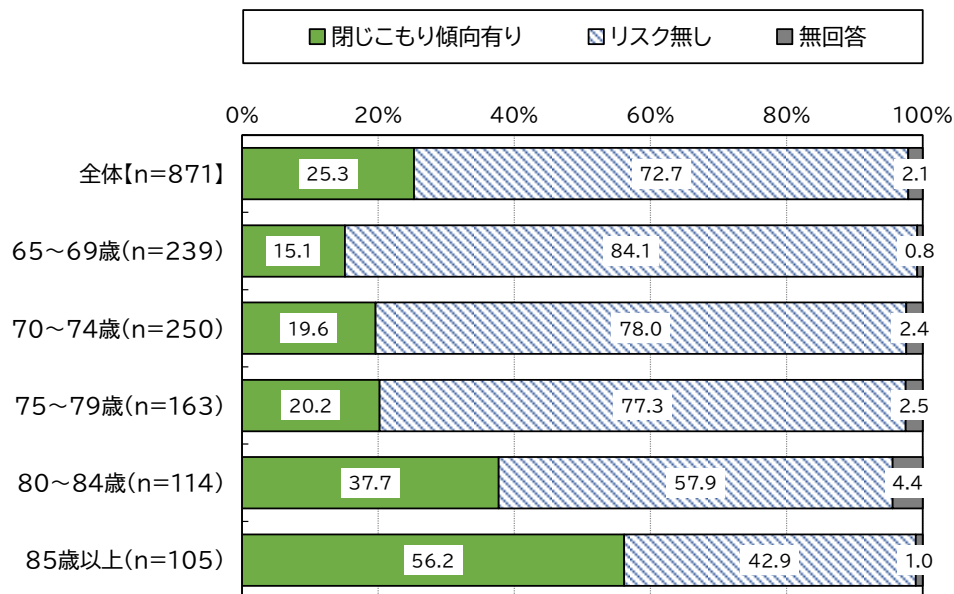
(3) 閉じこもり傾向

【リスク判定方法】

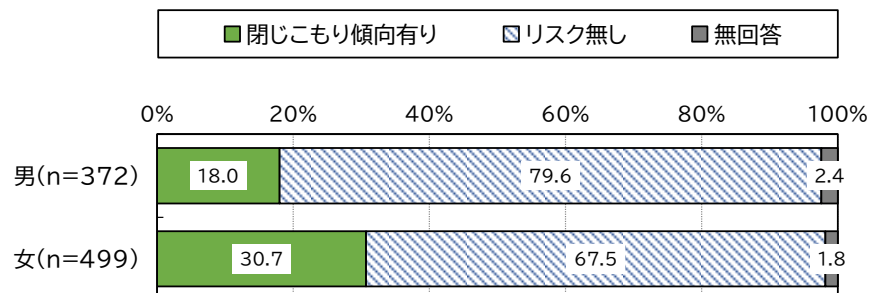
下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	16 頁

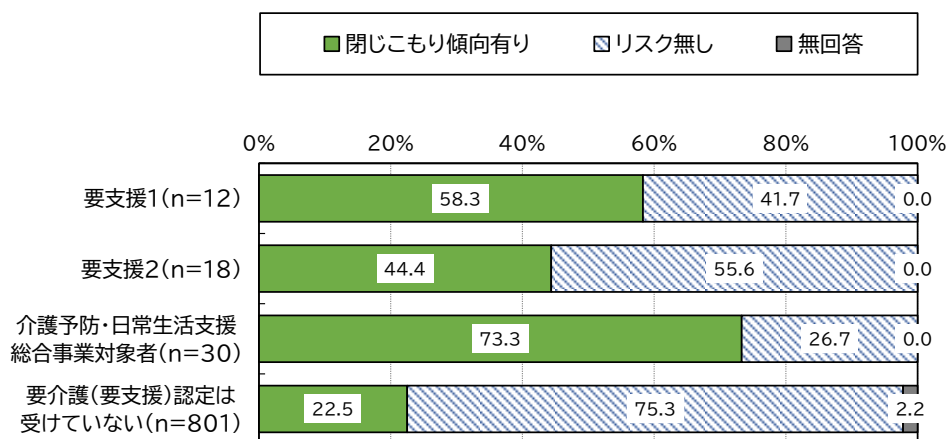
■年齢別閉じこもり傾向の状況



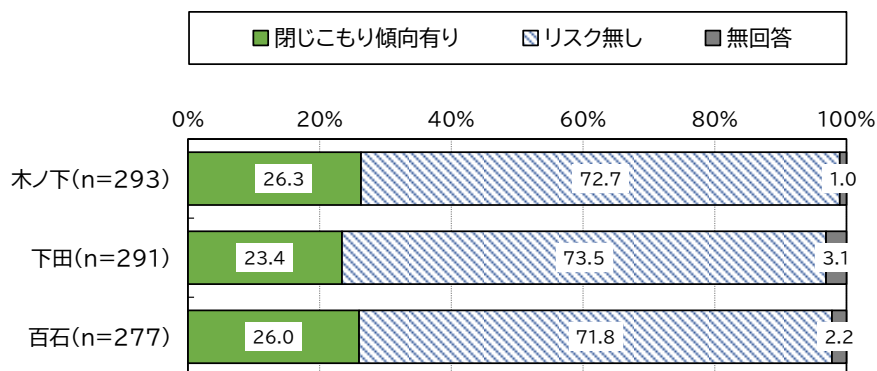
■男女別閉じこもり傾向の状況



■認定状況別閉じこもり傾向の状況



■居住地区別閉じこもり傾向の状況



閉じこもり傾向は、全体の25.3%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれて該当者が多くなる傾向となっており、85歳以上の56.2%が該当者となっている。

男女別では、「男」の18.0%、「女」の30.7%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」の73.3%、「要支援1」の58.3%が該当者となっている。

居住地区別では、「木ノ下」の26.3%が最も多く、「百石」が26.0%、「下田」が23.4%となっている。

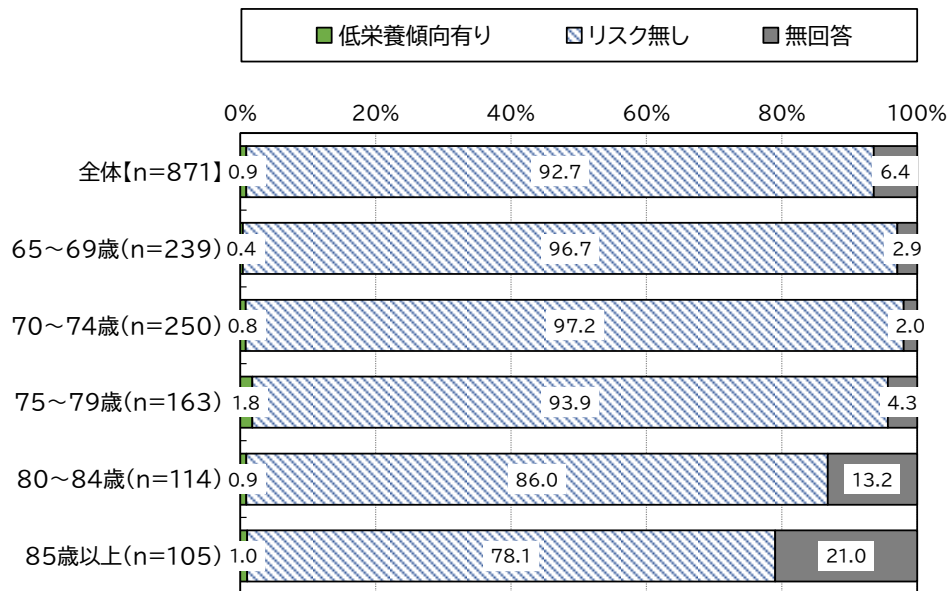
(4) 低栄養傾向

【リスク判定方法】

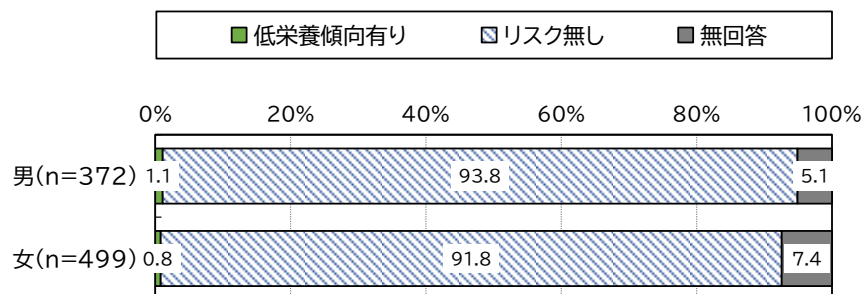
下記の設問で、BMIが18.5以下となり、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
身長・体重	身長・体重から算出される BMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5 以下の場合、低栄養が疑われる	19 頁
6ヶ月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ	23 頁

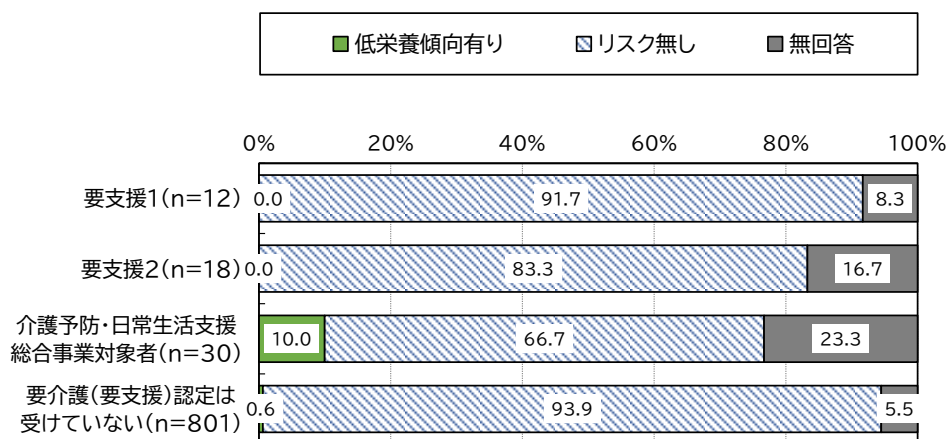
■年齢別低栄養傾向の状況



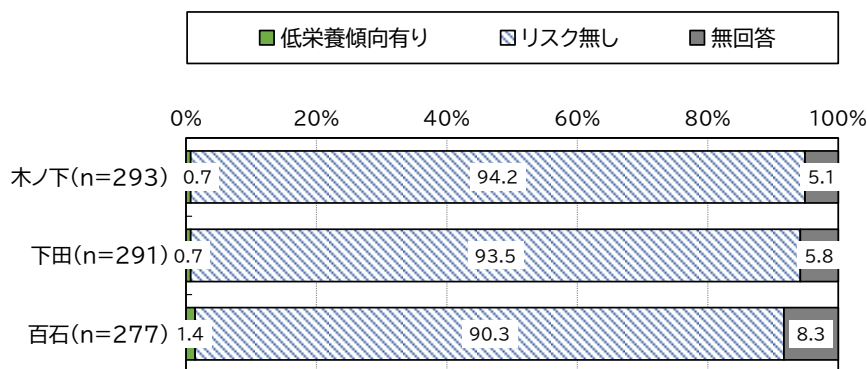
■男女別低栄養傾向の状況



■認定状況別低栄養傾向の状況



■居住地区別低栄養傾向の状況



低栄養傾向の状況は、全体の0.9%が該当者となっている。

年齢別では、75歳～79歳の1.8%が最も多くなっている。

男女別では、「男」の1.1%、「女」の0.8%が該当者となっており、男性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」の10.0%が該当者となっている。

居住地区別では、「百石」の1.4%が最も多く、次いで「木ノ下」「下田」はともに0.7%となっている。

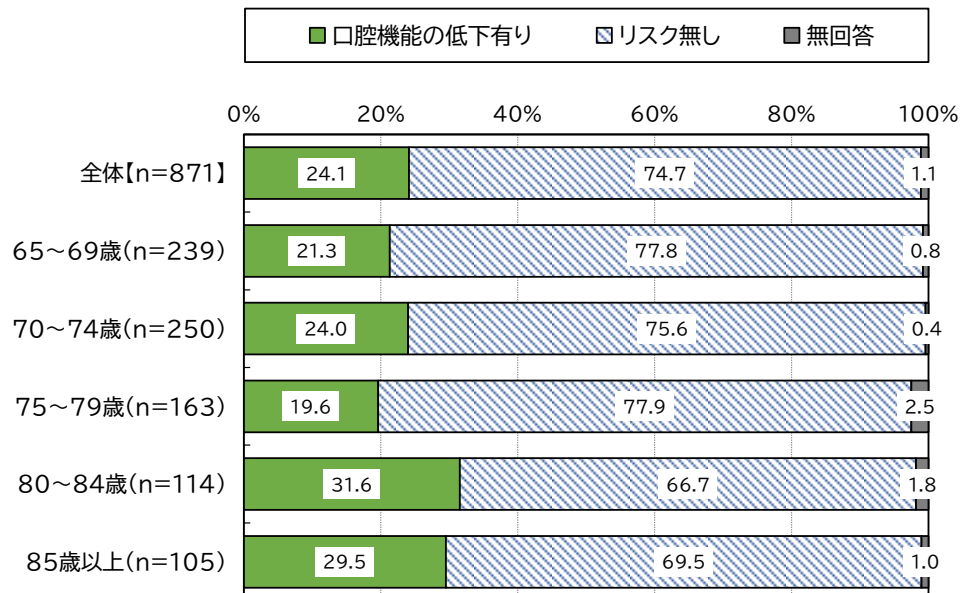
(5) 口腔機能の低下

【リスク判定方法】

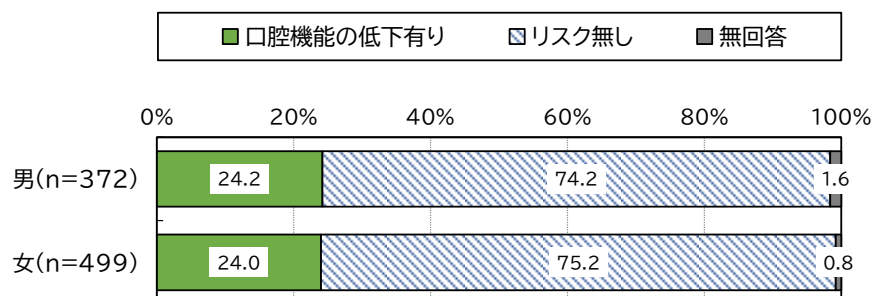
下記の設問で2問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ	20 頁
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	20 頁
口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	21 頁

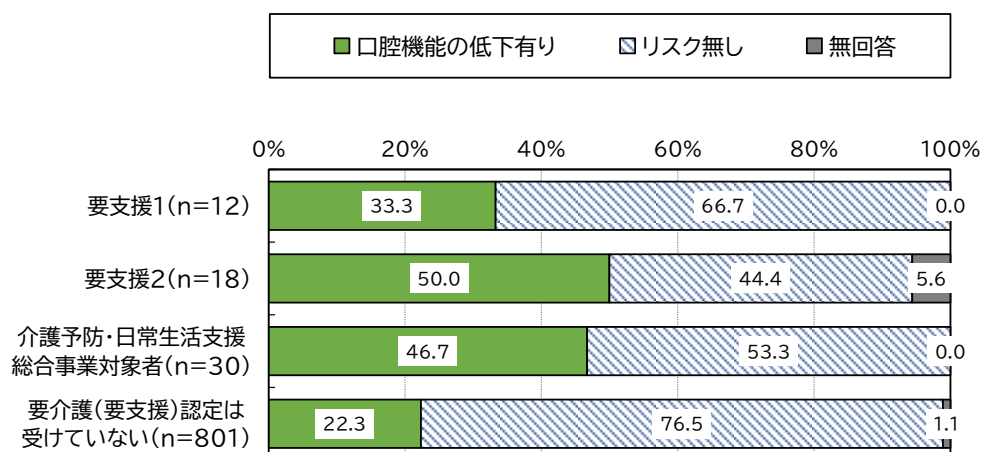
■年齢別口腔機能の低下状況



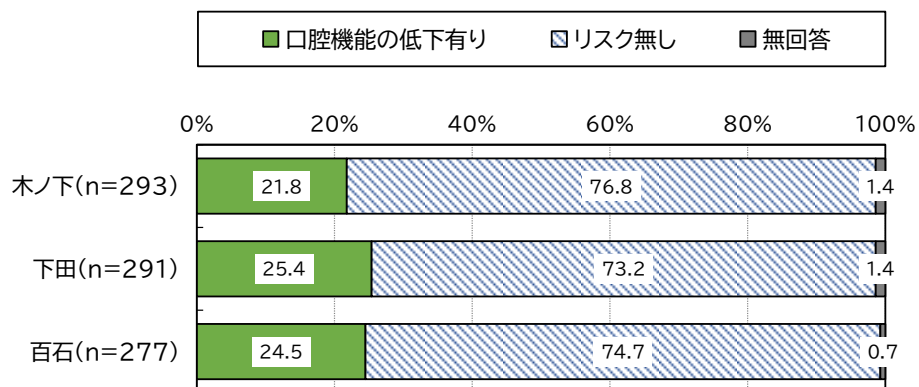
■男女別口腔機能の低下状況



■認定状況別口腔機能の低下状況



■居住地区別口腔機能の低下状況



口腔機能の低下状況は、全体の24.1%が該当者となっている。

年齢別では、80歳以上に該当者が多く、約3割が該当者となっている。

男女別では、「男」の24.2%、「女」の24.0%が該当者となっており、男性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「要支援2」の50.0%、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」の46.7%が該当者となっている。

居住地区別では、「下田」の25.4%が最も多く、次いで「百石」が24.5%、「木ノ下」が21.8%となっている。

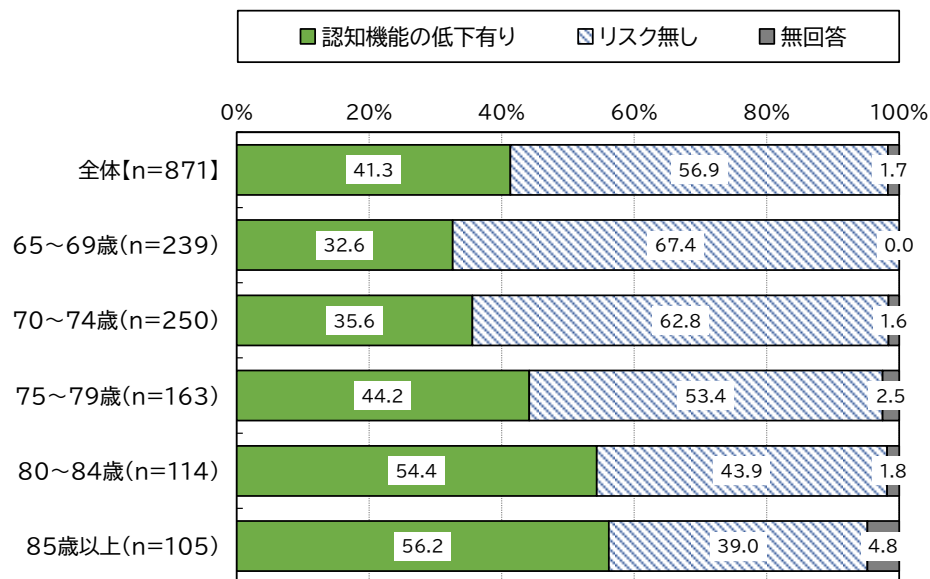
(6) 認知機能の低下

【リスク判定方法】

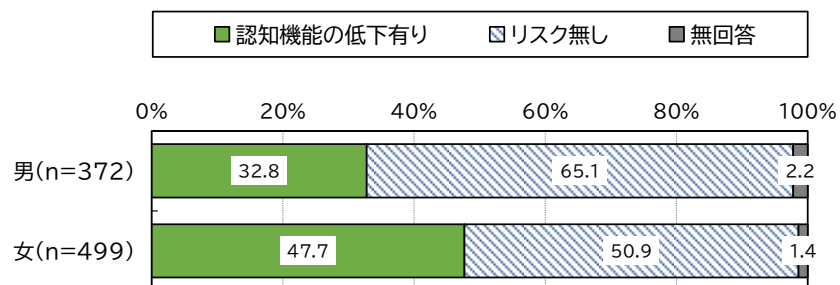
下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	25 頁

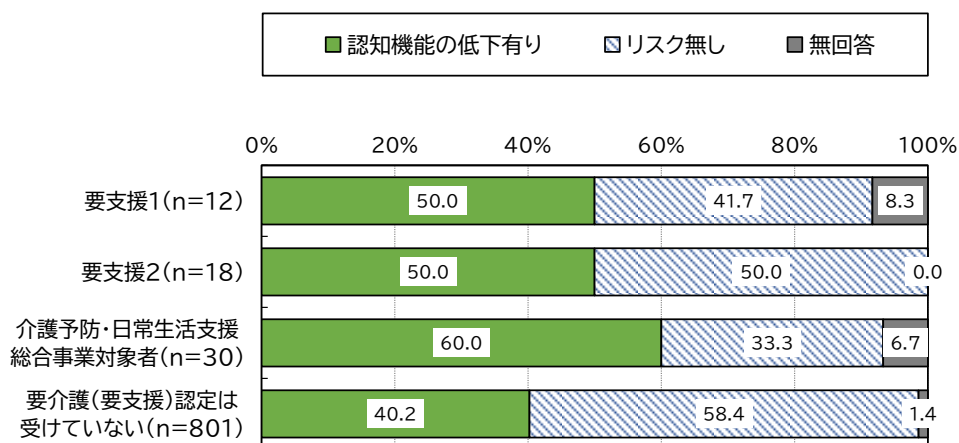
■年齢別認知機能の低下状況



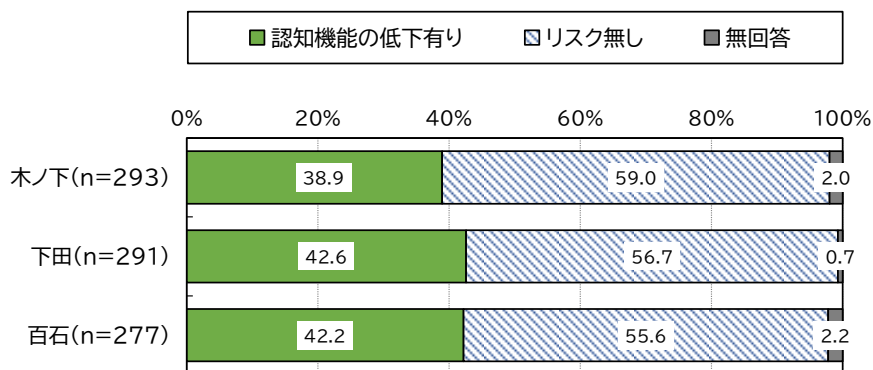
■男女別認知機能の低下状況



■認定状況別認知機能の低下状況



■居住地区別認知機能の低下状況



認知機能の低下状況は、全体の41.3%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれて該当者が多くなる傾向となっており、80歳以上の5割以上が該当者となっている。

男女別では、「男」の32.8%、「女」の47.7%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」の60.0%、「要支援1」「要支援2」がともに50.0%の該当者となっている。

居住地区別では、「下田」の42.6%が最も多く、次いで「百石」が42.2%、「木ノ下」が38.9%となっている。

(7) IADL（手段的自立度）の低下

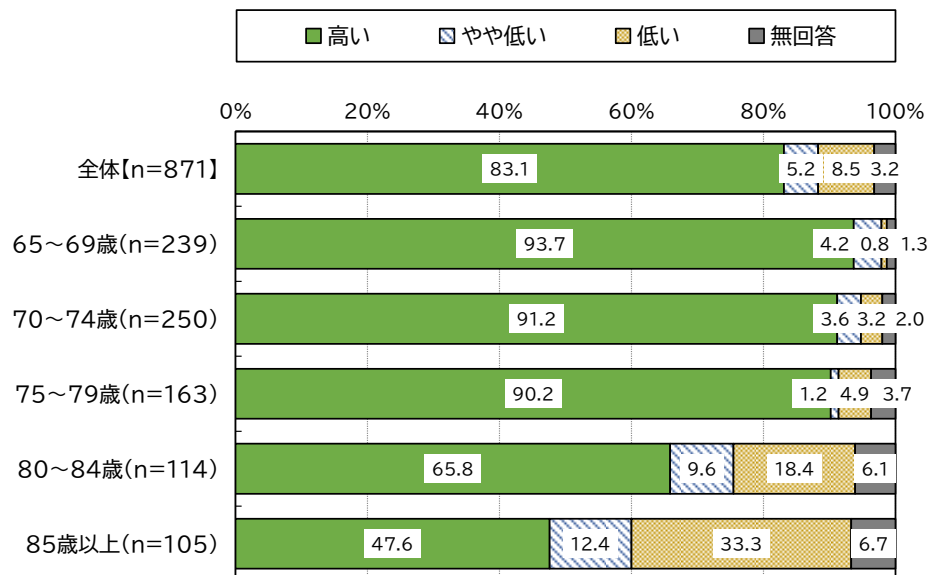
【リスク判定方法】

下記の設問で、5点満点中、4点以下を「低下」として評価します。（5点：高い、4点：やや低い、3点以下：低い）

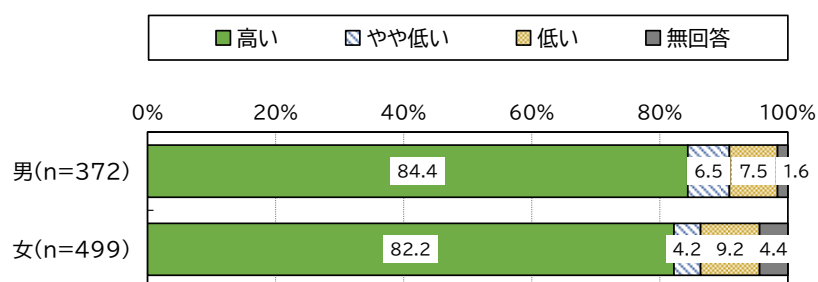
IADLは、外出や買物など、自立した日常生活を送るために必要な能力の判断基準となります。

設問内容	選択肢	参照
バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	27 頁
自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	27 頁
自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	28 頁
自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	28 頁
自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	29 頁

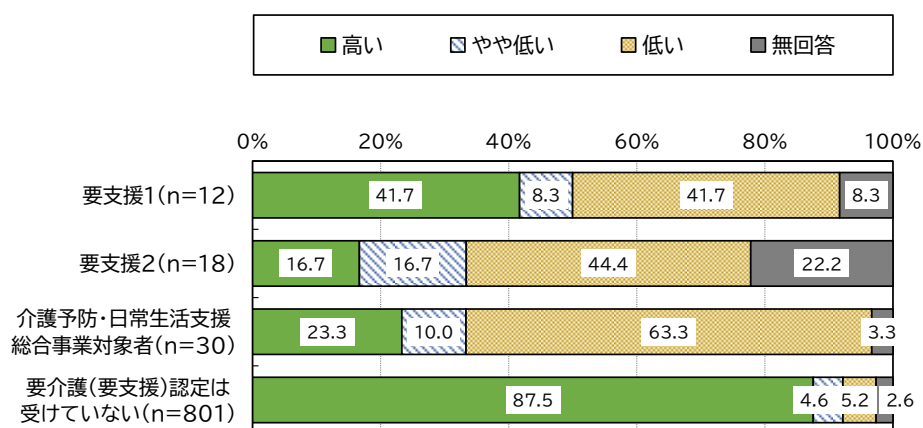
■年齢別 IADL の低下状況



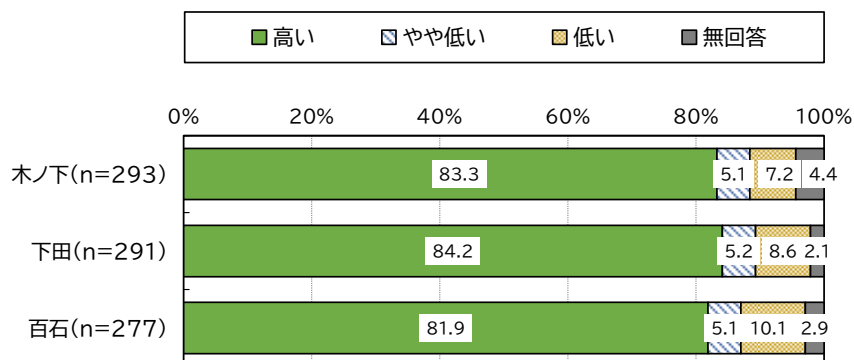
■男女別 I A D L の低下状況



■認定状況別 I A D L の低下状況



■居住地区別 I A D L の低下状況



I A D L の低下は、「やや低い」、「低い」を低下者とする、全体の13.7%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれて該当者が多くなる傾向にあり、85歳以上の45.7%が該当者となっている。

男女別では、「男」の14.0%、「女」の13.4%が該当者となっており、男性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」の73.3%、「要支援2」の61.1%が該当者となっている。

居住地区別では、「百石」の15.2%が最も多く、次いで「下田」が13.8%、「木ノ下」が12.3%となっている。

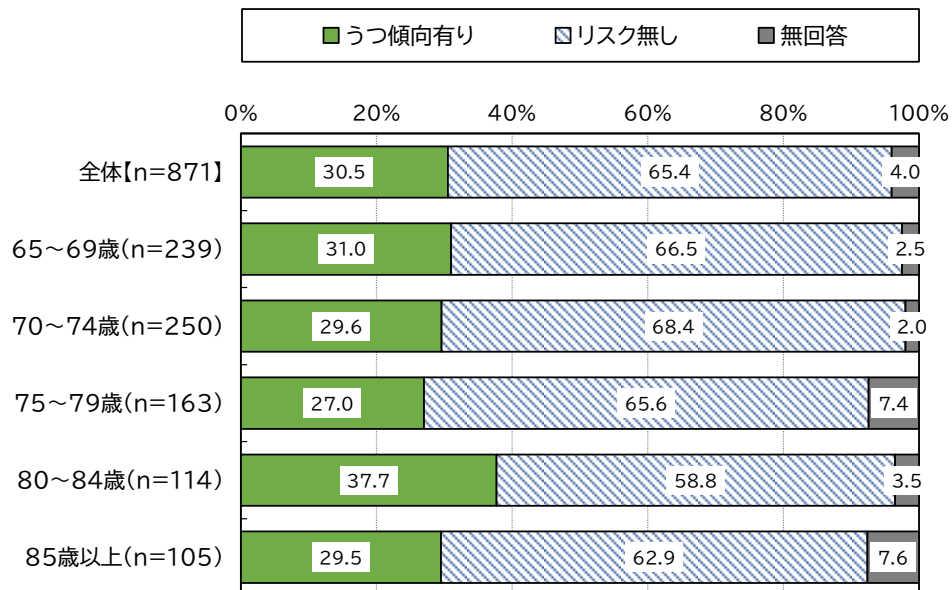
(8) うつ傾向

【リスク判定方法】

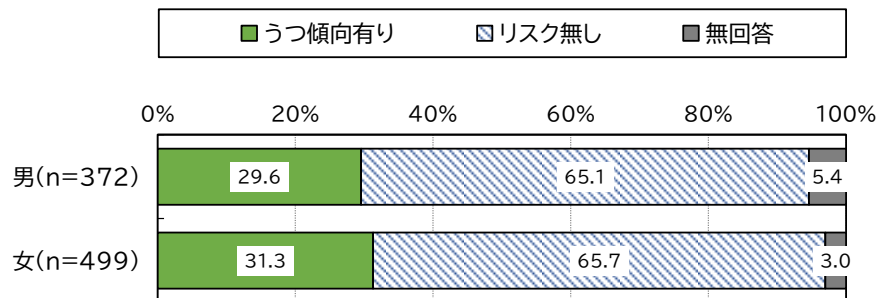
下記の設問で1問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ	47 頁
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ	エラー! ブック マーク が定義 されて いませ ん。頁

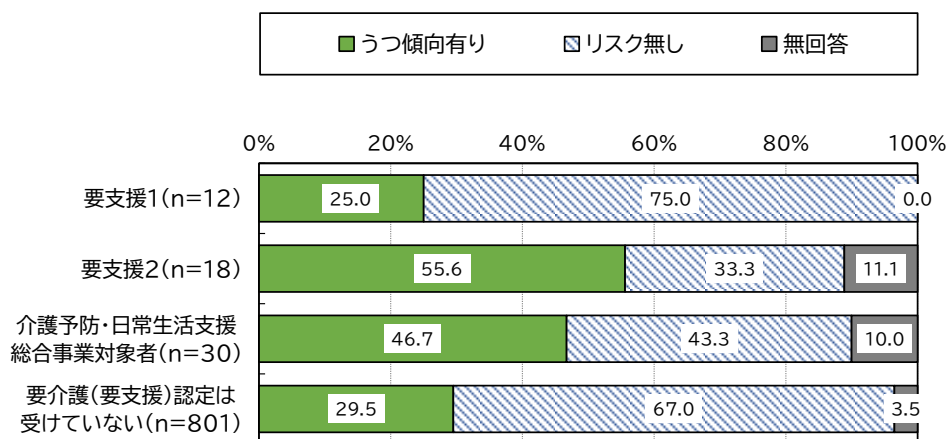
■年齢別うつ傾向の状況



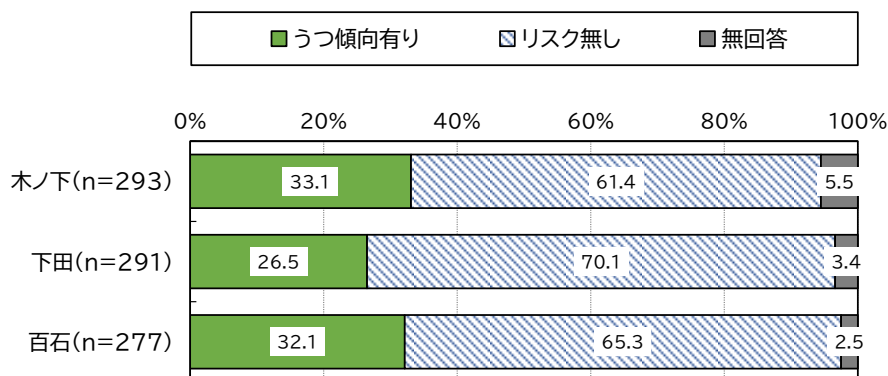
■男女別うつ傾向の状況



■認定状況別うつ傾向の状況



■居住地区別うつ傾向の状況



うつ傾向は、全体の30.5%が該当者となっている。

年齢別では、全体的にどの年代でも概ね3割が該当者となっている。

男女別では、「男」の29.6%、「女」の31.3%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「要支援2」の55.6%、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」の46.7%が該当者となっている。

居住地区別では、「木ノ下」の33.1%が最も多く、次いで「百石」が32.1%、「下田」が26.5%となっている。

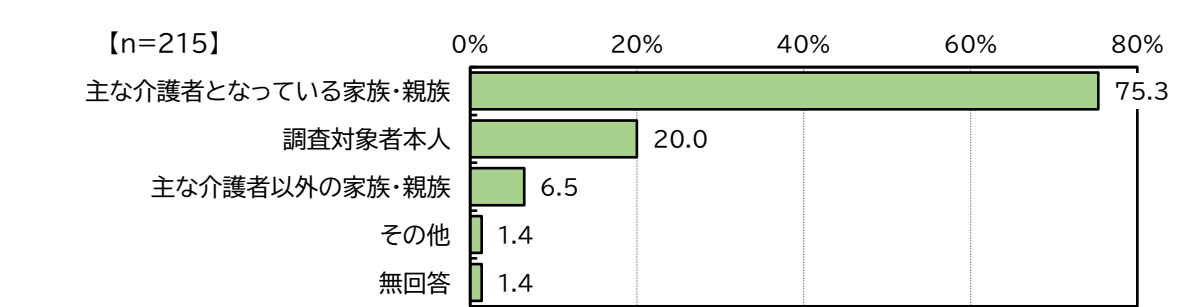
Ⅲ 調査結果②

【在宅介護実態調査】

A 票 調査対象者ご本人について

(1) 調査票の回答者

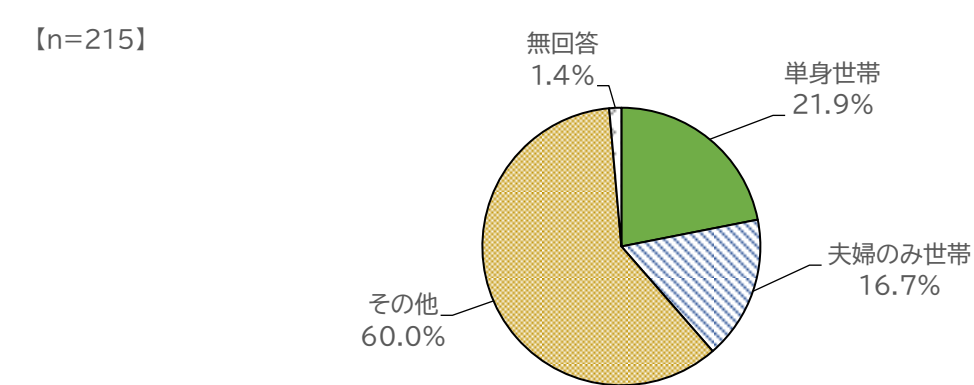
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数選択可）



調査票の回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が75.3%、「調査対象者本人」が20.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が6.5%となっている。

(2) 世帯類型

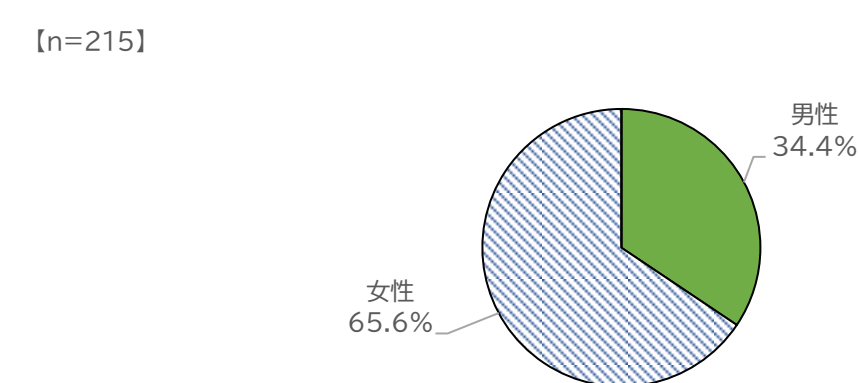
問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）



世帯類型は、「単身世帯」が21.9%、「夫婦のみ世帯」が16.7%となっている。

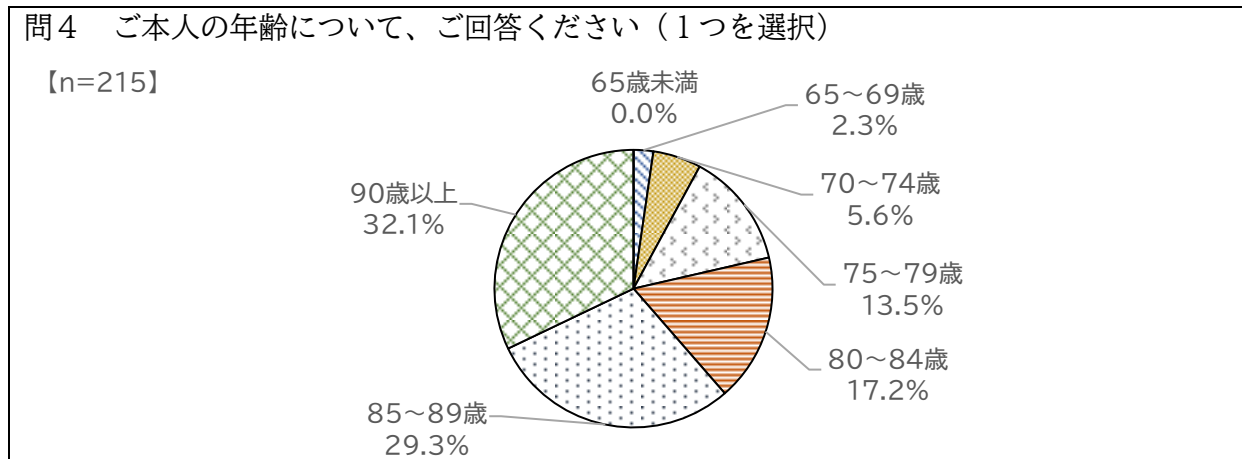
(3) 性別

問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つを選択）



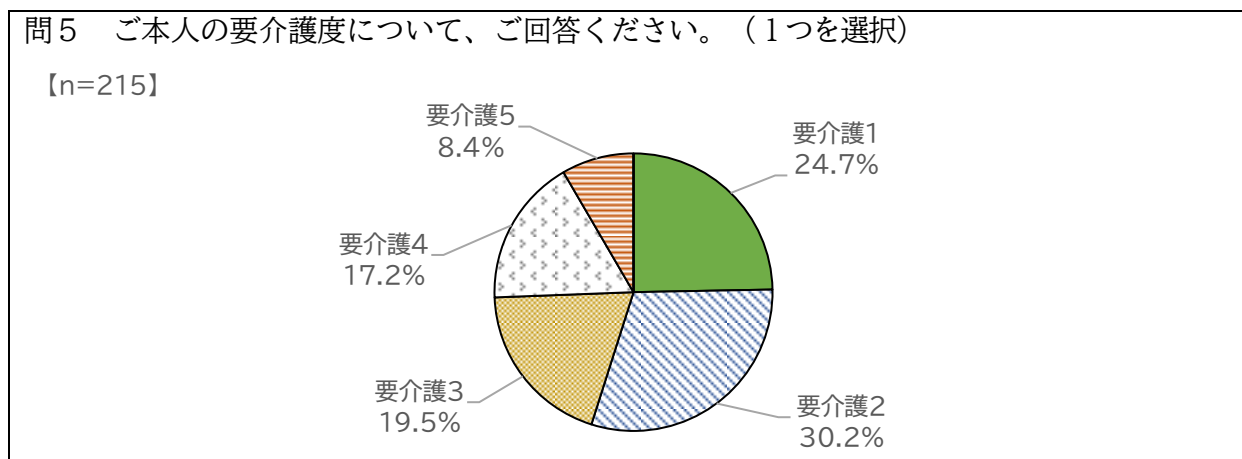
性別は、「男性」が34.4%、「女性」が65.6%となっている。

(4) 年齢



年齢は、「90歳以上」が32.1%で最も多く、次いで「85～89歳」（29.3%）、「80～84歳」（17.2%）、「75～79歳」（13.5%）、「70～74歳」（5.6%）、「65～69歳」（2.3%）となっている。

(5) 要介護認定状況

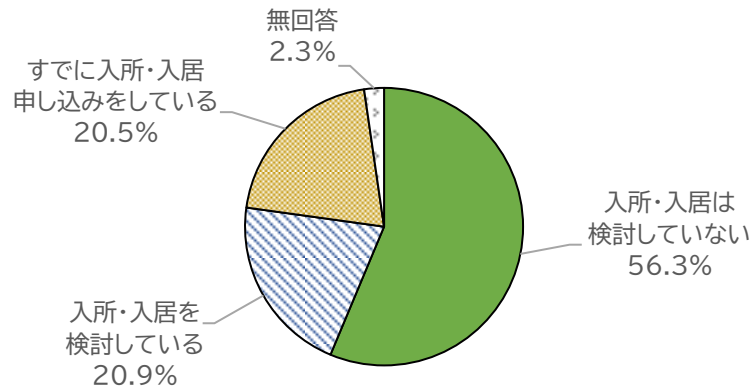


要介護度は、「要介護2」が30.2%で最も多く、次いで「要介護1」（24.7%）、「要介護3」（19.5%）、「要介護4」（17.2%）、「要介護5」（8.4%）となっている。

(6) 施設への入所・入居状況

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

【n=215】

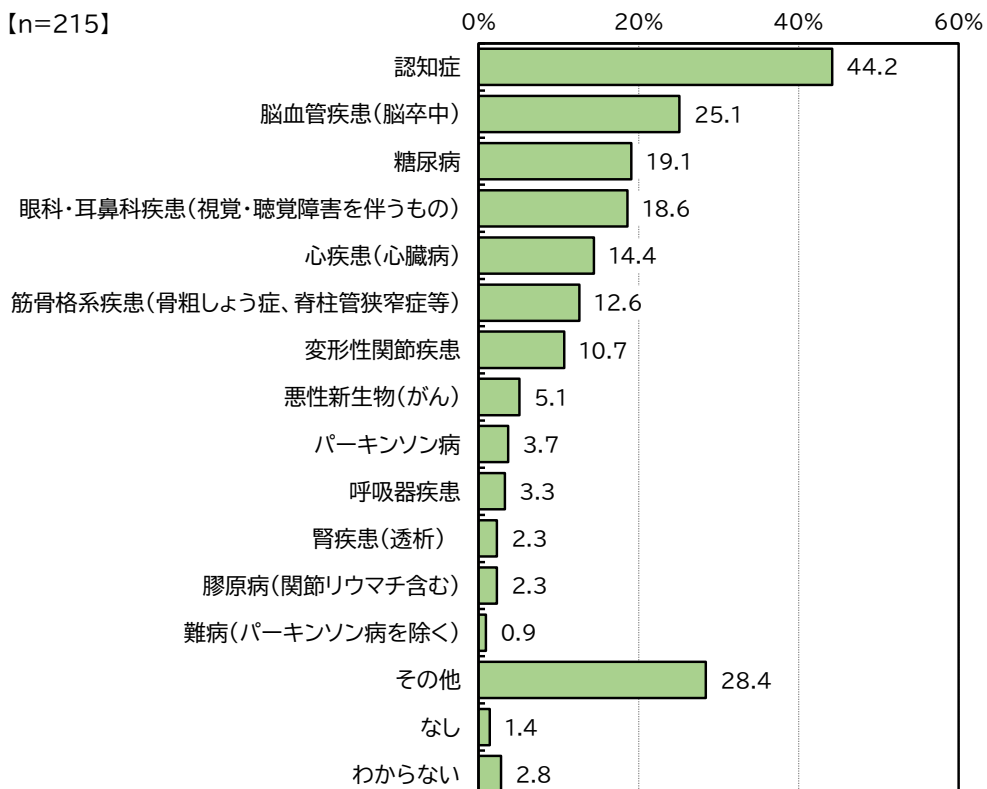


施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居を検討していない」が56.3%と最も多く、次いで「入所・入居を検討している」（20.9%）、「すでに入所・入居申し込みをしている」（20.5%）となっている。

(7) 現在抱えている傷病

問7 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

【n=215】



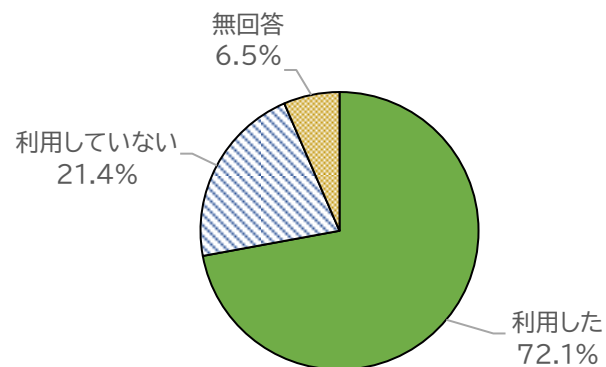
現在抱えている傷病は、「認知症」が44.2%で最も多く、次いで「脳血管疾患（脳卒中）」（25.1%）、「糖尿病」（19.1%）、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（18.6%）、「心疾患（心臓病）」（14.4%）と続いている。

また、1.4%が「なし」と回答している。

(8) 介護保険サービスの利用の有無

問8 令和4年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか（1つを選択）

【n=215】

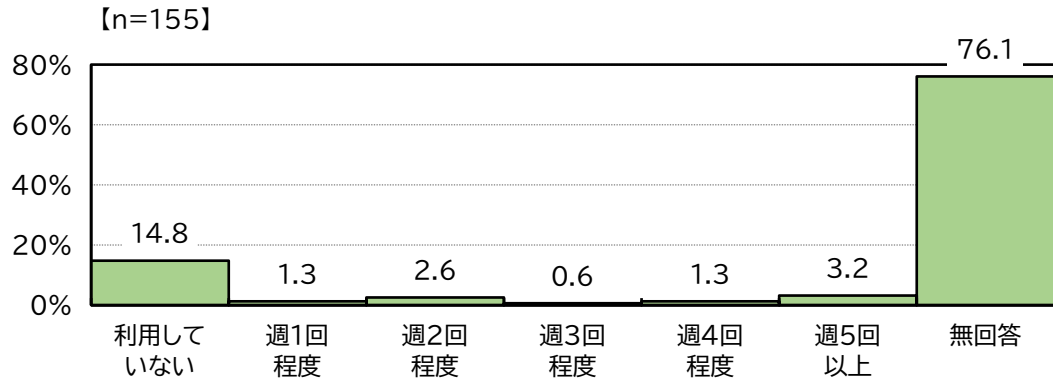


住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスについては、「利用した」が72.1%、「利用していない」が21.4%となっている。

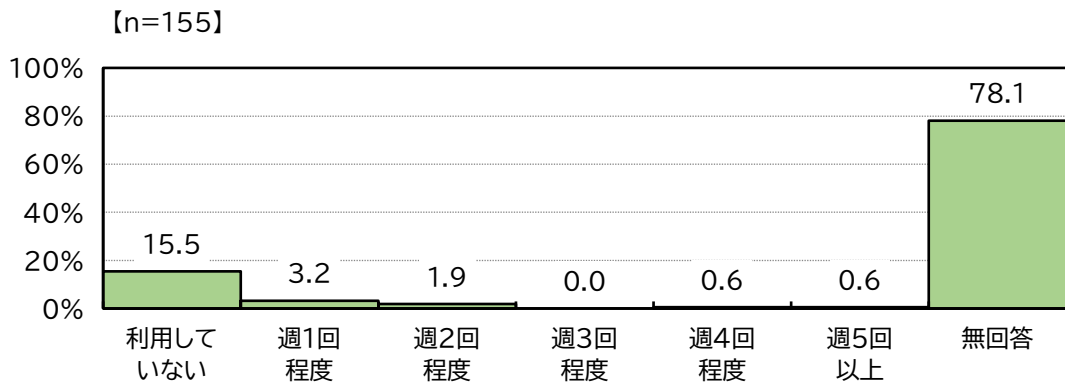
(9) 介護保険サービスの利用状況

問9 問8で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください（それぞれ1つに○）。

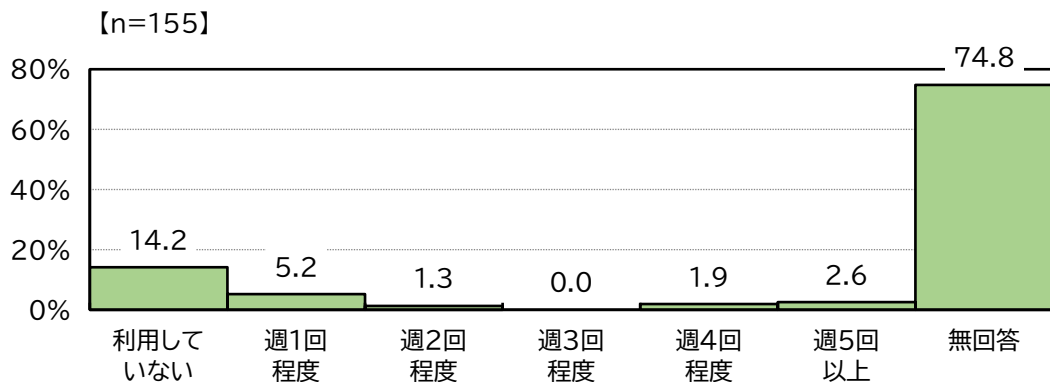
A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）



B. 訪問入浴介護



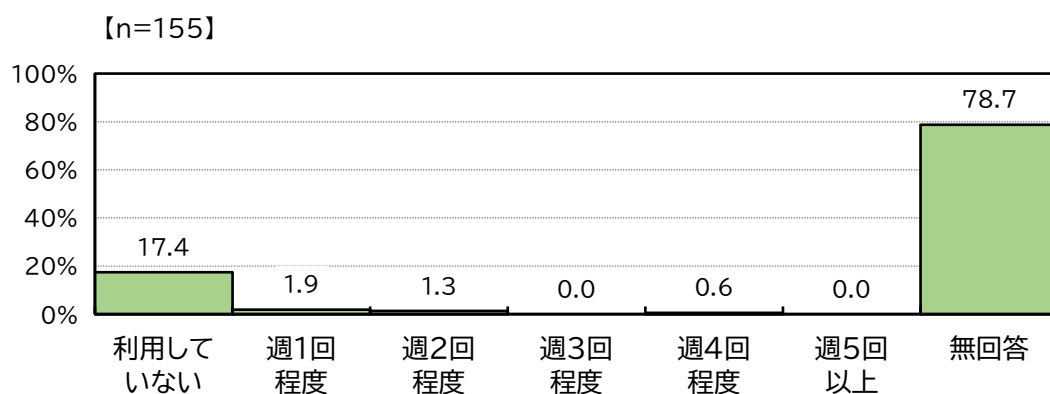
C. 訪問看護



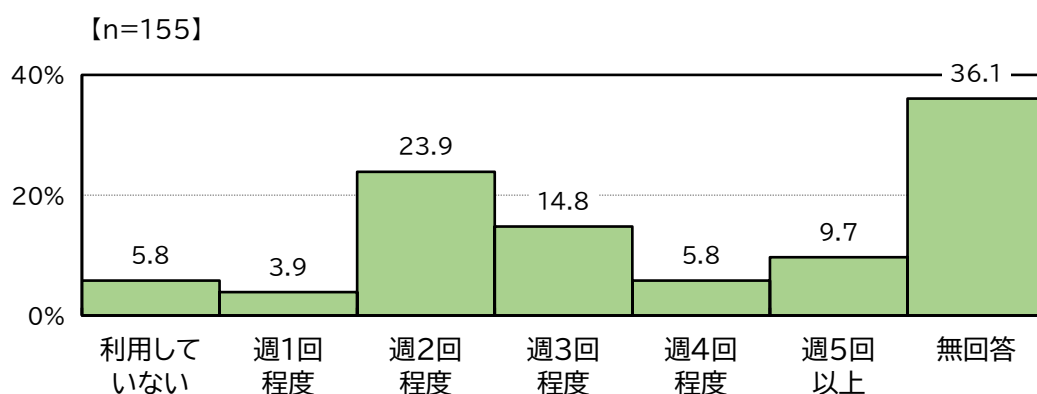
各サービスの利用状況は上記の通りとなっている。

問9 問8で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください（それぞれ1つに○）。

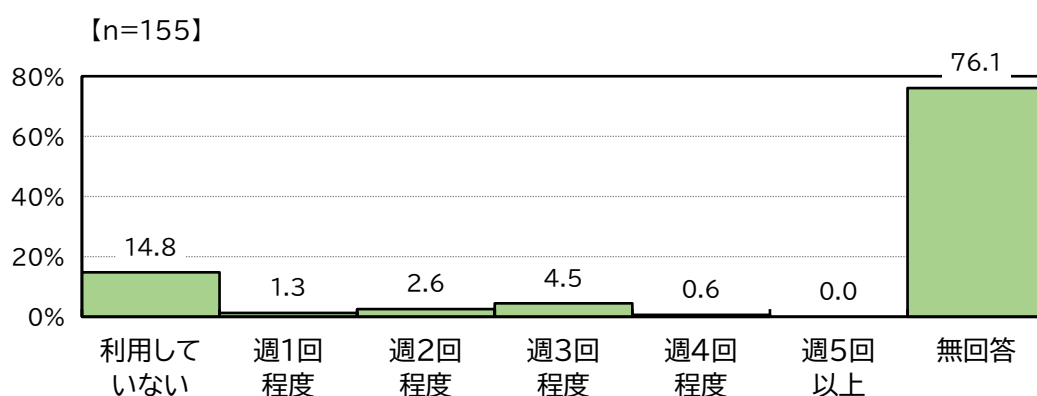
D. 訪問リハビリテーション



E. 通所介護（デイサービス）



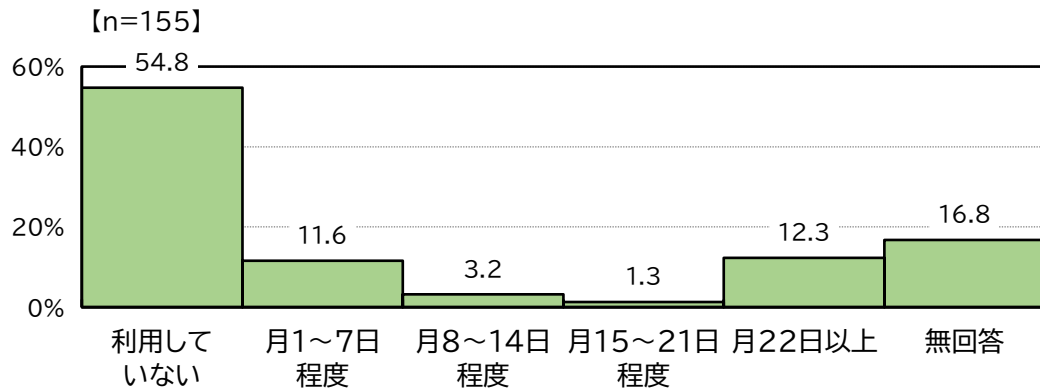
F. 通所リハビリテーション通所介護（デイケア）



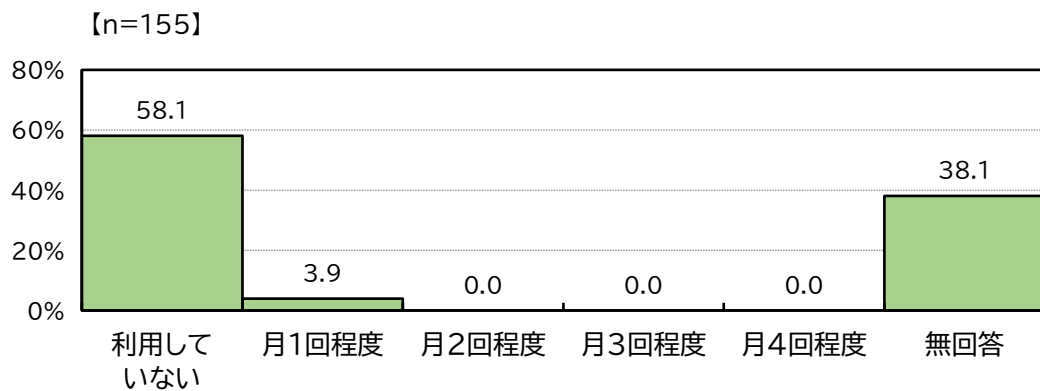
各サービスの利用状況は上記の通りとなっている。

問9 問8で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください（それぞれ1つに○）。

G. ショートステイ

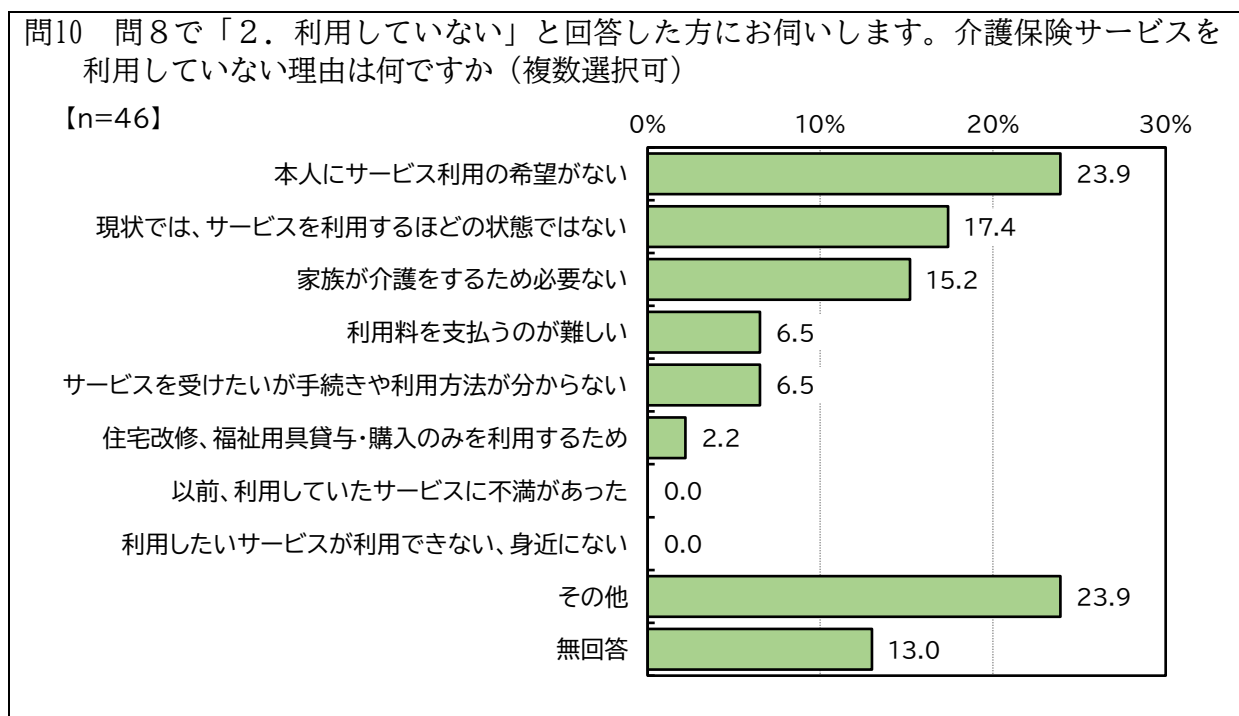


H. 居宅療養管理指導



各サービスの利用状況は上記の通りとなっている。

(10) 介護保険サービスを利用していない理由

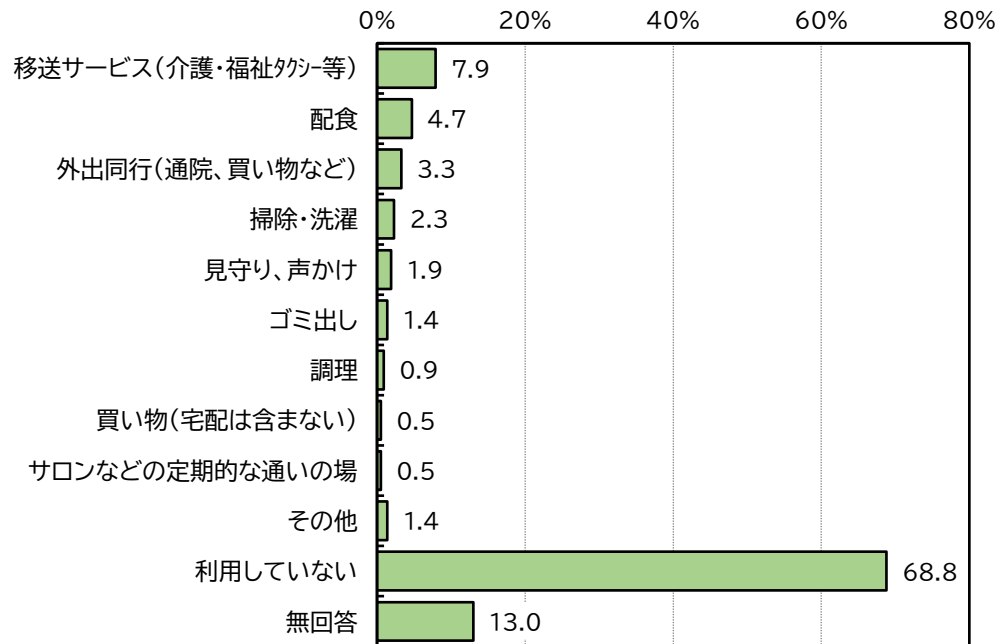


問8で「2. 利用していない」と回答した46人に、その理由を尋ねると、「本人にサービス利用の希望がない」が23.9%で最も多く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」（17.4%）、「家族が介護をするため必要ない」（15.2%）、「利用料を支払うのが難しい」「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」（ともに6.5%）と続いている。

(11) 介護保険サービス以外の支援・サービス利用状況

問11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

【n=215】



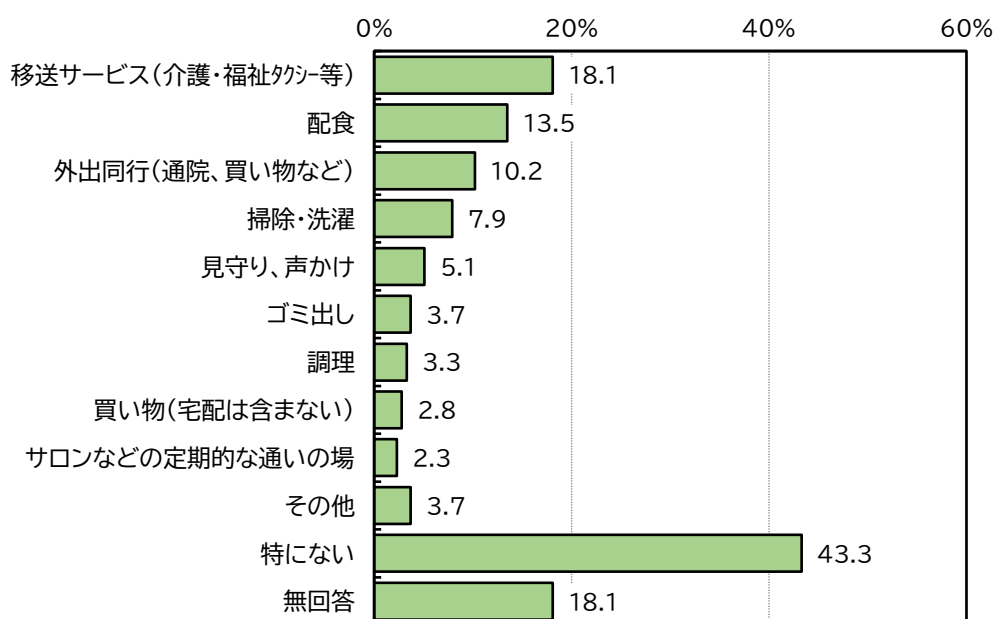
現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が7.9%と最も多く、次いで「配食」（4.7%）、「外出同行（通院、買い物など）」（3.3%）と続いている。

また、68.8%は「利用していない」と回答している。

(12) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

【n=215】



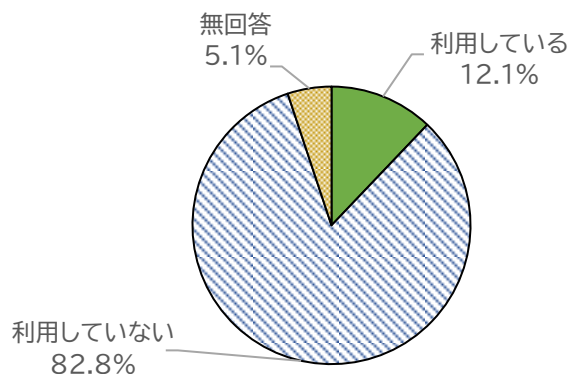
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.1%と最も多く、次いで「配食」（13.5%）、「外出同行（通院、買い物など）」（10.2%）、「掃除・洗濯」（7.9%）と続いている。

また、43.3%は「特になし」と回答している。

(13) 訪問診療の利用状況

問13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

【n=215】

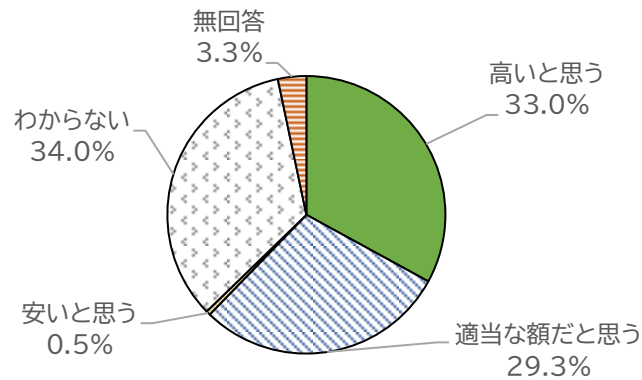


訪問診療については、現在「利用している」が12.1%、「利用していない」が82.8%となっている。

(14) 介護保険料について

問14 現現在のおいらせ町の介護保険料（基準額 月額6,600円）についてどのように思いますか。（1つを選択） ※参考 全国平均 6,014円、青森県平均6,672円

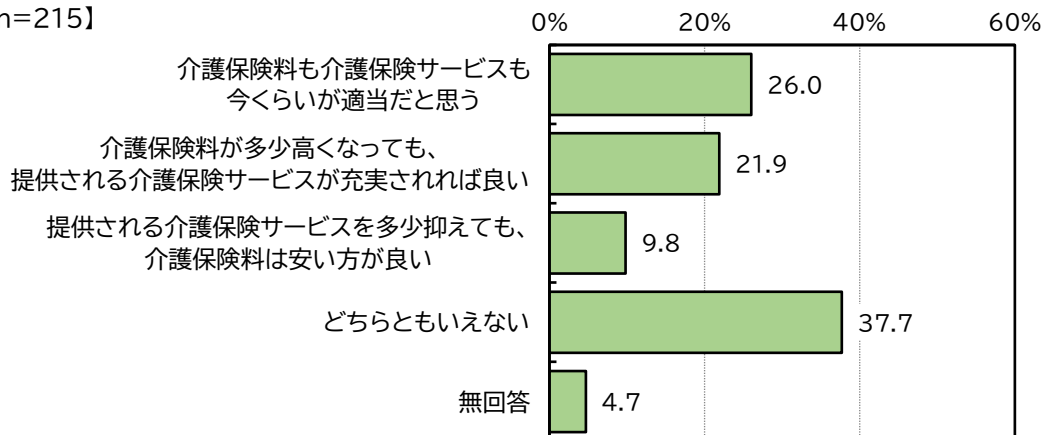
【n=215】



現在の介護保険料についてどう思うかは、「高いと思う」が33.0%で最も多く、次いで「適当な額だと思う」（29.3%）、「安いと思う」（0.5%）となっている。

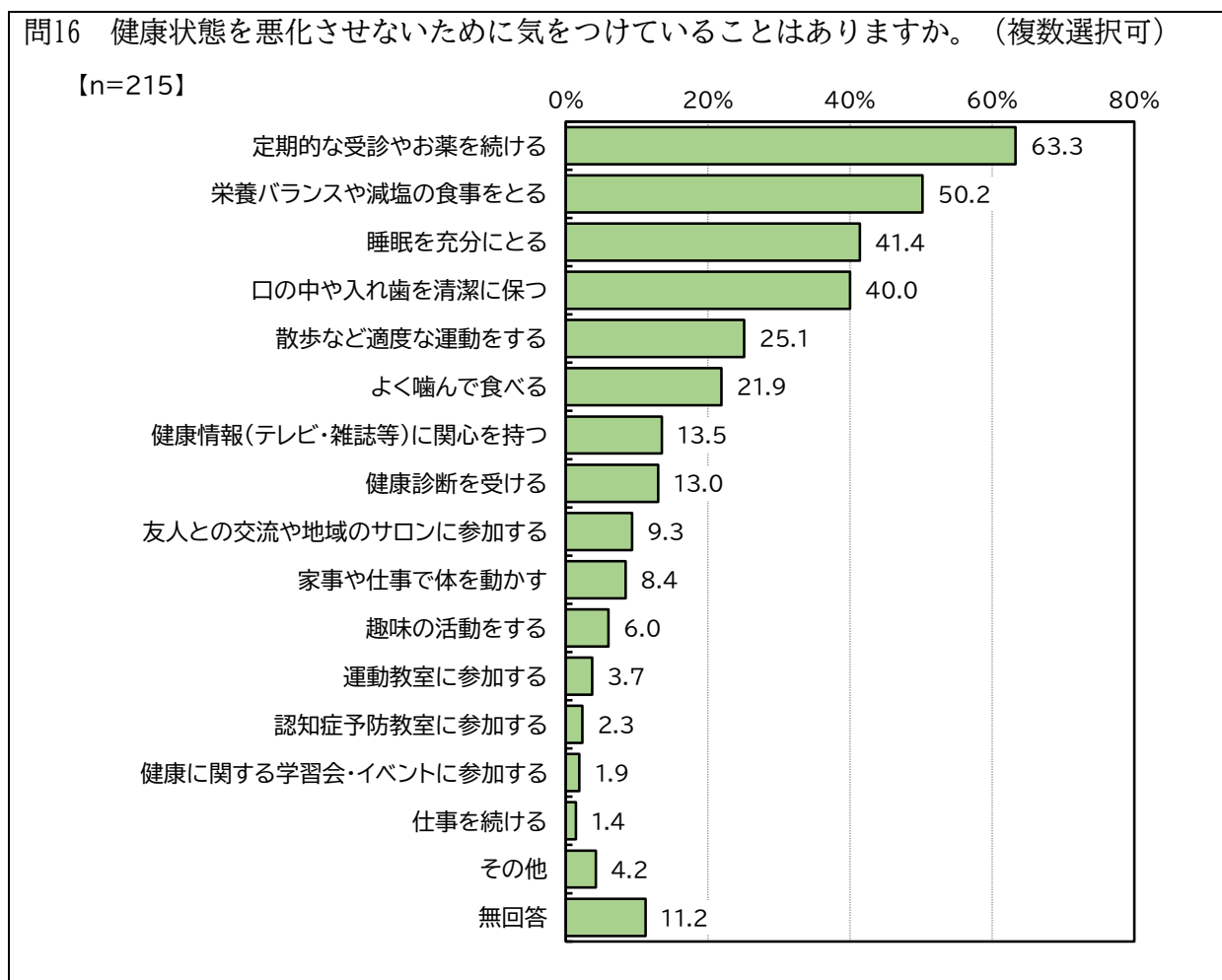
問15 介護保険料は、要介護認定者数の増加や利用回数の増加、介護保険サービスの充実に伴って高くなっていきます。介護保険料と介護保険サービスのあり方について、あなたはどのように思いますか。（1つを選択）

【n=215】



介護保険料と介護保険サービスのあり方については、「介護保険料も介護保険サービスも今くらいが適当だと思う」が26.0%で最も多く、次いで「介護保険料が多少高くなっても、提供される介護保険サービスが充実できれば良い」（21.9%）、「提供される介護保険サービスを多少抑えても、介護保険料は安い方が良い」（9.8%）となっている。

(15) 健康状態を悪化させないために気をつけていること

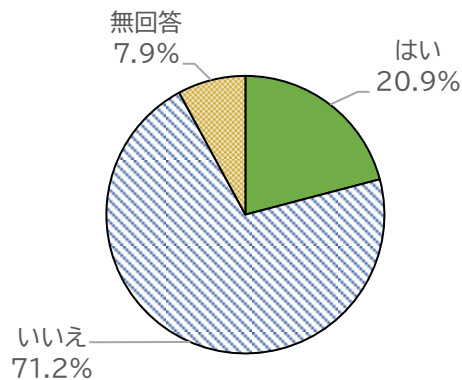


健康状態を悪化させないために気をつけていることは、「定期的な受診やお薬を続ける」が63.3%で最も多く、次いで「栄養バランスや減塩の食事をする」（50.2%）、「睡眠を充分にとる」（41.4%）、「口の中や入れ歯を清潔に保つ」（40.0%）、「散歩など適度な運動をする」（25.1%）と続いている。

(16) 終活について考えていること

問17 終活について何か考えていること、準備していることはありますか。

【n=215】

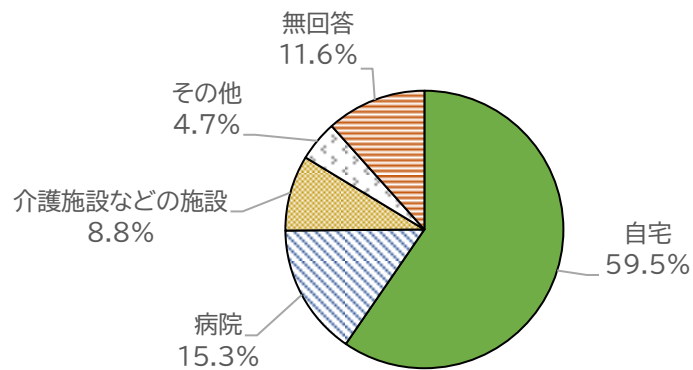


終活について、考えていること、準備していることはあるかは、「はい」が20.9%、「いいえ」が71.2%となっている。

(17) 人生の最期について

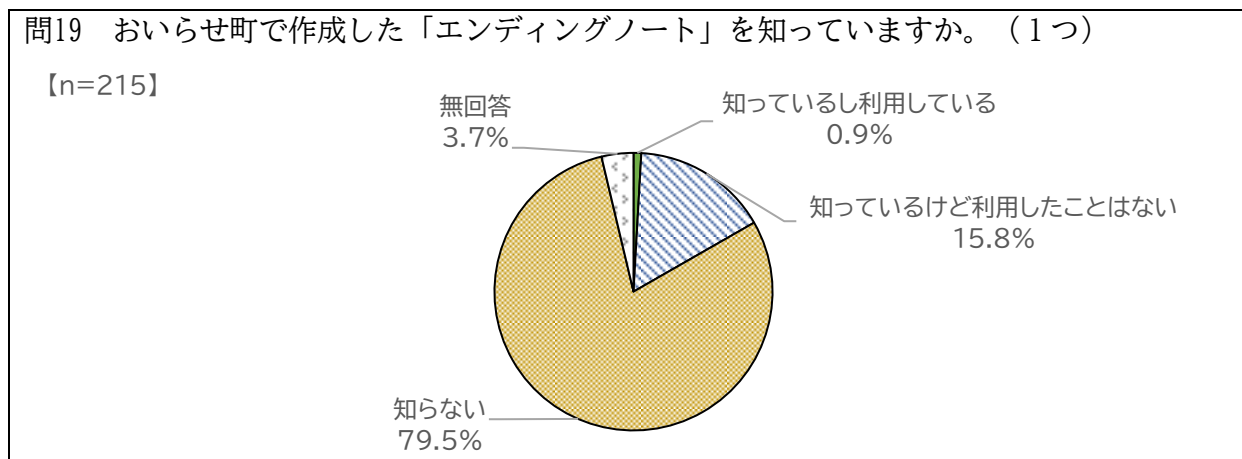
問18 人生の最期の時をどこで迎えたいですか。（1つ）

【n=215】



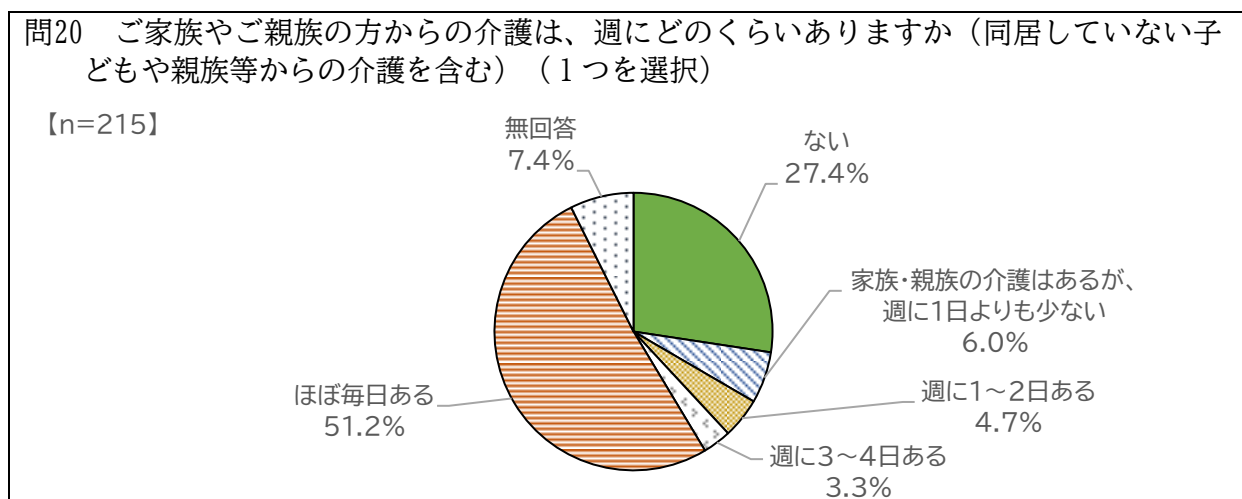
人生の最期をどこで迎えたいかは、「自宅」が59.5%で最も多く、次いで、「病院」（15.3%）、「介護施設などの施設」（8.8%）となっている。

(18) エンディングノートについて



おいらせ町で作成した「エンディングノート」を知っているかは、「知らない」が79.5%で最も多く、次いで「知っているけど利用したことはない」（15.8%）、「知っているし利用している」（0.9%）となっている。

(19) 家族・親族からの介護の状況



家族や親族からの介護の状況については、「ほぼ毎日ある」が51.2%で最も多く、次いで「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」（6.0%）、「週に1～2日ある」（4.7%）、「週に3～4日ある」（3.3%）となっており、6割以上が家族や親族からの介護を受けている。

また、27.4%は「ない」と回答している。

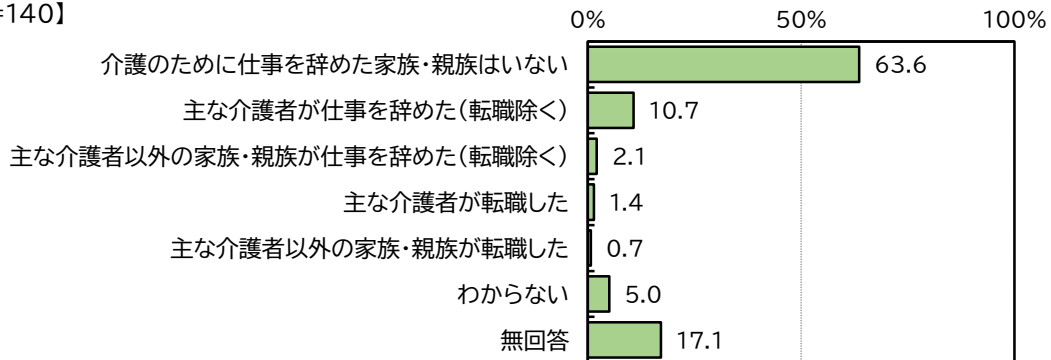
B票 主な介護者の方について

以降は、A票の問20で家族・親族からの『介護がある』と回答した140人に尋ねています。

(1) 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

【n=140】



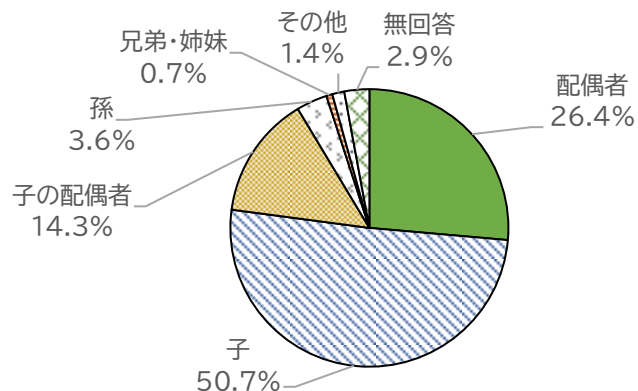
家族や親族の中で、介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかは、63.6%が「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答している。

その他「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（10.7%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（2.1%）、「主な介護者が転職した」（1.4%）、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」（0.7%）となっており、介護を理由として離職や転職した家族や親族が14.9%いる。

(2) 主な介護者

問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

【n=140】

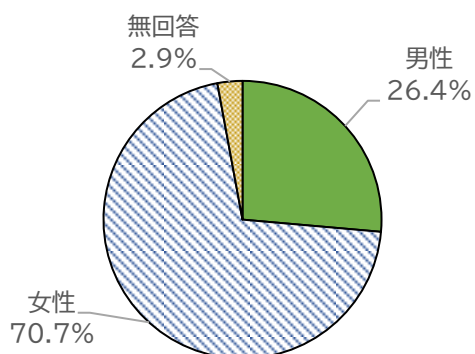


主な介護者は、「子」が50.7%と最も多く、次いで「配偶者」（26.4%）、「子の配偶者」（14.3%）、「孫」（3.6%）、「兄弟・姉妹」（0.7%）となっている。

(3) 主な介護者の性別

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

【n=140】

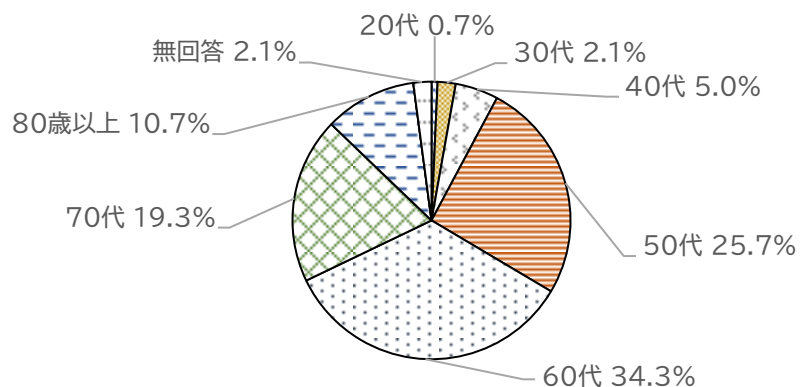


主な介護者の性別は、「男性」が26.4%、「女性」が70.7%で、「女性」の割合が大半を占めている。

(4) 主な介護者の年齢

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

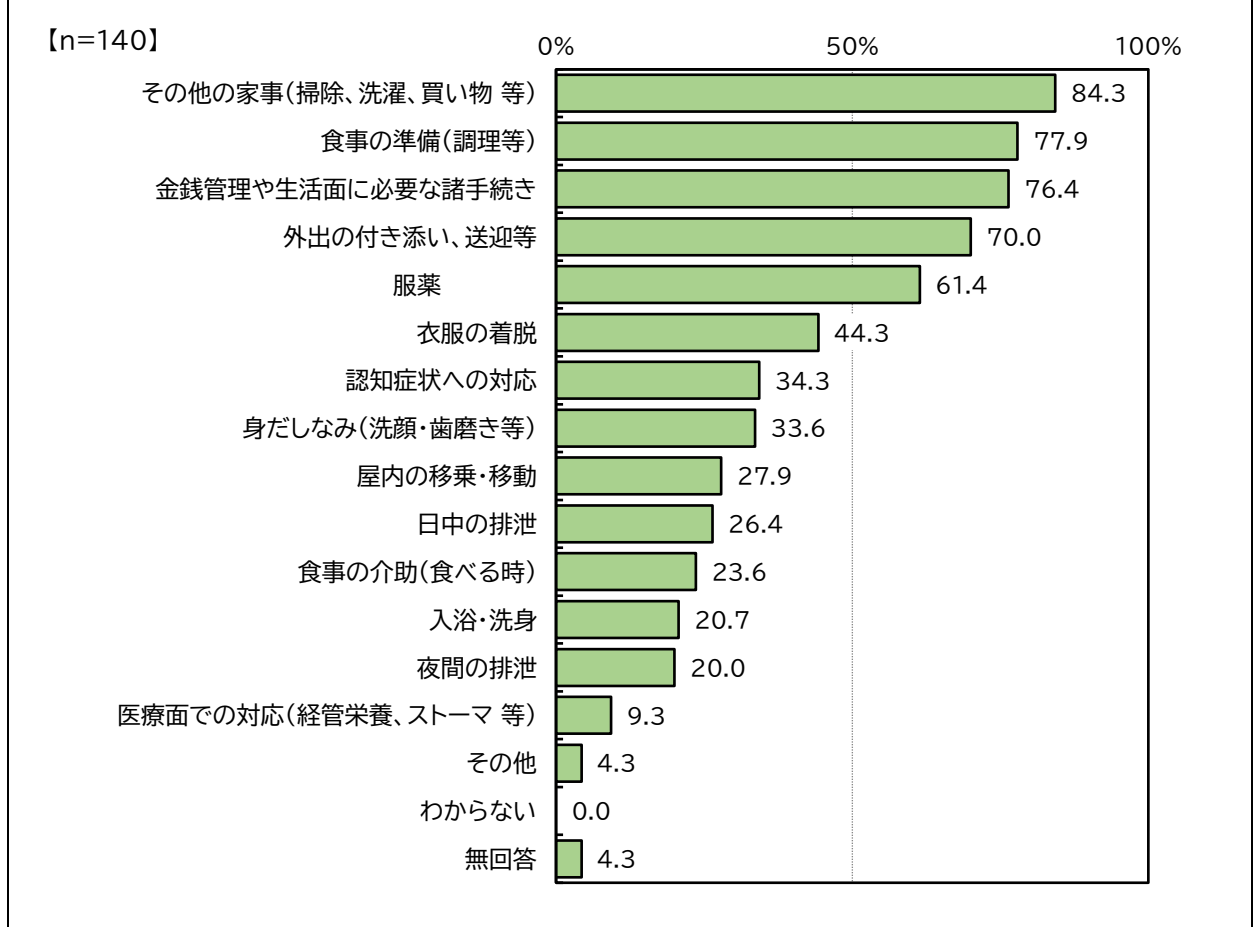
【n=140】



主な介護者の年齢は、「60代」が34.3%と最も多く、次いで「50代」（25.7%）、「70代」（19.3%）、「80歳以上」（10.7%）、「40代」（5.0%）と続いている。

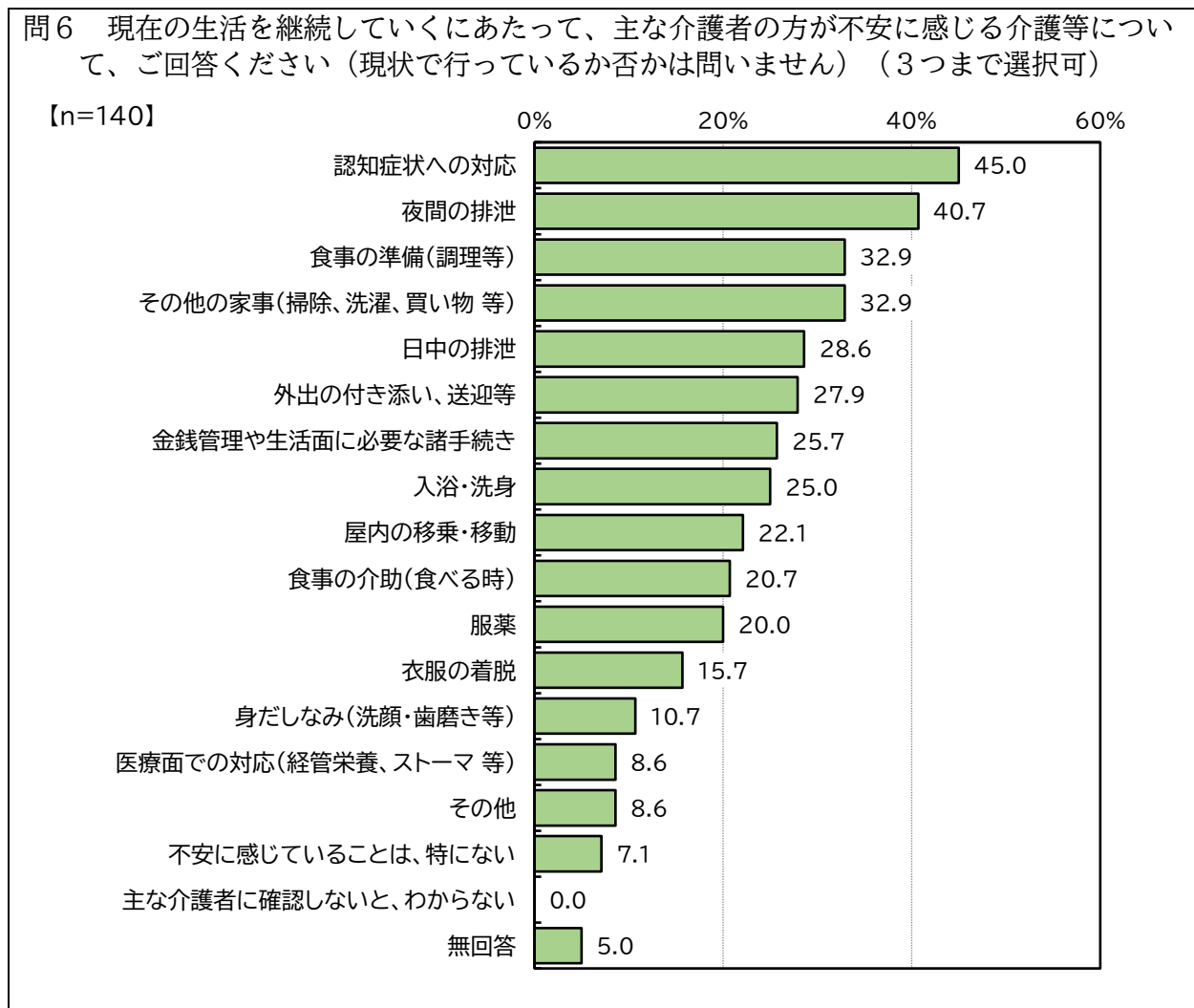
(5) 主な介護者が行っている介護等について

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）



主な介護者が行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が84.3%と最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」（77.9%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（76.4%）、「外出の付き添い、送迎等」（70.0%）と続いている。

(6) 主な介護者が不安に感じる介護等について

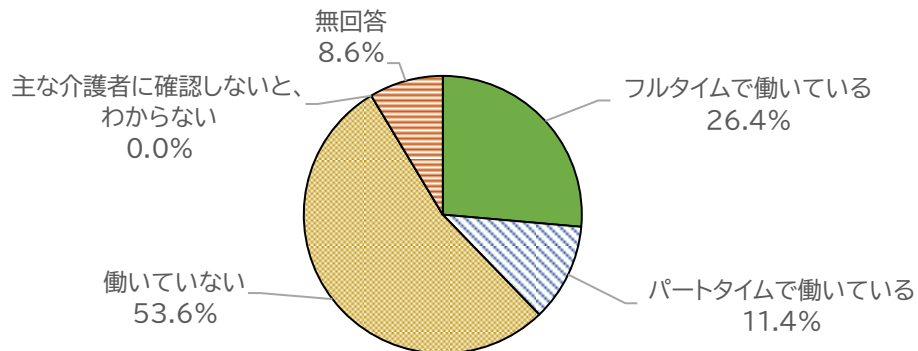


主な介護者が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が45.0%と最も多く、次いで「夜間の排泄」(40.7%)、「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(ともに32.9%)、「日中の排泄」(28.6%)と続いている。

(7) 主な介護者の勤務形態

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

【n=140】



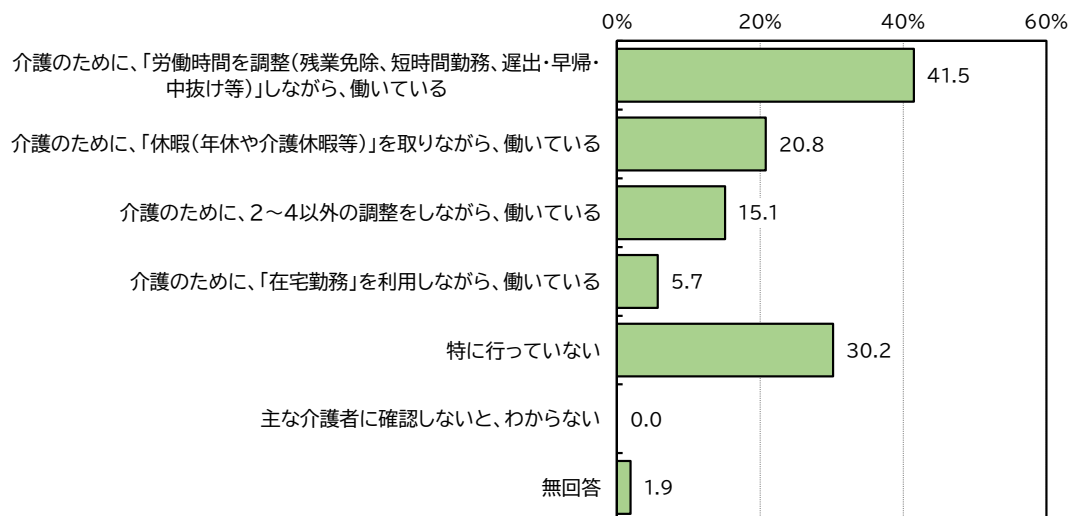
主な介護者の現在の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が26.4%、「パートタイムで働いている」が11.4%となっている。

また、53.6%が「働いていない」と回答している。

(8) 働き方の調整について

問8 問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

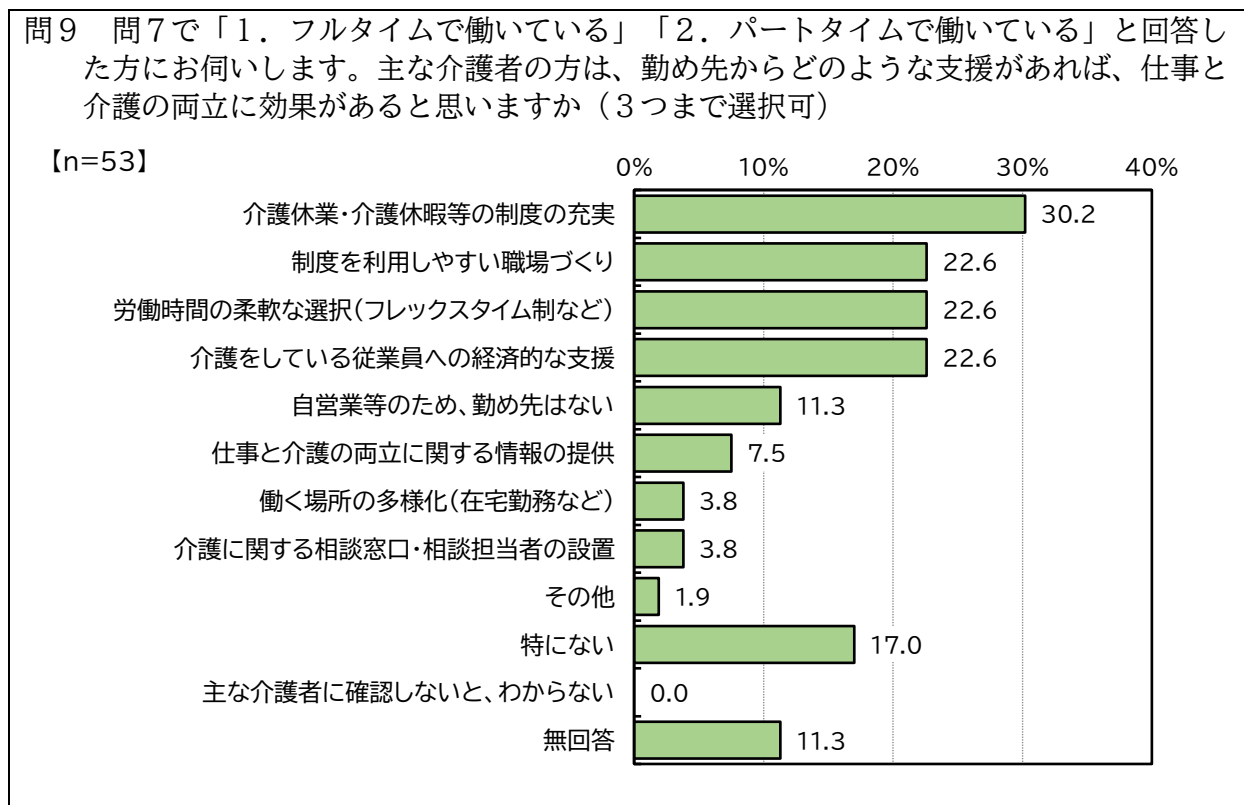
【n=53】



問7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した53人に介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしたか尋ねると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が41.5%で最も多く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（20.8%）、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」（15.1%）、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」（5.7%）となっている。

また、30.2%が「1. 特に行っていない」と回答している。

(9) 仕事と介護の両立のための支援



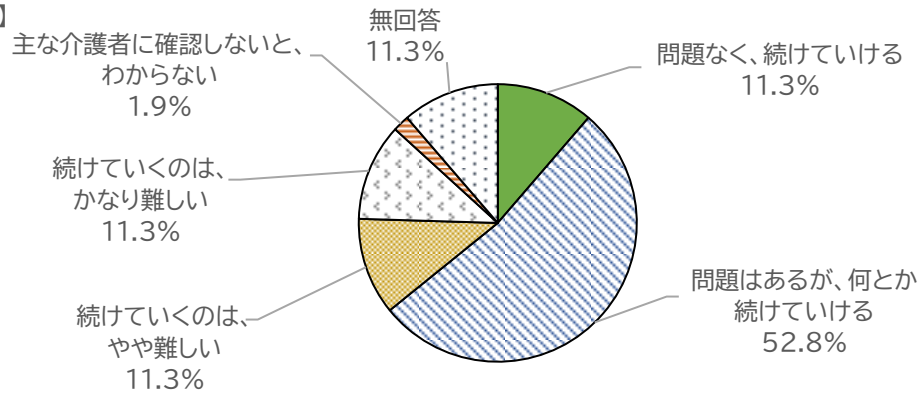
問7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した53人に、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うか尋ねると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.2%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「介護をしている従業員への経済的な支援」（ともに22.6%）と続いている。

また、17.0%は「特になし」と回答している。

(10) 主な介護者の仕事と介護の継続

問10 問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

【n=53】



問7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した53人に、今後も働きながら介護を続けていけそうか尋ねると、「問題なく、続けていける」（11.3%）、「問題はあるが、何とか続けていける」（52.8%）を合わせると64.1%は続けていけると回答している。

また、「続けていくのは、やや難しい」（11.3%）、「続けていくのは、かなり難しい」（11.3%）を合わせると22.6%は続けていくのは難しいと回答している。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
及び
在宅介護実態調査

調査結果報告書

令和5年3月

発 行 : おいらせ町
企画・編集 : 介護福祉課
